

文献目録
朝鮮語

◆ 統語論

- 河野六郎(1946)「中期朝鮮語の完了時稱について」『Toyogo Kenkyu』1, 東京帝国大学文学部言語学研究室
- 石原六三(1950)「古代日本語の格助詞と稱せられる「イ」と朝鮮語の格助詞「이 i」に就いて」『天理大学学報』2, 1,2, 天理大学人文学会
- 河野六郎(1952)「中期朝鮮語の時稱體系に就て」『東洋学報』34, 1・4
- KONO, Rokuro(1957)On the Tense System of Middle Korean Verbs. Memoires of the research department of Toyo Bunko, 16
- 大江孝男(1958)「中期朝鮮語動詞の오~우語幹に就いて」『朝鮮学報』12
- OOE, Takao(1958) On the Indicative Endings in Modern Korean. 言語研究, 34
- 浜田敦(1965)「主格助詞가成立の過程」『朝鮮学報』35
- 竹端瞭一(1967)「日本語の da と朝鮮語の ita」『国文学研究』35
- 浜田敦(1967)「副助詞など」『国語国文』36
- 浜田敦(1969)「副詞など」『国語国文』38, 1
- 安田吉実(1969)「韓国語の接続語尾「-고(서)・-아(서)/-어(서)」について」『天理大学学報』20, 3
- 深井実(1970)「朝鮮語の接続語尾 taka について」『北海道駒澤大學研究紀要』5
- 河野六郎(1971)「朝鮮語の膠着性について」『言語学論叢』11
- 安田吉実(1971)「韓国語の終止法の待遇等級区分について--口語の"하오(ha-o)"体を中心に」『天理大学学報』23, 1
- 志部昭平(1972)「中期朝鮮語の疑問法語尾に就て」『朝鮮学報』62
- 申昌淳(1972)「現代韓国語の用言補助語幹"ㄷ"の意義と用法」『朝鮮学報』65
- 大江孝男(1972)「用言語尾の意味と体系——現代朝鮮語の連用形語尾について」『現代言語学』
- SHIBATANI, Masayoshi(1973) Lexical versus Periphrastic Causative in Korean. Journal of Linguistics, 9
- 金吉鎔(1975)「名詞の後につく「나」の文法機能」『朝鮮学報』76
- 玉城繁徳(1975)「現代朝鮮語の大過去について:その文法機能と日本語への訳出上の問題点」『言語研究』68
- 梅田博之(1975)「朝鮮語の述語」『アジア・アフリカ文法研究共同研究報告』4
- ARIYOSHISHunji(1976)「韓国語のいわゆる回想時制辞「H」の再検討」『言語研究』70
- 金吉鎔(1976)「韓国語のいわゆる回想時制辞の再検討」『言語研究』70
- 奥田一広(1976)「朝鮮語の対格助詞「를(을)」について--とくに,その文法機能および意義素を中心に」『朝鮮学報』78

- 李文子(1977)「現代朝鮮語の受身表現について:日本語との対照」『言語研究』71
- 田村マリ子(1978)「指示詞--朝鮮語이・그・저系列と日本語コ・ソ・ア系列との対照」『待兼山論叢』12, 0
- 油谷幸利(1978)「現代韓国語의 動詞分類—aspect 를 中心으로—」『朝鮮学報』87
- 前田綱紀(1978)「朝鮮語の「nin(は)」と「ka(が)」--日本語朝鮮語対照言語学の基礎として」『待兼山論叢』12, 0
- WATANABE Kilyong(1978) Causative constructions in Korean. Descriptive and Applied Linguistics, 11
- 梅田博之(1979)『助詞対照用例集 1 : の 日本語—A A 諸言語』
- 大村益夫(1979)「日本語・朝鮮語の表現について—受身と使役」『講座日本語教育』15
- 生越直樹(1979)「他動詞の再帰性と使役の関係--日本語と朝鮮語の対照を通して」『待兼山論叢』11
- 油谷幸利(1979)「『-어 놓다』と-『어 두다』の意味分」『朝鮮学報』91
- ハン・ナムス(1979)「現代朝鮮語における格助詞-□□(-ege)について」『言語の研究』言語学研究会編
- 韓南洙(1979)「現代朝鮮語における格助詞-에게(-ege)について」『言語の研究』
- 奥津敬一郎(1979)「日本語の授受動詞構文--英語・朝鮮語と比較して (森山重雄教授記念号)」『人文学報』132
- 李文子(1979)「朝鮮語の受身と日本語の受身-1-「もちぬしの受身」を中心に」『朝鮮学報』91
- 渡辺吉鎔(1979)「韓国語の疑問語尾「느냐」, 「는가」に関する一考察」『アジア・アフリカ文法研究』7
- 鄭秀賢(1980)「日本語と韓国語の受身表現--その対照研究」『語文』37
- 渡辺吉鎔(1980)「いわゆる回想文に関する一考察 (On the so-called retrospective sentences in Korean)」『アジア・アフリカ文法研究』8
- 申昌淳(1980)「助詞"와"の問題——共同格助辞"와"の否定と並列助辞"와"の設定——」『朝鮮学報』96
- 林八竜(1980)「日本語・韓国語の受給表現の対照研究」『日本語教育』40
- 佐藤啓子・永保澄雄(1981)「こそあどの比較対照研究: 中国語・韓国語・インドネシア語の場合について」『障害児教育研究紀要』3
- 深見兼孝(1981)「日本語と朝鮮語の指示詞について--その類似点と差異点」『Nidaba = ニダバ』10, 32
- 志部昭平(1981)「中期朝鮮語願望法語尾小考---gora と-gorya について」『朝鮮学報』98
- 前田綱紀(1982)「「…している, …してある」の日本語朝鮮語対照 (国別の問題点-4-韓国における日本語教育<特集>)」『日本語教育』48
- 生越直樹(1982)「日本語漢語動詞における能動と受動--朝鮮語 hata 動詞との対照 (国別の問題点-4-韓国における日本語教育<特集>)」『日本語教育』48
- 生越直樹(1982)「日本語漢語動詞における能動と受動—朝鮮語하다動詞との対照—」『日本語教

育』48, 53-65

MAEDA Tunanori(1982)Animate/Inanimate expressions in Korean, with reference to Japanese.

日本学報, 1

志部昭平(1982)「中期朝鮮語陳述法語尾小攸---a/ㄴ.ira,-a/ㄴ.ingida について」『朝鮮学報』104

菅野裕臣(1982)「朝鮮語の語彙 I 語彙および語構造」『講座日本語学』12

菅野裕臣(1982)「朝鮮語(複重文の構成)」『講座日本語学』10

菅野裕臣(1982)「朝鮮語(ヴォイス)」『講座日本語学』10

梅田博之・村崎恭子(1982)「現代朝鮮語の文構造」『講座日本語学』10

梅田博之・村崎恭子(1982)「現代朝鮮語の格表現」『講座日本語学』10

生越まり子(1982)「朝鮮語の希望表現文--日本語と対照して(国別の問題点-4-韓国における日本語教育<特集>)」『日本語教育』48

梅田博之・村崎恭子(1982)「現代朝鮮語(テンス・アスペクト)」『講座日本語学』11

梅田博之・村崎恭子(1982)「現代朝鮮語(モダリティー)」『講座日本語学』11

奥津敬一郎(1983)「授受表現の対照研究——日・朝・中・英の比較——」『日本語学』2, 4

永井三千緒(1983)「現代朝鮮語の格の諸問題」『広島大学文学部紀要』43

梅田博之(1984)「KOREAN-JAPANESE 対照意味論ノート(1)」『アジア・アフリカ文法研究』12

生越直樹(1984)「日本語複合動詞後項と朝鮮語副詞・副詞的な語句との関係--日本語副詞指導の問題点(副詞指導の問題点<特集>)」『日本語教育』52

深見兼孝(1984)「日本語のガとハ--韓国語の ka と nin との対照において」『広島大学教育学部紀要 第二部』33

塩田今日子(1985)「中期朝鮮語の接続語尾-거늘と-아/어늘について」『朝鮮学報』114

呉美善(1986)「韓国語における補助動詞--日本語との対照をも添えて」『ことば：研究誌』7

日下恒夫(1986)「疑問と不定--朝鮮語への覚え書き」『関西大学東西学術研究所紀要』19

鄭秀賢(1986)「現代日本語と韓国語の受身・使役表現」宮地裕 編『論集日本語研究』

菅野裕臣(1986)「朝鮮語のテンスとアスペクト(テンスとアスペクト特集)」『学習院大学言語共同研究所紀要』9

高正道(1986)「現代韓国語動詞のアスペクト」『待兼山論叢』20

高正道(1986)「現代韓国語動詞のアスペクト」『待兼山論叢』20

塩田今日子(1986)「現代朝鮮語のアスペクト」東京外国語大学大学院修士論文

生越直樹(1987)「日本語の接続助詞「て」と朝鮮語の連結語尾<a><ko>(助詞指導の問題点<特集>)」『日本語教育』62

田原俊司・朴媛淑・伊藤武彦(1987)「韓国語単文理解における主題助詞と主格助詞の動作主性とその発達:日本語の助詞ハとガとの比較」『教育心理学研究』35, 3

野間秀樹(1987)「<하랴>の研究--現代朝鮮語の用言の mood 形式をめぐって」『朝鮮学報』129

朴媛淑・田原俊司・伊藤武彦(1988)「韓国語において被動作主を表す助詞-eul/reul の獲得(言語習

- 得, 発達 4, 発達) 『日本教育心理学会総会発表論文集』 30
- 大江孝男(1988) 「現代朝鮮語の敬意表現体系に関するおぼえがき」 『アジア・アフリカ言語文化研究』 35
- 飯田秀敏・車美愛(1988) 「現代韓国語の末尾語調について—従来の分類・記述と問題点—」 『名古屋大学総合文化センター言語文化論集』 5, 1
- 伊藤英人(1989) 「現代朝鮮語動詞の非過去テンス形式の用法について」 『朝鮮学報』 131
- 深見兼孝(1989) 「日本語の「ていく・ている」と韓国語の a/ gada・a/ oda」 『広島大学教育学部紀要. 第二部』 38
- 張起福(1989) 「に格の名詞と動詞の組合せ—日本語と韓国語の対照研究にむけて—」 『東京外国語大学日本語学科年報』 11
- 任尚彬(1989) 「ニ格の名詞の存在する文（日本語を韓国語と対比させて）」
- 多和田眞一郎(1989) 「沖縄語と日本語と朝鮮語の対照--形態・統語上の三、四の問題」 『沖縄文化 = The Okinawa bunka』 沖縄文化協会創設 40 周年記念誌
- 多和田眞一郎(1989) 「日本語と朝鮮語との対照：変格活用」 『静大國文』 34
- SUZUKIYoji(1989) A Comparative Study of the Korean Language and the Japanese Language in Reflexive Pronouns. 朝鮮学報, 130
- 中松竹雄(1990) 「対照言語学序説--日本語・韓国語の後置詞の比較対照」 『琉球大学教育学部紀要 第一部・第二部』 37
- 深見兼孝(1990) 「日本語と韓国語の受身」 『広島大学教育学部紀要 第二部』 39
- 野間秀樹(1990) 「朝鮮語の名詞分類--語彙論・文法論のために」 『朝鮮学報』 135
- 野間秀樹(1990) 「<할 것이다>の研究--再び現代朝鮮語の用語の mood 形式をめぐって」 『朝鮮学報』 134
- 伊藤英人(1990) 「現代朝鮮語動詞の過去テンス形式の用法について-1-했다 [haissda] 形について」 『朝鮮学報』 137
- 飯田秀敏・車美愛(1990) 「韓国語の時制」 『言語表現と時間』
- 門脇誠一(1990) 「再び朝鮮語・日本語と周辺の言語における名詞修飾構造について：主に南方語との関係を巡って」 『北海道東海大学紀要 人文社会科学系』 3
- 菅野裕臣(1990) 「アспект--朝鮮語と日本語（日本語の特徴--諸言語からみた<特集>）--（文法面からみた日本語-2-品詞・形態論）」 『国文学解釈と鑑賞』 55, 1
- 塚本秀樹(1990) 「名詞による名詞修飾について--日本語と朝鮮語の対照研究」 『愛媛大学法文学部論集 文学科編』 23
- UMEDAHiroyuki(1990) The Structure of Verb Phrases of Japanese and Korean. 日本語教育, 72
- LEEDuckYoung(1990) A Contrastive Study on Aspects in Japanese and Korean. 日本語教育, 72
- 多和田眞一郎(1991) 「日本語と沖縄語と朝鮮語の対照-する-大島一郎教授退官記念論集刊行会編」 『日本語論考』
- 門脇誠一(1991) 「朝鮮語の数詞句構造における属格助詞의について」 『北海道東海大学紀要 人文社会科学系』 4

- 生越直樹(1991)「日本語教育研究ノート(13)朝鮮語어 보다 ㅁpoda' 고 보다 ko poda」『北海道東海大学紀要 人文社会科学系』
- 浜之上幸(1991)「現代朝鮮語動詞のアスペクト的クラス」『朝鮮学報』138
- SONGMan-Eek(1991)A Contrastive Study of Demonstrative in Japanese and Korean for Japanese Language Education--Focus on Usage of (ko-so-a) and (i-gu-cu) 日本語教育, 75
- 浜之上幸(1992)「アスペクトとテキストの時間的構成について—時間的局所限定性・タクシス性の観点から—」『朝鮮学報』144
- 権在淑(1992)「現代朝鮮語の用言の接続形 니까 について」『Lingua』3
- 松尾勇(1992)「朝鮮語の補助詞--만について」『天理大学学報』169
- 辻星児(1992)「捷解新語の朝鮮語に見られる丁寧体終止語尾--後半部の用法を中心に」『岡山大学文学部紀要』18
- 油谷幸利(1992)「朝鮮語から見た日本語の文末表現—丁寧・否定・過去の語順について—」『言語』21, 3
- 浜之上幸(1992)「現代朝鮮語の「結果相」=状態パ-フェクト--動作パ-フェクトとの対比を中心に」『朝鮮学報』142
- 李美淑(1992)「現代日本語のアスペクト「～しかける」の研究：韓国語との対照研究」『横浜国大韓国語研究』10
- 李漢燮(1993)「現代韓国語における日本製漢語」『日本語学』, 12, 7
- 生越直樹(1993)「朝鮮語における過去の出来事を表わす表現」『日本語とアジア諸言語との対照的研究—テンスとアスペクト—』
- 辛碩基(1993)「日本語と韓国語の漢語動詞：受動の形態を中心として」『日本語と日本文学』18
- 李暲洙(1993)「いわゆる完遂を表す複合動詞についての研究：韓国語との対照を中心に」『広島大学教育学部紀要 第二部』, 42
- 塚本秀樹(1993)「複合動詞と格支配-日本語と朝鮮語の対照研究-」『仁田義雄編日本語の格をめぐって』
- 柳普明(1993)「日・韓両言語におけるアスペクトの対照研究」『大阪大学言語文化学』, 2
- 伊藤武彦[ほか](1993)『文の理解にはたす助詞の働き：日本語と韓国語を中心に』風間書房
- 金善姫(1993)「韓国語の属格助詞「ui」の意味機能-日本語の「の」との対照研究」『対照研究-属格について』
- 林憲燦(1993)「韓国語における受動文の特徴：日本語の能動文との比較の観点から」『広島大学教育学部紀要. 第二部』, 42
- 斎藤美智子(1993)「日本語・韓国語の受身表現対照--語彙形を中心として」『岡山大学留学生センター 岡山大学留学生センター紀要』, 1
- 野間秀樹(1993)「現代朝鮮語の対格と動詞の統辞論」『言語研究III』
- 長谷川由紀子(1993)「朝鮮語の受身表現—固有語動詞の受身表現を中心に—」『権域』, 2
- 深見兼孝・多和田眞一郎(1993)「朝鮮語の文末部—{요}を中心として—」『言語類型論と文末詞』

- 塚本秀樹・鄭相哲(1994)「韓国語における漢語動詞の受身文について」『朝鮮学報』153
- 鄭寅玉(1994)「日本語教育における日・韓国語対象研究--受身文を中心に」『日本語教育研究』, 28
- 林憲燦(1994)「日本語における受動文の特徴--韓国語の能動文と対応している場合を手掛かりとして」『表現研究』, 59
- 塚本秀樹(1994)「韓国語における漢語動詞の受身文について」『朝鮮学報』, 153
- 朴在權(1994)「現代日本語・韓国語の格助詞の対照研究」中央大学博士論文
- 勝木初美(1994)「15世紀から18世紀における朝鮮語の名詞形成語尾について」『熊本学園大学文学・言語学論集』, 1, 1
- 野間秀樹(1994)「現代朝鮮語の語彙分類の方法」『言語研究IV』
- 浜之上幸(1994)「物語のテキストにおけるテンス・アスペクト・否定」『朝鮮学報』150
- 権在淑(1994)「現代朝鮮語の接続形III-서について」『朝鮮学報』, 152
- 権在淑(1994)「現代朝鮮語の接続形3(-아/-어)について」『Lingua』, 5
- 柴公也(1994)「~(으)면서의意味と用法について」『熊本学園大学 文学・言語学論集』, 1, 1, 2
- 深見兼孝(1994)「現代朝鮮語の'-ey tayhayse'と'-ey kwanhayse'について：日本語の「に対して」、「について」、「に関して」との対照：(1) 'X-ey tayhayse V'」『広島大学留学生センター紀要』, 4
- 李美淑(1994)「「してしまう」の意味…韓国語との対照研究…」『研究会報告』, 15
- 全成龍(1994)「移動表現についての日本語と韓国語」『研究会報告』, 15
- 林憲燦(1994)「日韓両語における受動文の能動文への変換について -「有情者が有情物ニ V サレル」文型の場合-」『広島大学日本語教育学科紀要』, 4
- 趙義成(1994)「現代朝鮮語の-에서格について」『朝鮮学報』, 150
- 生越まり子(1995)「依頼表現の対照研究--朝鮮語の依頼表現」『日本語学』, 14, 11
- 大江孝男(1995)「朝鮮語の語尾 -da と日本語の「助動詞」da：発話と文と形式」『アジア・アフリカ言語文化研究』 48
- 林憲燦(1995)「韓国語における使役文の特徴 -日本語の非使役文と対応している場合を手掛かりに-」『広島大学日本語教育学科紀要』, 5
- 林憲燦(1995)「「無情物が無情物ニ V サレル」文型の能動文への変換について--韓国語との対照研究の観点から」『Nidaba = ニダバ』
- 林八竜(1995)『日本語と韓国語における表現構造の対照考察-日本語の名詞表現と韓国語の動詞表現を中心として』
- 勝木初美(1995)「朝鮮語における形式名詞と名詞転成語尾について」『熊本学園大学文学・言語学論集』, 2, 2
- 菅野裕臣(1995)「朝鮮語語彙のクラスについて」東京大学大学院人文社会系研究科/東京大学文学部/東京大学大学院人文社会系研究科・文学部朝鮮文化研究室 編『朝鮮文化研究：研究紀要』 2
- 柴公也(1995)「『다 보니까』の意味と用法について」『朝鮮学報』, 155

- 生越直樹(1995)「朝鮮語했다形, 해 있다形 (하고 있다) 形と日本語のシタ形、シテイル形」『国立国語研究所報告』, 110
- 柴公也(1995)「『(으)면서』と[持続]の『~ながら』をめぐって——」『熊本学園大学 文学・言語学論集』 2, 1
- 佐藤滋(1995)「日本語・朝鮮語テキストにおける時空間認知に関する対照的研究」『文部省科学研究費補助金研究成果報告書』
- 金恩希(1995)「条件形式「-(어)야」をめぐって—日本語との対照—」『朝鮮学報』 154
- 金恩希(1995)「聞き手存在発話形式に関する日・朝対照研究 —伝聞表現と目撃表現—」『吉川守先生御退官記念論文集編集委員会／編 言語学論文集：吉川守先生御退官記念』
- 李暲洙(1995)「日韓両言語における複合動詞の格の対照考察」『Nidaba = ニダバ』
- 高橋太郎(1996)「対照研究による、言語の移行過程へのアプローチ」『国文学：解釈と鑑賞』, 61, 7
- 鄭秀賢(1996)「「気」の語句をめぐる表現の日・韓対照研究」『日本語学』, 7月号
- 羅聖榮(1996)「日本語と韓国語のモダリティの対照研究」筑波大学大学院博士論文
- 全成龍(1996)「現代日本語動詞の肯定・否定の中止形--韓国語との対照研究を土台として (特集 対照研究と日本語文法--東アジアの言語と日本語)-- (対照研究からみた日本語文法)」『国文学解釈と鑑賞』 61
- 須田淳一(1996)「対格標識の曖昧性--上代「を」・「ものを」形式と韓国語の対格標識 (特集 対照研究と日本語文法--東アジアの言語と日本語)」『国文学解釈と鑑賞』 61
- 崔吉時(1996)「韓国語の助詞<의>と日本語の助詞<ノ>の比較対照研究」大阪大学大学院博士論文
- 宋承姫(1996)「韓国語の文末における「kes」に関する一考察--命令法の「の」「もの」「こと」との対照言語学的観点から (日本語教育学部門)」『教育学研究紀要』, 42
- 林憲燦(1996)「日・韓両語における使役文--使役文を構成する要素の相関関係を手掛かりにして」『朝鮮学報』 158
- 鄭鉉淑(1996)「現代朝鮮語の接続形-고について——その意味・用法をめぐって」『朝鮮学報』 161
- 陳満理子(1996)「現代朝鮮語の〔로〕格について--単語結合論の観点から」『朝鮮学報』 160
- 趙義成(1996)「現代朝鮮語の-에格について」『第4回 大阪・アジアスカラシップ活動報告書』
- 李淑(1996)「韓国語の漢語動詞の使役表現」『現代日本語研究』, 3
- 黄順花(1996)「日本語のシテヤル・シテクレル--日本語と韓国語 (特集 対照研究と日本語文法--東アジアの言語と日本語)-- (対照研究からみた日本語文法)」『国文学解釈と鑑賞』, 61
- 李美淑(1996)「現代日本語動詞のAspect研究：韓国語との対照を通じて」『国文学解釈と鑑賞』, 61
- 姜鎮文(1996)「韓日両国語の否定について 名詞述語文を中心として」『国文学：解釈と鑑賞』, 61
- 薛根洙(1996)「連語における日韓対照研究 行く先の結び付きを話題にして」『国文学：解釈と鑑賞』, 61

- 深見兼孝(1996)「現代朝鮮語の'-ey tayhayse'と'-ey kwanhayse'について：日本語の「に対して」、「について」、「に関して」との対照：(3) '-ey tayhayse'と「に対して」、「について」」『広島大学留学生センター紀要』, 6
- 呉美善(1997)「日本語動詞の文法化に関する考察-韓国語との対照の観点から-」お茶の水女子大学博士学位論文
- 姜奉植(1997)「日本語と韓国語の身体語彙及びその関連語彙における類似性について」『秋田論叢』13
- 全成龍(1997)「現代日本語の動詞のなかどめの構文論的な研究 -韓国語との対照研究をふまえて」大東文化大学大学院博士論文
- 朴垠貞(1997)「「～を小さくなっていく」について--日本語と韓国語の場所表現の相違」『Nidaba』26
- 呉[ゲン]定(1997)「「N1のN2」と韓国語の「N1[ui]N2」：名詞と名詞の連結の際「ui」の出現を中心に」『大阪大学日本学報』16
- 朴在權(1997)『現代日本語・韓国語の格助詞の比較研究』
- 趙愛淑(1997)「述語の取り立てについて--「だけ」と {man}, {ppwun} を中心に」『筑波応用言語学研究』, 4
- 金榮敏(1997)「日韓両言語のいわゆる対格助詞「ヲ」と「ul/lul(을/를)」について」『筑波応用言語学研究』, 4
- 千昊載(1997)「韓国語の中間構文について--日本語との対照」『東北大学言語学論集』6
- 林憲燦(1997)「日韓両語における使役文の非使役文への転換について」『広島大学日本語教育学科紀要』7
- 安増煥(1997)「韓国語の受動形態と日本語の受動形態--相手言語の相に転写されたあり方」『四国学院大学論集』94
- 深見兼孝(1997)「日本語と朝鮮語の「非意図的他動文」について」『日本語と外国語との対照研究 IV 日本語と朝鮮語(下巻)』
- 申忠均(1997)「朝鮮資料における条件表現の一特性--朝鮮語対訳との関係から」『語文研究』83
- 趙義成(1997)「現代韓国語の単語結合について」『朝鮮学報』163
- 鄭聖汝(1997)「韓国語の心理動詞構文の意味と語用論--感情, 感覚形容詞とその派生動詞形を中心に」『神戸英米論叢』, 11
- 油谷幸利(1997)「用言基本形に格助詞が接続する文について」『日本語と朝鮮語, 下』
- 宋承姫(1997)「韓国語の「이다(ida)」と日本語の「だ」について」『教育学研究紀要』43, 2
- 深見兼孝(1997)「日本語の「によって」と朝鮮語の'-ey uyhayse', '-lo inhayse', '-lo malmiama' (1)」『広島大学留学生センター紀要』7
- 呉[ケン]定(1997)「連体修飾表現に関する日韓対照研究：「の」に対応する韓国語の「ui」「in」」『現代日本語研究』4
- 野間秀樹(1997)「朝鮮語と日本語の連体修飾節(冠形節)構造」『朝鮮文化研究』4
- 井上優・生越直樹(1997)「過去形の使用に関わる語用論的要因--日本語と朝鮮語の場合」『日本

語科学』 1, 1

井上優・生越直樹(1997)「過去形の使用に関わる語用論的要因--日本語と朝鮮語の場合」『日本語科学』 1, 1

鄭寅玉(1997)「日本語と韓国語の可能表現について--日本語の可能表現からみた韓国語の可能表現の形式と意味について」『日本語教育研究』 34

野間秀樹(1997)「朝鮮語の文の構造について」『日本語と朝鮮語の対照研究IV』くろしお出版

趙愛淑(1998)「韓国語の限定詞について : 日本語との対照」『筑波応用言語学研究』 5

尹鎬淑(1998)「韓国語の翻訳文体における日本語の重訳的誤謬--近・現代の受身表現を中心に」『Nidaba』 27

尹鎬淑(1998)「近代日・韓両語における受身表現の対照研究-新聞を中心として-」『朝鮮学報』 168

浜之上幸(1998)「現代朝鮮語の形態論的範疇について--ヤーコブソン, メルチュークのモデルの観点から--」『朝鮮文化研究』 5

浜之上幸(1998)「現代朝鮮語の定/不定について」『平成9年度 COE 形成基礎研究費研究成果報告(2) 先端的言語理論の構築とその多角的な実証(2-B)--ヒトの言語を組み立て演算する能力を語彙の意味概念から探る-』

村田寛(1998)「<連体形+것 같다>をめぐって : 現代朝鮮語のムード形式の研究」『朝鮮学報』 168

五十嵐孔一(1998)「現代朝鮮語の用言接続形<-느라(고)>について-「タクシス」と「図と地」の観点から-」『朝鮮学報』 169

孫京鎬(1998)「図解を通して見た日本語と韓国語の文の構造 : 生花型構造言語圏の模索の試み」『金沢大学国語国文』 23

深見兼孝(1998)「日本語の「によって」と朝鮮語の'-ey uyhayse', '-lo inhayse', '-lo malmiama' (2)」『広島大学留学生センター紀要』 8

黄順花(1998)「現代日本語の寄与態の研究 -韓国語との対照研究を加味して」大東文化大学大学院博士論文

宋承姫(1998)「文末における 韓国語の「geos」と日本語の「の」の対照研究--「geoshida」と「のだ」を中心に」『広島大学教育学部紀要 第二部』 47

尹鎬淑(1998)「近代における翻訳小説の中の受身表現--韓国語との対照的考察」『表現研究』 67

劉恩聖(1998)「日本語の「(～を)～にする」表現に関する考察--韓国語の「(～(l)ul)～(u)lo hata」との対照を中心に」『広島大学教育学部紀要 第二部』 47

笹川洋子(1999)「アジア社会における依頼のポライトネス(for you or for me)について : 日本語・韓国語・中国語・タイ語・インドネシア語の比較」『親和國文』 34

安龍洙(1999)「韓国人学習者と中国人学習者の現場指示コソアの習得に関する一考察 : 相対的現場指示の対立型の場合」『言語科学論集』 3

劉恩聖(1999)「日本語の「(～を)～とする」と「(～を)～にする」表現に関する一考察--韓国語の「≡≡/hata/」との対照の観点より」『広島大学教育学部紀要 第二部』 48

- 高民定(1999)「日本語と韓国語の受身--韓国人による日本語の受身の「言語管理」について『桜美林国際学論集』4
- 上野義和・李潤玉(1999)「古英語と現代韓国語の受動構造」『南大阪大学紀要』1
- 尹鎬淑(1999)「近代日本語における受身表現の変遷：韓国語との比較考察」広島大学大学院博士学位論文
- 安平鎬(1999)「現代韓国語の「-ess-」形による「現在の状態」を表す場合の条件をめぐって」『空間表現の文法化に関する総合的研究』
- 内山政春(1999)「現代朝鮮語の接続形-어서と-고について」『朝鮮学報』173
- 中桐謙一郎・李潤玉(1999)「受動表現の諸相(その1)認知言語学的アプローチ」『南大阪大学紀要』,2
- 安平鎬(1999)「韓国語のいわゆる「擬似受動文」をめぐって」筑波大学『「東西言語文化の類型論」特別プロジェクト研究報告書 平成10年度II』
- 郭珍京(1999)「日本語の「て」と韓国語の{a}{go}の従属度に関する一考察」『人間文化論叢』2
- 許明子(1999)「日本語と韓国語の受身文の分類に関する試考」『比較社会文化研究』5
- 許明子(1999)「日本語と韓国語の受身文の実証的対照研究：両国のテレビドラマと新聞コラムにおける受身文の使用率の分析を通して」『世界の日本語教育. 日本語教育論集』9
- 尹鎬淑(1999)「近代日・韓両言語における受身表現の変遷：小説を中心に」『世界の日本語教育. 日本語教育論集』,9
- 金玉英(1999)「日本語と韓国語の従属節および関係節のテンス・アスペクトの対照研究」筑波大学大学院博士論文
- 深見兼孝(1999)「現代朝鮮語における連続した2形容詞の語順について--現代日本語についての同様の研究結果と対照として」『広島大学留学生センター-紀要』10
- 金原鎰(2000)「日本語の指示語「コ、ソ、ア」--韓国語の指示語「ㄷ(i)、ㄴ(ku)、ㄷ(ce)」との対応関係を中心に」『表現研究』72
- 白明学(2000)「日本語と韓国語の受動構文の対照」『名古屋大学言語学論集』16
- 鄭秀賢(2000)「現代日本語の表現についての研究：韓国語の表現と対照しながら」大阪大学大学院博士論文
- 村田寛(2000)「<論説>現代朝鮮語の<-은>連体形について」『朝鮮学報』175
- 鄭聖汝(2000)「韓国語における動詞の自他：結合価変化のない構文はなぜ可能なのか」『神戸言語学論叢』2
- 柴公也(2000)「現代韓国語の接続形「-geo deun」の意味と用法について」『熊本学園大学文学・言語学論集』7
- 許明子(2000)「韓国語は被動概念があるか」『志學館法学』1
- 金亨哲・鍵本有理(2000)「カラ、ノデ、タメの使い分けと継起表現~テについて(韓国語との対照をふまえて)」『研究紀要』36
- 崔炳奎(2000)「現代日本語動詞の連体節の時間の研究：韓国語との対照を通して」大東文化大学大学院博士論文

- 安平鎬(2000)「「(アル/)イル」と「テイル」をめぐって：韓国語との対照という観点から」『國語學』51, 2
- 岡智之(2000)「存在型アスペクトとしての朝鮮語 $\frac{\text{은}}{\text{는}}$ $\frac{\text{고}}{\text{는}}$ (ko/eo issta)構文--認知類型論と日朝対照の観点から」『えくす・おりえんて』3
- 日向茂男・郭珍京・笹目実(2000)「日本語と韓国語における基本文型の基礎的対照研究(1): 日本語の「です」形, 「ます」形とそれに対応する韓国語を中心に」『東京学芸大学紀要 第2部門 人文科学』51
- 村田直幸・中村裕昭(2000)「日本語と韓国語における多重主語構文及び関連構文の考察」『海保大研究報告 法文学系』46, 2
- 宋承姫(2000)「日本語の「もの(だ)」「こと(だ)」「の(だ)」と韓国語の「[コッ]([イダ])/geos(ida)」に関する対照研究：「文法化」の観点から」広島大学大学院博士論文
- 金昌男(2000)「授受動詞「～てもらう/いただく」とそれに対応する韓国語表現」『千葉大学社会文化科学研究』4
- ニャンジャローンスックスニーラット(2001)「OPI データにおける「条件表現」の習得研究：中国語,韓国語,英語母語話者の自然発話から」『日本語教育』111
- 鄭惠先・坂口昌子(2001)「誤用分析にもとづく「ながら」と「ミョンソ」の比較：始点の用法と述語の持続性を中心に」『世界の日本語教育 日本語教育論』11
- 許仁順(2001)「韓国人の日本語学習者の作文に表れる「に」「で」の誤用例について：韓国語の助詞「(lo)」「(e)」に表れる用例を中心に」『日本語・日本文化研究』8
- 中村嗣郎(2001)「日本語と韓国語の格助詞の比較--空間の「に」と e/ege をを中心に」『コミュニケーション科学』14
- 李燕姫(2001)「明治期朝鮮語会話書における文末表現「じゃないか」について」『国学院大学大学院紀要 文学研究科』33
- 白明学(2001)「韓国語における持ち主の受身について：日本語との対照を中心に」『名古屋大学言語学論集』17
- 谷守正寛・林田(2001)「日本語と韓国語の持主の受身をめぐって」『鳥取大学教育地域科学部紀要. 教育・人文科学』3, 1
- 辛碩基(2001)「日本語受動表現の韓国語訳について--文学作品を中心として」『表現研究』74
- 尹容善(2001)「現代韓国語の繫辞構文についての検討」『広島女子大学国際文化学部紀要』9
- 藤沢文人(2001)「hangugoe sae: 韓国語のアスペクト」『信州大学留学生センター紀要』2
- 津田克巳(2001)「朝鮮語におけるアスペクト表現について」『比較文化研究』53
- 鄭玄淑(2001)「I - 고とIII - 서と動詞のアスペクト的特徴との関連性—アスペクト形式による用言分類を通じて」『朝鮮学報』180
- 金順任(2001)「日韓の大学生における待遇表現の対照研究：述語形式及び呼称との呼応関係を中心に」『言語・地域文化研究』7
- NeancharoensukSuneerat(2001)「OPI データにおける「条件表現」の習得研究--中国語,韓国語,英語母語話者の自然発話から」『日本語教育』111

- 尹亨仁(2001)「移動動詞「行く」「来る」の格標示と名詞句の意味特徴：韓国語の「gada」「oda」との対照の観点から」『日本語教育』110
- 李貞旼(2001)「文章構造の日韓対照研究：新聞の社説における書き出しを対象として（三木紀人先生退官記念号）」『言語文化と日本語教育』21
- 朴宣映(2001)「近代韓国語の文章における日本語の影響：「後置詞」の「EY 依 haye」と「によって」を中心に」『國語學』52, 1
- 金昌男(2001)「現代日本語における授受動詞について：韓国語との対照を通して」千葉大学大学院博士論文
- 張美仙(2001)「韓国語の「하고 있다(hago issta)」と「한다(handa)」について：日本語の「シテイル」と対照して」『学校教育学研究論集』4
- 白海燕(2001)「「出る」「出 chu+場所目的語」「nagada/naoda」にみられる空間認知のずれについて」『国際文化学』4
- 金順任(2002)「日韓両語における第三者敬語の対照研究：聞き手による使い分けを中心に」『言語・地域文化研究』8
- 李潤玉(2002)「韓国語助詞「ㄹ[ru]」と日本語助詞「に」の対立現象の認知的分析--特異な用法とされる韓国語「ㄹ[ru]」に見る日本語との概念的並行性」『えくす・おりえんて』, 7
- 許明子(2002)「日本語と韓国語の受身文の実証的対照研究の試み」九州大学大学院博士論文
- 大江孝男(2002)「中期朝鮮語-o/u-語幹の視点：形態の対立と意味」『東洋學報』83, 4
- 勝木初美(2002)「中期朝鮮語における-'enyr について---genyr との対照を中心に」『京都大学言語学研究』21
- 中西恭子(2002)「現代朝鮮語の連体形語尾-는について--은との使い分けという観点から」『朝鮮語研究』1
- 中島仁(2002)「現代朝鮮語の動詞の連体形「한」について」『朝鮮学報』183
- 李貞旼(2002)「文章論研究の概観(第5章 文章の産出と理解).」『言語文化と日本語教育. 増刊特集号, 第二言語習得・教育の研究最前線：あすの日本語教育への道しるべ』
- 小坂伸頭(2002)「現代韓国語の用言の接続形「-ㄹㄹ」と「-ㄹㄹ」について」『埼玉県立大学紀要』4
- 曹英南(2002)「韓国語母語話者における言いさし表現の意識調査：述部まで述べた言い切り表現との比較を通して」『言語文化と日本語教育』23
- 崔昌玉(2002)「現代朝鮮語におけるヴォイス接尾辞を取り得る動詞について：統辞論的, 意味論的観点からの一考察」『千葉大学ユーラシア言語文化論集』5
- 金仁和(2002)「韓国語の使動態についての小考」『筑波応用言語学研究』9
- 印省熙(2002)「地の文の日本語の「のだ」と韓国語の「-ㄴ것이다」について」『表現研究』76
- 金昌男(2002)「日本語と韓国語の授受動詞がとりうる名詞について」『千葉大学ユーラシア言語文化論集』5
- 金昌男(2002)「現代日本語の授受表現における人称と視点について--韓国語との対照を通して」『千葉大学社会文化科学研究』6

- 生越直樹(2002)「日本語・朝鮮語における連体修飾表現の使われ方」『シリーズ言語科学』
- 白海燕(2002)「アスペクト用法の「V+出す」、「V+ㄹ=ㄹnaeda」からみる日本語と朝鮮語の空間認知のずれについて」『日本認知言語学会論文集』2
- 澤田美恵子・朴鐘祐(2002)「日本語の「も」と韓国語の「도」(do)の対照研究」『神戸大学留学生センター紀要』8
- 曹美庚(2002)「日本語の格助詞「に」と韓国語の格助詞「=」の比較研究」『京都学園大学経営学部論集』11,3
- 油谷幸利(2002)「만들다 の格支配構造—人間が主語になる用例を中心に—」『朝鮮学報』184
- 尹亭仁(2002)「日本語と韓国語の漢語動名詞の統語範疇をめぐって」『神奈川大学言語研究』25
- 林美善(2003)「電話会話の開始部における日韓対照研究：20代の友人同士の電話会話から」『言語文化と日本語教育』26
- 南得鉉(2003)「日韓両言語の存在表現に関する対照言語学的研究」広島大学博士学位論文
- 平香織(2003)「韓国語の終結語尾「=」(-ney)と日本語の終助詞「ね」の対照研究--階層的記憶モデルの観点から」『東北大学留学生センター-紀要』7
- 平香織(2003)「現代韓国語における文末形態の語用論的機能に関する研究：日本語との対照を通じて」東北大学大学院博士論文
- 尹亭仁(2003)「日本語と韓国語の受身表現：日韓対訳小説のデータ分析を中心に」『神奈川大学言語研究』26
- 金恵鎮(2003)「日本語と韓国語の「使役構文」に関する対照研究」『北海道大学大学院文学研究科研究論集』3
- 高民定(2003)「日本語と韓国語の受身の類型論的な考察にむけて」『桜美林シナジーJ.V.ネウストプニー教授定年退職記念』1
- 林田(2003)「韓国語の他動受身文—日本語の持主の受身文に照らして—」『朝鮮語研究会第200回記念国際学術大会論文集』
- 金恩愛(2003)「日本語の名詞志向構造(nominal-oriented structure)と韓国語の動詞志向構造(verbal-oriented structure)」『朝鮮学報』188
- 李英児(2003)「『捷解新語』から見る原因・理由を表す条件句：「ホドニ」の改修状況を中心として」『國語學』54,4
- 須賀井義教(2003)「中期朝鮮語における対格--対格語尾の有無と文の階層構造,単語結合」『朝鮮学報』187
- 円山拓子(2003)「現代朝鮮語の統語的な複合動詞--補助動詞を視野に入れて」『言語情報科学』1
- 村田寛(2003)「現代朝鮮語の連体節のテンスについて」『九州大学留学生センター紀要』13
- 油谷幸利(2003)『이다の省略と縮約—에요か예요か—』『朝鮮学報』189
- 金仁和(2003)『韓国語の被動態についての小考』『文芸言語研究 言語篇』43
- 李潤玉(2003)「「手段,場所,方向」概念と「近接」概念のつながり--日本語格助詞「で/へ」と韓国語格助詞「= [ro], = [eseo]」『えくす・おりえんて』9

- 印省熙(2003)「日本語の「のだ」と韓国語の「-ㄴ것이다」の対照研究」お茶の水女子大学博士学位論文
- 金情浩(2003)「非対格動詞の出来事構造：韓日両言語の比較対照の観点から」『言語科学論集』7
- 曹美庚(2003)「メンタル・スペース理論と過去・完了形式：日本語と韓国語の対照」『広島修道大学研究叢書』
- 若生正和(2003)「韓国語のテンス・アスペクトの研究：日韓対照言語学の観点から」東北大学大学院博士論文
- 佐藤博(2003)「語順の研究--日本語,英語,独・仏・西・露・中・韓国語での比較」『東京経済大学人文自然科学論集』116
- 金龍(2003)「語順から見た日本語らしさ--朝鮮語との比較の視点から」『東アジア言語研究』6
- 魚秀禎(2004)『日韓の敬語用法の比較--「普段の言い方」と「正しいと思う言い方」の相違を中心に」『計量国語学』24, 6
- 蓮池いずみ(2004)『場所を示す格助詞選択のストラテジー--韓国語母語話者と中国語母語話者の比較』『言葉と文化』5
- 曹英南(2004)『字幕付き映画における韓日の言いさし表現の対応関係：「述部有り」の言いさし表現を中心として（村松賢一先生退官記念号）」『言語文化と日本語教育』27
- 鄭聖汝(2004)『意味を基盤とした韓日使役構文の分析：非規範的使役構文を手がかりとして』『大阪大学大学院文学研究科紀要』44
- 李清梅(2004)『結果構文の意味範疇に関する中国語と日本語と韓国語の対照研究--「過分」と「意図」をめぐって』『東北大学留学生センター-紀要』8
- 金恵鎮(2004)『日本語と韓国語のヴォイスの対照研究：現代韓国語における「二重形」の位置付けを中心に」北海道大学大学院博士論文
- 魚秀禎(2004)『再掲載 日韓の敬語用法の比較--「普段の言い方」と「正しいと思う言い方」の相違を中心に」『計量国語学』24, 7
- 尹容善(2004)『中世韓国語繫辞構文についての一考--"行為・状態"の繫辞構文を中心に』『朝鮮学報』193
- 尹盛熙(2004)『韓国語の動詞性名詞表現に関する意味論的考察』『言語情報科学』2
- 若生正和(2004)『韓国語副詞句がアスペクト形式に与える生起制約と意味制約』『対照言語学の新展開』
- 李潤玉(2004)『韓国語の否定表現"[an]v.s[-ji an]"：その用法と教育的実践』『関西大学外国語教育フォーラム』3
- 中西恭子(2004)『現代朝鮮語の引用構文において』『朝鮮語研究』2
- 内山政春(2004)『現代朝鮮語の接続形-다가について』『朝鮮学報』190
- 金錦花(2004)『焦点理論から朝鮮語の助詞[의](ui)の意味機能を探る』『えくす・おりえんて』11
- 白海燕(2004)『空間からアスペクトへの文法化における視点問題：日本語・朝鮮語・中国語の

対照を中心に」神戸大学大学院博士論文

許宰碩(2004)『現代日本語の過去テンスについて--韓国語との対照の観点から』『筑波日本語研究』9

申鉉竣(2004)『「～でもいい」に対応する韓国語の表現』『人文』3

金恵娟(2004)『因果関係における「ようだ」「らしい」「(し)そうだ」の日韓対照研究--「原因・結果推量」という観点から』『筑波応用言語学研究』11

武田暎子(2004)『英・日及び韓国語における WISH 構文の対照的研究』『名古屋女子大学紀要 人文・社会編』50

郭珍京(2004)「日本語の「～し形」「～して形」と韓国語の「-[ハゴ]hago」「-[ヘソ]haeseo」の対照研究」お茶の水女子大学博士論文

塚本秀樹(2004)『文法体系における動詞連用形の位置づけ：日本語と韓国語の対照研究』『佐藤滋・堀江薫・中村渉』

季潤玉(2004)『韓・日両言語の格助詞の考察』『近畿大学語学教育部紀要』4,2

平香織(2004)『現代朝鮮語の終結語尾(-lkel(yo))に関する一考察』『沖縄国際大学総合学術研究紀要』8,1

平香織(2004)『終結語尾'-지'(-ci)の意味と用法』『対照言語学の新展開』

鄭聖汝(2004)『韓国語の自動詞とヴォイス』影山太郎/岸本秀樹 編『日本語の分析と言語類型：柴谷方良教授還暦記念論文集』

深見兼孝(2004)『日本語教育から見た日本語の指示詞表現(1)朝鮮語対訳から見た表現上の特徴』『広島大学留学生教育』8

金善美(2004)『現場指示と直示の象徴的用法の関係--日韓対照研究の観点から』『日本語文法』4,1

金善美(2004)『韓国語と日本語の指示詞の直示用法と非直示用法』京都大学大学院博士論文

宋恵仙(2004)『日本語のやりもらい構文の構造とヴォイス性：韓国語との対照を入れて』お茶の水女子大学大学院博士論文

金河守(2004)『韓国語における連体修飾語「(uy)」について-名詞化による「(m)」名詞と「(ki)」名詞を中心に-』『東京家政学院筑波女子大学紀要』8

許明子(2004)『日本語と韓国語の受身文の対照研究』ひつじ書房

徐希姫(2005)『韓国語教育における助詞「로」の教育方法研究』『新潟国際情報大学情報文化学部紀要』8

金恵鎮(2005)『日本人学習者の上級韓国語教育における「受身表現」理解のための実証的分析：翻訳本の比較を通して』『久留米大学外国語教育研究所紀要』12

生越直樹(2005)『日韓対照研究のポイント 文法・表現(1)――日本語の視点から――』『日本語学』24,8

尾崎喜光(2005)『依頼行動と感謝行動の<関係>に関する日韓対照』『社会言語科学』8,1

林明子・金潤淑(2005)『会話展開を示唆する「沈黙」と「理由」：日本語,ドイツ語,韓国語のロール・プレイに基づく事例研究』『東京学芸大学紀要. 第2部門, 人文科学』56

- 韓南珠(2005)『連語研究のおもいで 研究ノート 朝鮮語の格助詞研究と連語論 (特集=連語研究の新段階)』『国文学解釈と鑑賞』70,7
- 円山拓子(2005)『朝鮮語の「状態変化」を表わす補助動詞 **ㅂ니다**--受身・自発とのつながり』『言語情報科学』3
- 和田学(2005)『「外項フィルター」としての韓国語の'ci-ta'』『山口大学文学会志』55
- 張美仙(2005)『現代韓国語の「handa」形と「hago issda」形について--一文の種類と語彙という観点から』『朝鮮学報』197
- 鄭玄淑(2005)『現代朝鮮語の接続形-면서について』『韓国語学年報』1
- 任明秀(2005)『現代朝鮮語の特殊助詞'-도'について』『韓国語学年報』1
- 江波戸文康(2005)『現代朝鮮語の-와/-과について』『韓国語学年報』1
- 平香織(2005)『現代朝鮮語の終止形語尾 <-네> に関する一考察』『韓国語学年報』1
- 崔昌玉(2005)『現代朝鮮語のヴォイス接尾辞について』中川裕 編『ユーラシア諸言語の動詞論』
- 武田暎子(2005)『日本語と韓国語における統語的共通性--日本語・韓国語・英語における進行形の比較研究』『名古屋女子大学紀要 人文・社会編』51
- 許宰碩(2005)『状態化形式のテンスについて--韓国語との対照の観点から』『筑波日本語研究』10
- 金京淑(2005)『朝鮮語と日本語の可能表現の対照研究--価値の可能表現を中心に』『北海道大学大学院文学研究科研究論集』5
- 金龍(2005)『日本語と朝鮮語における語順の対照研究』広島大学大学院博士論文
- 孫景浩(2005)『テ形接続による付帯状況の表現に見られる動詞について：日本語と韓国語の比較から見えてくるもの』『国際センター紀要』1
- 崔明姫(2005)『日本語逆接助詞「ケド」と「ノニ」と朝鮮語接続語尾「**ㅂ니다**」・「**ㅂ니다**」の対照分析』『韓国言語文化研究』8
- 尹亭仁(2005)『韓国語と日本語のヴォイスに関する対照研究：動作主の格標示と構文の生産性を中心に』東京大学大学院博士学位論文
- 安平(2005)『日韓対照研究のポイント 文法・表現(2)--韓国語の視点から--』『日本語学』24,8
- 安平鎬・福嶋健伸(2005)『中世末期日本語と現代韓国語のテンス・アスペクト体系：存在型アスペクト形式の文法化の度合い(<特集>日本語における文法化・機能語化)』『日本語の研究』1,3
- 瀧口恵子(2005)『日本語「する」動詞と韓国語「ha-da」動詞に関する考察：代動詞としての用法を中心に』『徳島大学国語国文学』18
- 五十嵐孔一(2005)『現代朝鮮語の'그나마'について』『朝鮮学報』196
- 油谷幸利(2006)『接続形式における日朝対照研究--朝鮮語教育の観点から』『朝鮮学報』198
- 永原歩(2006)『朝鮮語の格助詞 i/ga の誤用について』『神奈川大学言語研究』29
- 金惠鎮(2006)『韓国語の文法教育における受身派生「二重形」の存在とその意味的特徴の示唆の重要性』『比較文化研究』38

- 塚本秀樹(2006)『日本語から見た韓国語--対照言語学からのアプローチと文法化(特集 日本語から見た外国語)』『日本語学』25, 3
- 文智暎(2006)『韓国語の ul/lul 格連続現象について--日本語のヲ格連続現象との対照』『日本語と日本文学』43
- 塚本秀樹(2006)『日本語と朝鮮語における複合格助詞再考』藤田保幸/ 山崎誠 編 『複合辞研究の現在』
- 許秀美(2006)『現代韓国語の文末表現-yeoyo/-iyeoyo と -yo/-iyo の用法の違いについて』『産業・社会・人間』8
- 千英子・柏原卓(2006)『現代日本語の文学作品における受身文の研究：韓国語との対応関係分析を中心として』『和歌山大学教育学部紀要 人文科学』56
- 尹亭仁(2006)『韓国語と日本語の使役表現：使役動詞<VN-sikida>と<VN-させる>の対応関係を中心に』『神奈川大学言語研究』29
- 金惠鎮(2006)『日本語と韓国語の「使役受動態」に関する対照研究』『比較文化研究』37
- 林田(2006)『韓国語の自動受身文と他動受身文--〈X-ka [Y-eykey] Z-ka 受身動詞〉文と〈X-ka [Y-eykey] Z-lul 受身動詞〉文を中心に』『朝鮮学報』198
- プラシャントパルデシ・李清梅・堀江薫(2006)『特別記事 主観性のタイポロジー--日・英・韓・中・マラーティー語における受動表現の対照を通して』『言語』35, 6
- 林田(2006)『韓国語の他動受身文の実証的研究』『朝鮮語研究』3
- 千英子(2006)『受身文の動作主マーカーに関する考察--韓国語との対照を中心として(形式の語用論)』『日本語用論学会大会研究発表論文集』2
- 朴宣映(2006)『近代韓国語における日本語の影響：文章における影響を中心に』東京大学大学院博士論文
- 中西恭子(2006)『中期朝鮮語の与格標示について--敬語法との関係を中心に』『朝鮮学報』201
- 朴恩珠(2006)『現代韓国語動詞研究--連続体型動詞と同族目的語動詞が表す意味を対象に』『えくす・おりえんて』13
- 尹幸舜(2006)『韓国語のはなしことばと文章(特集=文と文章の諸相)--(はなしことばと文章)』『国文学解釈と鑑賞』71, 1
- 崔昌玉(2006)『一般言語学における意味論的役割について』『千葉大学人文社会科学研究』13
- 油谷幸利(2006)『만들다 の格支配構造-人間以外が主語になる用例を中心に-』『朝鮮学報』199・200
- 門脇誠一(2006)『朝鮮語における(〜しはじめる)の出現について』『北海道大学文学研究科紀要』118
- 金美仙(2006)『[할스 이ッタ]』と『[할스 칠르 알다]』『朝鮮語研究』3
- 金廷珉(2006)『韓国語における名詞化構文の終結用法--名詞と動詞の連続性の観点から』『日本認知言語学会論文集』6
- 中野友理(2006)『韓国語「할 것이다(hal geosida)」と「하겠다(hagessta)」について』『北海道大学大学院文学研究科研究論集』6

- 睦宗均(2006)『韓国語の心理動詞のアスペクチュアリティについて』『語学教育部ジャーナル』
2
- 金智賢(2006)『韓国語の回想先語末語尾「-더 deo-」の現れた文の使用について』『言語情報科学』4
- 任明秀(2006)『現代朝鮮語の特殊助詞-ㄴ/ㄴㄴと名詞を中心にした結合について』『韓国言語文化研究』12
- 野間秀樹(2006)『現代朝鮮語の丁寧化のマーカ-"-요/-어요"について』『朝鮮学報』199
- 任明秀(2006)『現代朝鮮語の特殊助詞-[라드](-lato)と名詞の結合について』『北海道大学大学院文学研究科研究論集』6
- 金善美(2006)『코·소·아とi·ku·ceの感情的直示用法と間投詞的用法について』『言語文化』
8, 4
- 金善美(2006)『韓国語と日本語の指示詞の直示用法と非直示用法』
- 李潤玉(2006)『日・韓助詞の認知的分析：「に/ㄴ[e]」v.s.「で/ㄴ[ro]」. 近畿大学語学教育部
紀要』6, 1
- 金恒汨(2006)『日本語と韓国語の機能動詞に関する対照研究』北海道大学博士学位論文
- 曾雌崇弘, 崔珍賀(2006)『日本語と韓国語における名詞句の等位接続』鈴木右文/ 水野佳三/ 高見健一 編『言語科学の真髄を求めて：中島平三教授還暦記念論文』
- 姜美善(2006)『「-テクル」「a/oe+oda」の日韓対照-本動詞からの意味拡張を中心に-』『早稲田大学日本語教育研究』8
- 印省熙(2006)『日本語の「のだ」と韓国語の「-ㄴ것이다」--会話文の平叙文の場合』『朝鮮語研究』3
- キムウンヨン(2006)『日韓両語の授受表現の比較分析：韓国語母語話者の「～てもらう」の習得過程の実態を中心に』『国際センター紀要』2
- 金京愛(2006)『現代韓国語のアスペクト形式〈-ko iss-〉の意味分析--日本語の「-ている」との比較の観点から』『京都大学言語学研究』25
- 李貞勲, 堀江薫(2006)『日韓語の可能表現の意味的・談話的な特徴に関する対照言語学的研究』社会言語科学会事務局 編 『社会言語科学会第18回大会発表論文集』
- 崔明姫(2006)『日本語逆説助詞「ケド」について--朝鮮語接続語尾「ㄴㄴ」・「ㄴㄴ」との対照分析』『地域文化研究』4
- 張美仙(2006)『現代韓国語のテンス・アスペクト形式について--会話文の言語資料から収集した用例の分析を通して--』東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科(横浜国立大学)博士論文
- 深見兼孝(2006)『日本語と朝鮮語の逆接の「接続語」について』『広島大学留学生センター-紀要』
16
- WASHIORyuichi(2006) Unaccusativity and East Asian Languages: Issues and Prospects. 中国語学, 253
- 金惠鎮(2007)『上級韓国語学習者のための「-[이/히/리/키]」と「二重形」の実例データ分析』

『比較文化研究』39

許仁順(2007)『「は」に対応する韓国語の表現：文末の疑問表現を中心に』『日本語・日本文化研究』13

都恩珍・黄情兪(2007)『韓国語の「doeda」被動文の意味的特徴に関する一考察-日本語の「漢語+する」形に対応する場合を中心に-』『桜花学園大学人文学部研究紀要』9

金惠鎮(2007)『韓国語の自発表現に関する考察--日本語との対照言語学的観点から』『久留米大学外国語教育研究所紀要』14

円山拓子(2007)『自発と可能の対照研究--日本語ラレル,北海道方言ラサル,韓国語 cita』『日本語文法』7,1

千英子(2007)『文学作品における使役文に関して--韓国語との対照研究を中心として』『摂大人文学』15

李恩我(2007)『受動表現の日韓対照研究--日本語の「-(ら)れる」形式に対応する韓国語の表現形式』『日本語・日本文化研究』17

白明学(2007)『韓国語における受身形式の機能的特徴--比較・対照の観点から』『名古屋言語研究』1

千英子(2007)『日本語と韓国語における視点について』『日本語用論学会大会研究発表論文集』3

千英子(2007)『日本語と韓国語のヴォイスに関する対照研究』神戸大学大学院博士論文

大塚真理子(2007)『膠着語における節の文法化に関する一考察--日本語・韓国語の理由を表す接続詞「だから」[「クロナカ」geureonikka]の意味形成過程について』『日本認知言語学会論文集』7

菅野裕臣(2007)「朝鮮語の格」『韓国語學年報』3

韓京娥(2007)『韓国語の「-a/e cwu-(～テアゲル・クレル)」構文の意味拡張』『言語情報科学』5

若生正和(2007)『韓国語アスペクト形式「-[コ][イッタ](-ko issta)」と時の副詞との共起可能性について』『大阪教育大学紀要 1 人文科学』5,2

五十嵐孔一(2007)『現代朝鮮語の「[ナマ]」について』『朝鮮学報』204

平香織(2007)『現代朝鮮語の意思形に関する記述的考察』『韓国語學年報』3

李光輝(2007)『韓国語の文末表現「-다면서」類について』『言語情報科学』5

黄永熙(2007)『韓国残存日本語の否定辞からみる言語摩滅』社会言語科学会事務局 編 『社会言語科学会第19回大会発表論文集』

金善美(2007)『指示詞が指し示す範疇について：現代韓国語と日本語の対照を中心に』『言語文化』9,4

丁時春(2007)『韓国語の受動形式の接辞と補助動詞について：異なるコーパスデータを対象に』『言語と文明：論集』5

柴公也(2007)『中国延吉市の朝鮮族学生の朝鮮語--韓国語と対照した語彙的・文法的特徴について』『海外事情研究』35,1

- 許宰碩(2007)『日本語の「しておく」について--韓国語の「hae nohda/duda」との対照の観点から』『筑波日本語研究』12
- 鄭世桓(2007)『日韓補助動詞の対照研究：日本語の補助動詞テシマウ形式の意味・用法とそれに対応する韓国語の補助動詞をめぐって』東北大学
- 金廷珉(2007)『日本語の「のだ」と韓国語の「KES-ITA」の意味に関する対照研究』『東北大学高等教育開発推進センター紀要』2
- 徐珉廷(2007)『「Vてもらふ」は韓国語でいかに現れるか：その出現形式と要因』『昭和女子大学大学院言語教育・コミュニケーション研究』2
- 瀧口恵子(2007)『韓国語と日本語「～ようと」の対照考察』『徳島大学国語国文学』20
- 李美賢(2007)『推量表現の日韓対照研究：発話主体の視点の違いから』『韓国語學年報』3
- 李美賢(2007)『文中の位置による韓国語の対応関係と意味用法：「ようだ」「らしい」「(し)そうだ」を中心に』『日本語教育方法研究会誌』14, 1
- 金京淑(2007)『可能表現の対照研究：日本語・中国語・朝鮮語の意味の対照を中心に』北海道大学大学院博士論文
- 金銀珠・伊藤友彦(2007)『聴覚障害児における助詞の誤りの特徴：日本語と韓国語の比較』『学校教育学研究論集』16
- 印省熙(2007)『日本語の「は」と韓国語の「가」についての一考察』『Lingua』18
- 長嶺聖子(2008)『韓国語の「パンマル」と日本語の「ため口」の違いに関する一考察--待遇表現の指導方法と関連して』『留学生教育』5
- 朴[ヨン]一(2008)『再構造化現象と統語構造：日本語と韓国語を中心に』筑波大学大学院博士論文
- 許宰碩(2008)『移動動詞の格表示とアスペクト形式との関係--韓国語との対照の観点から』『日本語と日本文学』47
- 松岡雄太(2008)『モンゴル語のアスペクトに関する研究：満洲語・朝鮮語との対照研究』九州大学大学院博士論文
- 高田祥司(2008)『日本語東北方言と韓国語の<過去>の表現について』『日本語の研究』4, 4
- 陸心芬(2008)『日本語の認識モダリティ形式の意味分析と韓国語の類似形式との対照研究』名古屋大学大学院博士論文
- 清水武雄・信澤博美・崔仁珠(2008)『間接話法での人称と時制の一致--英語・日本語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語』『群馬大学教育実践研究』25
- 金善美(2008)『韓国語と日本語の主題標識「은/는(un/nun)」と「は」に関する対照研究』『言語文化』10, 4
- 金銀珠・伊藤友彦(2008)『日本と韓国の聴覚障害児における格助詞の誤用の比較：構造格と内在格を中心に』『特殊教育学研究』46, 1
- 金智賢(2008)『韓国語と日本語の談話における「無助詞」の対照研究--現場性と主題を手がかりに』『言語情報科学』6
- 印省熙(2008)『日本語の「は」と韓国語の「는」の相違--翻訳本の非対応の例を中心に』『Lingua』

- KimAngelaA-Jeoung(2008)『日本語終助詞「よ」の伝達機能に関する考察：終助詞「よ」に相当する韓国語文末表現との対照研究』『慶應義塾外国語教育研究』5
- 尹亨仁(2008)『韓国語の使役動詞の用法：I 類の使役動詞の用法上の特徴を中心に(<特集>言語の個別性と普遍性)』『神奈川大学言語研究 特集』
- 梁今實(2008)『間接受動文と被害性：日本語と韓国語の対照研究』『鶴山論叢』8
- 生越直樹(2008)『現代朝鮮語における様々な自動・受動表現』生越直樹/ 木村英樹/ 鷲尾龍一編著 『ヴォイスの対照研究：東アジア諸語からの視点』
- 白明学(2008)『日本語と韓国語の受身構文研究：比較・対照の観点から』名古屋大学大学院博士論文
- 伊藤英人(2008)『『翻訳老乞大』中の句末助詞「了」,「也」,「裏」,「來」の朝鮮語訳について』『東京外国語大学論集 (Area and Culture Studies)』77
- 高地朋成(2008)『現代朝鮮語の連体形語尾'II-rieu'小考』『韓国語學年報』4
- 金亨貞(2008)『現代韓国語の対称用言の文構造』『言語文化論究』23
- 丁仁京(2008)『韓国語の「것이다/geosida」に由来する諸形式の総合的研』『言語と文明：論集』6,
- 丁仁京(2008)『韓国語の文末表現「[코시다]」のスコープ機能』『朝鮮学報』208
- 濱田亮輔(2008)『母語話者の類似度評価に基いた韓国語助詞「eyse」の計量的意味分析』『今治明德短期大学研究紀要』32
- 金惠鎮(2008)『韓国語の「-([오])[치]-」に関する意味的特徴について(1)三つの形態「-[이]/[히]/[리]/[키]」「-([오])치-」「二重形」が結合される他動詞文の分析を通して』『久留米大学外国語教育研究所紀要』15
- 丁時春(2008)『韓国語の受動形式について--接辞形/jida 形/接辞+jida 形を中心に』『アジア文化研究』15
- 金善美(2008)『現代韓国語と日本語における「[이]/この+X」の範疇解釈を導く名詞と述語について』『朝鮮学報』207
- 守屋哲治(2008)『法助動詞の発達の普遍性と個別性:英語・日本語・韓国語の対照に基づいて』『金沢大学教育学部紀要 人文科学・社会科学編』57
- 瀧口恵子(2008)『韓国語における補助動詞について』『徳島大学国語国文学』21
- 白以然(2008)『動詞「出す」と韓国語「[나이다]」(naida)」の対照研究--認知意味論の観点から』『人間文化創成科学論叢』11
- 鄭世桓(2008)『韓国語の補助動詞 ko malta 形式の意味・用法--対照言語学的観点から』『総合政策論叢』14,
- 鄭世桓・上原聡(2008)『日本語の補助動詞「テシマウ」に対応する韓国語の a pelita と ko malta について--文法化の観点からの対照分析』『日本認知言語学会論文集』8
- 中野友理(2008)『日韓文末形式「ノダ」と「geos-ida」について』『北海道大学大学院文学研究科研究論集』8

- 韓京娥(2008)『日本語の「～てあげる・くれる」と韓国語の「-a/e cwuta」の意味機能』『日本語教育』136
- 徐珉廷(2008)『日韓両言語における事態把握：「V ていく/くる」と「Ve kata/ota」』『昭和女子大学大学院言語教育・コミュニケーション研究』3
- 都基禎(2008)『日・韓両言語における「ていく」・「てくる」と「-가다/ka-ta」・「-오다/o-ta」の対照研究』『佛教大學大學院紀要』36
- 李光輝(2008)『韓国語の文末表現「-다고 tako」の文法化とその意味機能について』『言語情報科学』6
- 鄭聖汝(2008)『使役と受身の曖昧性はどこからくるか?--韓国語の動詞接辞-i/-hi/-li/-ki の機能を求めて』『大阪大学大学院文学研究科紀要』48
- 安祥希(2008)『無助詞使用状況の一考察：韓国人学習者を対象に』『日本語教育方法研究会誌』15, 2
- 金賢珍(2008)『日本語と韓国語の強意表現の形態的特徴--機能化された強意語を中心に』『愛知淑徳大学論集 コミュニケーション学部・コミュニケーション研究科篇』8
- チェインジュ・うえはらけいこ(2008) Difficulties associated with English passive voice for Korean learners of English as a foreign language. 群馬大学教育実践研究, 25
- 金廷珉(2009)『韓国語の文末形式「[n kes-ita)」の用法と指導に関する研究』『言語文化研究』28, 2
- 金賢珍(2009)『日本語と韓国語の強意語の修飾様相--形容詞との共起関係を中心に』『多元文化』9
- 清水孝司(2009)『原因・理由を表す日本語の「て」形接続と朝鮮語の{a}形接続--{a}形接続の許容の広さはなぜか』『独立行政法人日本学生支援機構日本語教育センター紀要』5
- 印省熙(2009)『日本語の「は」と韓国語の「가」の対応様相：前接名詞が「ヒト」である場合』『韓國語學年報』5
- 李惠正(2009)『「の」に対応する韓国語の「[ui]ui」の省略に関する考察--名詞による連体修飾を中心に』『東北大学言語学論集』18
- 金智賢(2009)『現代韓国語と日本語の談話における無助詞について：主語名詞句及び文頭名詞句を中心に』
- 秋田歩(2009)『日本語のガ・ヲ・ニと韓国語の을 reul の対応について：他動性の観点から』東京大学大学院博士論文
- 趙義成(2009)『起点的意味を表す中期朝鮮語の諸形式について』『朝鮮半島のことばと社会』
- 須賀井義教(2009)『中期朝鮮語文献の電子データ構築に関するいくつかの問題--XML の利用を中心に』『語学教育部ジャーナル』5
- 浜之上幸(2009)『現代朝鮮語の形容詞のクラスについて』『朝鮮半島のことばと社会』
- 金民(2009)『現代朝鮮語の動詞の連体形と被修飾名詞の共起に関する研究--hanun(……する)連体形を中心に』『朝鮮学報』212
- 高橋学(2009)『現代韓国語の複数性について』『姫路獨協大学外国語学部紀要』22

- 野間秀樹(2009)「引用論小考」『朝鮮半島のことばと社会』
- 濱田亮輔(2009)『母語話者の類似度評価に基いた韓国語助詞「lo」の計量的意味分析』『今治明德短期大学研究紀要』33
- 朴英珠(2009)『形容詞言い切り文の感嘆発話：韓国語「-ta」形を中心に』『鶴山論叢』9
- 平香織(2009)『文末に見る話し手の心的態度の違い』東北大学言語認知総合科学 COE 論文集 刊行委員会 編『言語・脳・認知の科学と外国語習得』
- 金善美(2009)『韓国語と日本語におけるムードと反語法について』『朝鮮半島のことばと社会』
- 崔明姫(2009)『現代韓国語の文中における接続語尾「[Nenunde]」について--日本語の逆説助詞「ケド」・「ノニ」との対照分析を中心に』『地域文化研究』7
- 浅尾仁彦(2009)『動詞連続の文法的性質を捉え直す—日韓対照を通じて—』ワークショップ「複雑述語の形式・機能とダイナミズム」関西言語学会第34回大会
- 金恩愛(2009)『日本語と韓国語における表現様相の研究』『朝鮮半島のことばと社会』
- 瀧口恵子(2009)『韓国語補助動詞の意味について：日本語との対照も添えて』『徳島大学国語国文学』22
- 朴江訓(2009)『日本語における否定一致現象に関する研究：韓国語との対照の観点から』筑波大学大学院博士論文
- 林世涓(2009)『日本語と韓国語の授受表現の対応関係について：補助動詞「～てもらう」のコーパス分析を通して』『日本語教育方法研究会誌』16, 2
- 徐珉廷(2009)『日本語話者と韓国語話者における主観的な<事態把握>の対照研究：「ていく/くる」と「e kata/ota」の補助動詞用法を中心に』昭和女子大学大学院博士論文
- 丁仁京(2009)『韓国語の終結語尾'-르걸(-lgeol)』に関する考察：コーパスに基づく分析』『言語と文明：論集』7
- 金珉珉(2009)『コーパスデータに基づいた韓国語の「(KES-ITA)」の用法』東北大学言語認知総合科学 COE 論文集刊行委員会 編『言語・脳・認知の科学と外国語習得』
- 李憲卿(2009)『韓国語の先語末語尾'-르-'の対人的機能について--ポライトネス効果を中心に』『朝鮮学報』212
- 小山内優子(2009)『現代朝鮮語の名詞化接尾辞{-m}{-gi}について』『思言』5
- 金恩愛(2009)『日本語の「名詞+の+名詞」は韓国語でいかに現れるか--第3の類型について』『カルチュラル』3, 1
- 金慶恵(2009)「日本語と韓国語の条件表現の対照研究」首都大学東京博士論文
- 呉珠熙(2010)『「どうせ」の共起関係と文類型について--韓国語の副詞「[どうせ][どうせ(なら)]」との対照を兼ねて』『九州国際大学教養研究』17, 1
- 金銀珠・伊藤友彦(2010)『日本と韓国の聴覚障害児の格助詞「に」に関する統語知識』『東京学芸大学紀要. 総合教育科学系』61, 1
- 韓必南(2010)『連体助詞「の」を含む名詞句の韓国語対応形について：日韓翻訳テキストの分析を通して』『言語・地域文化研究 (Language, area and culture studies)』16
- 中西恭子(2010)『現代韓国語の「与格」助詞 ege について--日本語「に」との対照を中心に』

『人文論叢』 58, 58

印省熙(2010)『日本語の「は」と「が」と韓国語の「는」と「가」』須田淳一/ 新居田純野 編
『日本語形態の諸問題：鈴木泰教授東京大学退職記念論文集』

李光輝(2010)『文末の「って」「んだって」と対応する韓国語について--元話者(情報源)が第三者の場合を中心に』『近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編』 1, 1

鄭在喜(2010)『日韓の受動文における対照研究--「言う/話す/聞く(訊く)」を中心に』『言語文化と日本語教育』 40

浜之上幸(2010)『朝鮮語の研究.現代朝鮮語の形容詞のクラスに関する予備的考察』北海道大学大学院文学研究科言語情報学講座 編『言語研究の諸相：研究の最前線』

鄭聖汝(2010)『韓国語における他動性--プロトタイプ理論から見たカテゴリーの内部構造と非規範的構文』『大阪大学大学院文学研究科紀要』 50

崔昌玉(2010)『現代朝鮮語の相互構文』『韓国語學年報』 6

韓南洙(2010)『朝鮮語における文の成分について--拡大文を中心に(特集 〈文の成分〉から文をとらえる--文の分析と理解のために)--(諸言語にみる文の成分)』『国文学：解釈と鑑賞』 75, 7

石賢敬(2010)『能動性の排除された韓国語の<되다 doeda 構文>について』『東京大学言語学論集』 30

和田学(2010)『韓国語のいわゆる軽動詞構文の分類』『山口大学文学会志』 60

崔榮殊(2010)『「結果状態」を表す韓国語の-있-と-어있-の使い分け』『朝鮮語研究』 4

伊藤英人(2010)『朝鮮語(特集 アスペクト)--(データ:アスペクト)』『語学研究所論集』 15

村田寛(2010)『現代朝鮮語の接続形語尾<-[ジャマジャ]>小考：節内・節間コントロールの観点から』『福岡大学人文論叢』 42, 1

文彰鶴(2010)『現代韓国語の終結語尾-ci(yo)の多義性』『神奈川大学言語研究』 33

崔昌玉(2010)『現代朝鮮語の受動文の類型--[イ]-,-[ヒ]-,-[リ]-,-[キ]-による派生を中心に』『千葉大学ユーラシア言語文化論集』 12

石田美智代(2010)『韓国語の使役文の研究：使役化と格表現の問題について』『静岡大学教育研究』 6

HoHyunSung(2010)『「だろう」の推量用法と韓国語形式の対照』『筑波応用言語学研究』 17

金志姫・白川博之(2010)『確認要求表現「だろう」と「よね」について--韓国語の確認要求表現「[チ](ji)」との比較を通して』『広島大学日本語教育研究』 20

鈴木義和・孫哲(2010)『日本語と韓国語の条件文の対照研究(特集 国際関係の中の日本語研究)』『国文論叢』 43

京田功(2010)『日韓両国語の中止法についての一考察--『沈清伝』にみえる中止法』『拓殖大学日本語紀要』 20

徐珉廷(2010)『日本語話者の<好まれる言い回し>としての「ていく/くる」の補助動詞的な用法--対応する韓国語の「e kata/ota」との比較を通して』『日本認知言語学会論文』 10

丹原邦博(2010)『日本語と朝鮮語の時制と相』『関西大学外国語教育フォーラム』 9

- 高恩淑(2010)『韓国語における可能表現の意味特徴と用法：日本語の可能表現を手掛かりとして』『一橋大学国際教育センター紀要』1
- 丁仁京(2010)『韓国語の終結語尾'-ㄴ거'と'-르거'の研究--話し手が言及する情報と統語形式との関連』『朝鮮学報』216
- 全恵子(2010)『現代韓国語の先語末語尾{-겠-}の文法的機能について』『朝鮮学報』216
- 呉先珠.(2011)『韓国語語尾-다니の研究：主に韓国語教育の観点から』『韓国言語文化研究』19
- 生越直樹(2011)『対照 日本語と朝鮮語は本当に似ているか』東京大学言語情報科学専攻 編『言語科学の世界へ：ことばの不思議を体験する 45 題』
- 林香淑(2011)『話し言葉における「なんというか」類の使用について：中国語、韓国語母語話者を対象に』『日本語研究』31
- 尹亭仁(2011)『韓国語の使役動詞の特徴』武内道子/ 佐藤裕美 編『発話と文のモダリティ：対照研究の視点から』
- 小山内優子(2011)『『法華経諺解』にみる結構助詞「所」の中期朝鮮語訳について』『思言：東京外国語大学記述言語学論集』7
- 須賀井義教・村田寛(2011)『15 世紀朝鮮語の形態素解析について』『近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編』1, 2
- 和田学(2011)『韓国語の語彙的複合動詞』『Kyushu University Papers in Linguistics』32
- 伊藤英人(2011)『朝鮮語 (特集 モダリティ)』『語学研究所論集』16
- 五十嵐孔一(2011)『現代朝鮮語の'-[다 포미ョン]'と'-[다 포니ッカ]'について』『東京外国語大学論集』82
- 石賢敬(2011)『行為動詞における意図性について：韓国語の「doeda(なる)」を中心に』『東海大学紀要 教育研究所』19
- 睦宗均(2011)『アスペクト的意味の適切な扱いに向けて：限界動詞を中心に』『近畿大学教養・外国語教育センター紀要. 外国語編』2, 1
- 金善孝(2011)『朝鮮語の助詞結合と適時統語論』『朝鮮学報』218
- 李善姫(2011)『韓国語の「[行く]」との結びつきから見た「-[エ]」, 「-[ロ]」, 「-[ルル]」』『カルチュラル』5, 1
- 白寅英(2011)『現代日本語と韓国語の場所格交替構文に関する対照言語学的研究』筑波大学大学院博士論文
- 文彰鶴(2011)『日本語と韓国語の文末形式に関する対照研究--「知覚表明」と「知識表明」の概念を中心として』『言語情報科学』9
- 宮岸哲也(2011)『授与補助動詞構文の文法化について--日本語～てあげる/くれる・韓国語-a/e cwuta・シンハラ語-la denawa を例にして』『国語国文論集』41
- 井上優(2011)『日本語・韓国語・中国語の「動詞+授受動詞」 (特集 やりもらいの日本語学)』『日本語学』30, 11
- 崔在雄・首藤佐智子・原田康也(2011)『日本語と韓国語における名詞句接続の対照研究』電子情報通信学会技術研究報告 TL『思考と言語』111, 320

- 内丸裕佳子・金英淑・朴江訓(2011)『形容詞の等位接続に現れる形態について：日本語のテ形と韓国語의고(go)形の統語的共通点と相違点』『留学生教育』16
- 崔松子(2011)『日本語の「は、が」、韓国語の「[ウン]/[ヌン]、[カ]/[イ]」と中国語--日本語教育と韓国語教育の観点から』『東アジア日本語教育・日本文化研究』14
- 安祥希(2011)『韓国語の与格助詞"ege"とその代用形態：意味機能及び生起条件について』『筑波応用言語学研究』0
- 呉珠熙(2011)『「せっかく」の持つ前提と共起制限の関わりについて：韓国語の副詞「mocheoreom, ilkkeott」との対照を兼ねて』『教養研究』18, 2
- 金井勇人・金善花・PrawitaJosep(2011)『日本語と諸言語の指示語の対照について--インドネシア語・韓国語・中国語と』『国際交流センター紀要』5
- 高木丈也(2012)『日本語と韓国語の談話におけるいわゆる中途終了発話文』の出現とその機能』『社会言語科学 = The Japanese journal of language in society』15, 1
- 小島大輝(2012)『한국어와 일본어의 조사 결합에 대하여：격조사와 보조사의 분포적 특성을 중심으로』『韓国研究センター年報』12, 0
- 倉島礼子(2012)『日本語の助詞'의'との対照を通じた韓国語の助詞'의'の省略現象研究：口語資料を中心に』『韓国語教育研究』2
- 風間伸次郎(2012)『アルタイ型言語における準動詞と言いさしについて』『北方言語研究』2
- 文彰鶴(2012)『日本語と韓国語の文末形式に関する対照研究：「知覚表明」と「知識表明」の概念を中心に』東京大学大学院博士論文
- 李光輝(2012)『日本語と韓国語における引用構文由来の文末表現について』東京大学大学院博士論文
- 白明学(2012)『「持ち主の受身」と「所有物受身」について：韓国語における制約を中心に』『名古屋外国語大学現代国際学部紀要』8
- 金惠鎮(2012)『韓国語における自発文の意味的用法：日本語との対照研究を通して』『韓国語教育研究』2
- 伊藤英人(2012)『古代・前期中世朝鮮語における名詞化』『東京外国語大学論集：area and culture studies』85
- 張高慙(2012)『韓国語の動詞'twol-(回る)'の使役動詞に関する歴史的研究』『言語科学論集』18
- 金京愛(2012)『現代韓国語の動詞分類：-고있-; -어있-の意味分析を基に』『朝鮮学報』225
- 高恩淑(2012)『韓国語の"do da"の用法とその意味特徴：〈可能〉の意味を表す"do da"を中心に』『韓國語學年報』8
- 五十嵐孔一(2012)『現代朝鮮語の'-고 보면'と'-고 보니까'について』『東京外国語大学論集：area and culture studies』84
- 金美玟(2012)『現代朝鮮語の"連体形+것 같다"形について：〈"-니까보다"形〉との比較を中心に』『朝鮮学報』222, 0
- 丁仁京(2012)『現代韓国語の形式名詞'것 geos'に由来する諸形式の研究』麗澤大学大学院言語教育研究科博士論文

- 鄭貞美(2012)『韓国語「-ㄹ -geess」に関する意味機能の考察：敬語に付くケースを中心に』『韓国文化研究：journal of the Academic Association for Korean Culture』1
- 李憲卿(2012)『韓国語の先語末語尾'-ㄹ-'の意味と機能—語用論的観点からの考察— 内容の要旨』『言語と文明 = Language & Civilization』10
- 池玖京(2012)『韓国語接続助詞 neunde の機能』『言語情報科学』10
- 梅田博之(2012)『韓国語の丁寧さを表わす終助詞요についての覚え書』『言語と文明：論集』10
- 伊藤英人(2012)『朝鮮語（特集 ヴォイスとその周辺）』『語学研究所論集』17
- 金善美(2012)『現代韓国語と日本語の「遭遇系間投詞」に表れる話し手の事態評価について』『ありあけ：熊本大学言語学論集』11
- 權城(2012)『推量用法の「だろう」と「はずだ」に関する研究：韓国語との対照を中心に』『Nidaba』41
- 高恩淑(2012)『日本語と韓国語における可能表現の意味・用法：可能形式を述語とする可能文を中心に』
- 權城(2012)『認識モダリティ表現に関する日本語と韓国語の対照研究：韓国人日本語学習者のための教材作りの基礎として』
- 李潤玉(2012)『方向性メタファーと「敵対」概念との繋がり認知的分析：英語・日本語・韓国語を対象に』『文学・芸術・文化 = Bulletin of the School of Literature, Arts and Cultural Studies, Kinki University：近畿大学文芸学部論集』24, 1
- 佐藤直人(2012)『韓国語の助動詞選択について』笹原健/野瀬昌彦 編『日本語とX語の対照：外国語の眼鏡をとおして見る日本語：対照言語学若手の会シンポジウム2011 発表論文集』2
- 清水孝司(2012)『日本語の「のだ」と韓国語の「것이다」の対照研究：状況との関連づけの有無がもたらす表現の差』『言語文化学研究』7
- 深見兼孝(2012)『日本語の「~ニスル」と朝鮮語の'-lo hata'について』『広島大学国際センター紀要』2
- 韓京娥(2012)『移動方向動詞と結合している「ていく/くる」と「ekata/ota」：一人称の移動を対象に』『言語文化論究』28
- 都築鉄平(2012)『日・中・韓国語における変化表現と結果状態表現の使い分けについて：認知語用論的アプローチによる分析』『日本認知言語学会論文集』12
- 金情浩(2012)『韓国語かき混ぜ語順文のプライミング効果』『文化』75, 3
- 板橋義三(2012)『第4回国際日韓比較言語学会 基調講演 日本語と朝鮮語の格助詞の同源関係に関する再検討』『日韓比較言語文化研究：journal of the International Society for the Comparative Study of Korean and Japanese』3
- 高木裕子・宋善花(2012)『対称詞の待遇性による使用制限-日本語・朝鮮語・中国語の社会言語学的対照の観点から-』『実践女子大学人間社会学部紀要』8
- 金賢珍(2012)『「比較の程度」を表す韓国語の強意語の一考察：機能語化された語の共起関係を中心に』『愛知淑徳大学論集. 交流文化学部篇』2

- 李安九(2012)A Description of the Passive and Causative Expressions in Korean-Japanese Dictionaries. 言語文化研究, 31, 2
- 池玟京(2013)『文末表現による共通認識領域の構築：日本語の「じゃないか」と韓国語の「-잖아」を中心に』『韓国語学年報』9
- 金民(2013)『現代朝鮮語の動詞の連体形'할'と高い頻度で現れる被修飾名詞について』『朝鮮語研究』5
- 伊藤英人(2013)『朝鮮語(特集 所有・存在表現)』『語学研究所論集』18
- 深見兼孝(2013)『現代朝鮮語の'-lo toyta'について』『Nidaba』42
- 金英周・五十嵐陽介・酒井弘(2013)『韓国語属格主語節の統語構造：プロソディーと文法のインターフェイスからの探求(人間の言語処理と学習)』『電子情報通信学会技術研究報告 TL, 思考と言語』113, 174
- 崔昌玉(2013)『現代朝鮮語の使役文-接尾辞による派生を中心に-』『言語文化研究』32, 2
- 上田裕(2013)『「들어 있다」と「들어가 있다」の使い分けに関する考察』『朝鮮語研究』5
- 八野友香(2013)『シテ形接続の因果用法と韓国語の-어서の比較考察：韓国人日本語学習者の誤用例分析を中心に』『比較文化研究』106
- 羅聖淑(2013)『日本語動詞の連用形-日韓対照研究-』『日本大学歯学部紀要』41
- 塚本秀樹(2013)「文法体系における複合格助詞と単一格助詞の位置づけ-日本語の複合格助詞「～にとって」とそれに対応する朝鮮語の表現をめぐって-」藤田保幸(編)
- 金賢珍(2013)『韓国語の強意表現の形態的類型：機能語化されていないものを中心に』『愛知淑徳大学論集 交流文化学部篇』3
- 穆欣(2013)『日本語、韓国語、中国語の主題の省略について：川端康成『伊豆の踊子』の原文と翻訳文を検討材料として』『異文化研究』7
- 李英蘭(2013)『現代韓国語の「-n kes-ita」文の使用条件と文法化について：日本語の「ノダ」文との比較を中心に』『韓国語学年報』9
- 金美仙(2013)『日本語の〈シテイル・シテイタ〉に表される「出来事の継続」と「動作パーフェクト」に対応する韓国語のアスペクト的表現』『朝鮮語研究』5
- 李炫淨(2013)『韓国語と日本語の過去時制の比較分析(その1)--「状態性」を表す「-있-」について』『文学・芸術・文化：近畿大学文芸学部論集』25, 1
- 金美玟(2013)『現代韓国語の<依存名詞構成>に関する研究：形態的側面を中心に(論文)』『言語・地域文化研究 (Language, area and culture studies)』19
- 全恵子(2013)『現代韓国語の先語末語尾{-겠-}の疑問形における機能と特徴』『朝鮮語研究』5
- 池玟京(2013)『現代韓国語の接続語尾「는데 neunde」について』『朝鮮語研究』5
- 金秀美(2013)『韓国語の「고 오다」と「아 오다」について』『慶應義塾外国語教育研究』10
- 李英蘭(2013)『韓国語の「-n kes-ita」文について：「主題-解説」構造の観点から』『言語情報科学』11
- 高恩淑(2013)『韓国語と日本語の述語における可能形式のズレ：《実現可能》における可能形式のズレを中心に』『朝鮮語研究』5

- 禹昊穎(2014)「韓国語における「ul」格名詞句の重出をめぐって：事実関係を再考する」『学習院大学人文科学論集』23
- 新井保裕(2014)『「だけ」と'만'に見られる用法変化の日韓対照研究：記述研究』『韓国語学年報』10
- 鄭貞美(2014)『韓国語と日本語の敬語助詞：主体(主語)助詞を中心に』『東アジア研究』62
- 韓必南(2014)『現代韓国語の〈있다〉構文について：日本語の「ある/いる」構文との対照言語学的考察』『朝鮮学報』233
- 鈴木陽二(2014)『現代韓国・朝鮮語における終結態表現について』『天理大学学報』66, 1
- 맹복실(2014)『조선대학교 도쿄출신 학생들의 조선어에서 나타나는 종결형의 체계에 대한 연구 : 알림식, 물음식의 체계를 기술하기 위한 기초적인 논의』『朝鮮大学校学報 = 조선대학교학보 = Journal of Korea University』24
- 小山内優子(2014)『中期朝鮮語における2つの補文節について』『国立国語研究所論集』7
- 小山内優子(2014)『原刊『捷解新語』に現れる朝鮮語の名詞化語尾-mと-ki』『東京外国語大学日本研究教育年報 = Japanese studies : research and education annual report』19
- 金民(2014)『現代朝鮮語の動詞の連体形と被修飾名詞に関する研究：'han'(…した)連体形と高い頻度で現れる名詞』『朝鮮学報』231
- 金善美(2014)『現代韓国語と日本語の反語法文を成立させる語用論的条件について』『朝鮮学報』233
- 堀江薫(2014)『文末名詞化構文の相互行為機能-日韓語の自然発話データの対照を通じて-』『井出祥子・藤井洋子編『解放的語用論への挑戦-文化・インターアクション・言語』
- 穆欣(2014)『日本語・韓国語・中国語・英語の無主格文について：川端康成『伊豆の踊子』『雪国』の原文と翻訳文を検討材料として』『山口国文』37
- 穆欣(2014)『日本語・中国語・韓国語・英語の一語文に関して：川端康成『伊豆の踊子』の原文と翻訳文を検討材料として』『異文化研究』8
- 金恩愛(2014)『日本語と韓国語における主語の現れ方について』『福岡県立大学人間社会学部紀要』22, 2
- 石田美智代(2014)『「テアル」と韓国語との対応：格表示と動作主の存在を中心に』『慶應義塾外国語教育研究』11
- 金慶恵(2014)「日本語と韓国語の条件表現の対照研究」『小林賢次/ 小林千草 編 日本語史の新視点と現代日本語』
- 朴珍希(2014)『目的を表す表現の日韓対照研究：韓国語の「-러 leo」と日本語の「~に」を中心に』『文化共生学研究』13
- 伊藤英人(2014)『朝鮮語(特集 他動性)』『語学研究所論集』19
- 金亨貞(2014)『韓国語名詞句の有生性階層：助詞「에게(ege)」・「에(e)」との接続関係を中心に』『GR-同志社大学グローバル地域文化学会紀要』3
- 荻原稚佳子(2014)『韓国語母語話者の韓国語会話での言いさし使用：自己開示の言いさしの働きに注目して』『応用言語学研究：明海大学大学院応用言語学研究科紀要』16

- 金アラン(2014)『해요体の命令文の実現様相に関する一考察：大学生の自然会話をデータとして』『韓国語学年報』10
- 高雅妃(2014)『日本語・韓国語指示詞の時制対照研究(口頭発表・午前の部,日本語学会 2013 年度秋季大会研究発表会発表要旨)』『日本語の研究』10,2
- 孔蕙英(2015)『日本人韓国語学習者の作文に見られる誤用分析：「-아서/-어서」と「-고」を中心として』『日本語教育論集』24, 9-16
- 秦秀美(2015)『韓国語教育の視点からみた「-을게요」の運用に関する一考察』『関西大学外国語教育フォーラム』14
- 宣皎貞(2015)『Talmy の類型論から見た日本語と韓国語の様態表現：複合動詞を中心に』『言語情報科学』13
- 小山内優子(2015)『中期朝鮮語における形式名詞 kes の用法』『言語・地域文化研究 (Language, area and culture studies)』21
- 永原歩(2015)『韓国語の過去連体形について：던と-았/었던の違いを中心に』『東京女子大学紀要論集』65,2
- 徐珉廷(2015)『韓国語の「kata(行く)」と「e kata(ていく)」のつながり (総合教育センター・国際学科特集)』『学苑』895
- 全相律(2015)『日本語の使役構文における意味と構文の関わり：韓国語の使役構文との対照を通して』『言語情報科学』13
- 尹亭仁(2015)『疑問詞疑問文に見られる助詞ハと「는/은」の非対応をめぐって -用例分析から見えてきた傾向を中心に-』『神奈川大学言語研究』37
- 林仙雅(2015)『日本語の連体格助詞「の」と韓国語の冠形格助詞「의(ui)」の対照研究』広島大学博士論文
- 鄭聖汝(2015)『使役構文の形成と結合価再考：日本語と韓国語の証拠から』『大阪大学大学院文学研究科紀要』55
- 平木孝典(2015)『日韓対照言語表現研究：日本語の体言的表現と韓国語の用言的表現』『千葉科学大学紀要』8
- 高恩淑(2015)『日本語と韓国語における可能表現：可能形式を文末熟語とする表現を中心に』
- 和田学(2016)『日本語と韓国語の複雑述語のタクソノミー(Doctoral dissertation, 九州大学)』
- 崔昌玉(2016)『現代朝鮮語におけるヴォイスと命令との相関関係』『韓国語学年報』12, 25-54.
- 吳先珠(2016)『日・韓両国語の伝聞表現のモダリティ：話者の表現意図を中心に』九州大学博士論文
- 金恩愛(2016)『日本語と韓国語の名詞についての研究ノート』『福岡県立大学人間社会学部紀要』25(1), 43-49.
- 林完守(2016)『日本語と韓国語のアスペクト体系の対照: 日本語の [-テイ-] と韓国語の [-ko iss-] の拡張的用法を中心に』『동북아시아문화학회 국제학술대회 발표자료집』266-271.
- 成昊炫(2016)『日韓推量モダリティ形式の対照研究』筑波大学博士論文
- 文彰鶴(2017)『意志表現に関する日韓対照研究-文法形式と文法化形式を中心に』『일본언어문화』

41, 152-171.

崔昌玉(2018)『現代朝鮮語のヴォイス:‘漢字語+ 하다’,‘漢字語+ 되다’の考察を中心に』『言語文化研究』37(2), 265-306.

崔昌玉(2018)『現代朝鮮語の受動文において動作の主体がどのように明示されるか』『韓国語学年報』(14), 23-42.

李忠均(2018)『韓国語テキストにおけるアスペクト表現』『神奈川大学言語研究』40, 187-207.

裴明文(2018)『日韓語の副詞終了文に関する対照研究 (Doctoral dissertation, 北海道大学)』

文彰鶴(2018)『意志表現の疑問文に関する日韓対照研究-文法形式の対応関係を中心に』『일본언어문화』44, 27-48.

金廷珉(2018)『[けど] と [는데] の使用実態に関する日韓対照研究: 共起形式の種類と頻度を中心に』『일본문화학보』8, 397-413.

黒島規史(2019)『朝鮮語の否定, 形容詞と連体修飾複文』『語学研究所論集 (Journal of the Institute of Language Research)』23, 219-227.

鄭聖汝(2020)『韓国語における疑問文の形成と体言化——慶南方言・済州方言の名詞述語疑問文と動詞述語疑問文を手掛かりに——』『言語研究』157, 1-36.

朴鍾厚(2020)『韓国語の「의 (ui)」名詞句と日本語の「の」名詞句の対応様相についてのコーパス分析』『情報学研究』9, 14-21.

金廷珉(2020)『[主観] を表す文末名詞文の日韓対照研究—小説と新聞の用例に基づいて—』『일본문화학보』87, 209-224.

金廷珉(2020)『文末の[는데] に対応する日本語の形式分析—韓国ドラマの日本語吹き替え版を用いて—』『일본문화학보』84, 221-236.

韓京娥(2020)『[~ てくれる] と [-어 주다 (~ テクレル)] の[恩恵] と[皮肉]』『일어일문학』87, 169-185.

清水孝司(2020)『韓国語の「는/은」「가/이」とそれに対応する日本語について 提題表現「って」を参考として』『朝鮮語教育: 理論と実践』15, 29-52.

鄭聖汝(2021)『体言化と名詞句用法標識の関係: 韓国語 kes の歴史的展開を中心に』『大阪大学大学院文学研究科紀要』61, 175-209.

金廷珉(2021)『リメイクドラマに見る日韓の[名詞表現] と[中断節] の使用様相-[ドラゴン桜] と[공부의 신] を対象に』『일본어학연구』70, 21-37.

韓京娥(2021)『韓国語と日本語の文脈指示に関する研究 —韓国新聞のコラム欄とその日本語訳を中心に—』『일어일문학』91, 173-190.

◆ 語彙論

MARTIN, S.E. (1966) Lexical evidence relating Korean to Japanese. Language, 42

浜田敦(1966)「指示詞—朝鮮資料を手がかりに—」『国語国文』35, 6

中村暎枝(1968)「現代朝鮮語の辞典見出語における語彙の分布状況」『朝鮮学報』49

安田吉実(1970)「韓国語の“당신(当身)”考」『天理大学学報』21,4

- 中川清(1971)「現代朝鮮語用言들다の意味・用法について」『朝鮮学報』59
- 青山秀夫(1972)「現代朝鮮語の擬声語」『朝鮮学報』65
- 亀井孝(1973)「日本語のツルとイトとは朝鮮語の[ツルミ]と[シル]とにそれぞれ縁つづきか」『亀井孝論文集』
- 青山秀夫(1974)「現代朝鮮語の派生擬態語試考」『朝鮮学報』72
- 青山秀夫(1977)「朝鮮語の音声象徴」『言語』6, 10
- 前田綱紀(1978)「朝鮮語の味覚表現形容詞」『朝鮮学報』86
- 青山秀夫(1978)「朝鮮語の俚諺の用法について—特定の史料による一考察—」『朝鮮学報』89
- 北嶋静江(1979)「朝鮮語の形容詞:日朝両語の対照における」『言語研究』75, pp.97-98
- 北嶋静江(1979)「朝鮮語の形容詞:日朝両語の対照における」『言語研究』75, 97-98
- 奥津敬一郎(1979)「日本語の授受動詞構文--英語・朝鮮語と比較して(森山重雄教授記念号)」『人文学報』132
- 洪思満(1979)「日本語の副助詞と韓国語の特殊助詞との対照研究(II)」『朝鮮学報』90
- 梅田博之(1979)「朝鮮語のある動詞群の意味について」『文部省特定研究言語 研究発表会論文集』
- 梅田博之(1980)「親族名称の変化—朝鮮語の場合—」『日本の言語学』2, 5
- 門脇誠一(1982)「日本語と朝鮮語の語彙(国別の問題点-4-韓国における日本語教育<特集>)」『日本語教育』48
- 梅田博之(1982)「朝鮮語の指示詞」『講座日本語学』12
- 梅田博之(1982)「朝鮮語の語彙 II 意味の問題」『講座日本語学』12
- 奥津敬一郎(1983)「授受表現の対照研究—日・朝・中・英の比較—」『日本語学』2, 4
- 李妍淑・田中克彦(1984)「借用の条件-上-朝鮮語に入った日本語」『言語生活』389
- 李妍淑・田中克彦(1984)「借用の条件-下-朝鮮語に入った日本語」『言語生活』390
- 松尾勇(1984)「対人関係と朝鮮語の対者敬語」『外国語教育:理論と実践』1~12
- 菅野裕臣(1986)「朝鮮語の語彙について」『朝鮮語大辞典』上巻
- 石井博(1988)Japanese Etymological Studies Re-examined through the Korean Language. 人文社会科学研究, 28
- 安秉杰(1989)「日・韓両語の対照研究--日本語「する」,韓国語「hada」動詞について」『教育学研究紀要』34, 2
- 徐尚揆(1989)「時間副詞의 時間表示機能에 대하여—「지금」과의 比較를 통한 時間副詞「이제」에 대한 研究—」『朝鮮学報』133
- 石井博(1989)「語源考ノト-8-朝鮮語 motak-pul(焚火)の形態素分析」『人文社会科学研究』29
- 油谷幸利(1989)「朝鮮語の同形異語について」『朝鮮学報』133
- HURKyoungHee(1989) Contrastive and Comparative Research on Onomatopoeia in Japanese and Korean Language. 日本語教育, 68
- 油谷幸利(1990)「日本語と朝鮮語の語彙の対照」『講座日本語と日本語教育』7
- 野間秀樹(1990)「朝鮮語のオノマトペ—擬声擬態語の境界画定, 音と形式, 音と意味について

- 一)『学習院大学言語共同研究所紀要』13
- 油谷幸利(1990)「朝鮮語機械辞書の見出し語形について-変則用言と母音語幹用言を中心に-」
『アジアの諸言語と一般言語学』
- 曹喜澈(1991)「日韓同形漢語の語義・用法の相違」『日本近代語研究』1
- 石井博(1991)「日本語と朝鮮語--オモテ(本家)とイモチ(分家)」『人文社会科学研究』31
- 中里弘子(1991)「日本語と韓国語の諺対照比較研究」『秋田大学教育学部教育研究所報』28
- 田村宏(1992)「日本語と朝鮮語の単漢字語用言比較」『九州大学留学生教育センター紀要』4
- 曹喜澈(1993)「韓国の漢字・漢語事情」『しにか』, 4, 3
- 徐尚揆(1993)「현대 한국어의 시능말의 문법적 기능에 대한 연구—풀이말과의 결합관계를 중심으로—」『朝鮮学報』, 149
- 油谷幸利(1993)「日本人のための朝鮮語辞典作成の基礎研究」『青丘学術論集』, 3
- 石井博(1993)「日本語ユメと朝鮮語 kkum (夢)」『講座日本語教育』28
- 黄道三・長尾眞・佐藤理史(1993)「日本語分類語彙表からの韓国語分類語彙表の作成」『情報処理学会研究報告自然言語処理』
- 黄道三・長尾眞(1994)「分類語彙表からの韓国語シソーラスの作成」『情報処理学会論文誌』, 35, 2
- 石井博(1995)「日本語と朝鮮語--置・宴・祝を中心に」『人文社会科学研究』 35
- 金玉英(1996)「韓国語動詞の分類」『言語学論叢』14
- 塚本秀樹(1986)「数量詞の遊離について--日本語と朝鮮語の対照研究」『朝鮮学報』119, 120
- 菅野裕臣(1986)「オノマトペの響き<豊かな語彙と音>」『言語』15, 11
- 野村伸一(1987)「頓珍漢と東問西答--朝鮮語の辱説にふれて」『言語生活』428
- 蔡京希・權奇洙(1987)「韓国語動詞分類試論」『文献探究』19
- 青山秀夫(1988)「現代朝鮮語の笑いの表情をあらわす語群の意味について」『天理大学学報』39, 2
- YIM Young Cheoul(1989)A Sociolinguistic Study of Onomatopoeia--From a Survey of Korean Immigrants in the United States. 日本語教育, 68
- 石井博(1990)「朝鮮語 pedil(柳)と日本語 yanagi(柳)の形態素比較」『早稲田大学語学教育研究所紀要』41
- 車美愛(1990)「韓国語の色彩表現-日本語との比較の観点から-」『名古屋大学言語学論集』6
- 徐尚揆(1991)「現代朝鮮語の程度副詞について--副詞<아주>の<程度>と<様態>の意味を中心に」『朝鮮学報』140
- 野間秀樹(1991)「朝鮮語のオノマトペー擬声擬態語と派生・単語結合・シンタックス・テキストについて」『学習院大学言語共同研究所紀要』14
- 石井博(1992)「日本語アメ(雨)と朝鮮語 pi(雨)」『人文社会科学研究』32
- 石井博(1992)「対馬方言ムジケ(虹)と朝鮮語 mucikae(虹)」『早稲田大学語学教育研究所紀要』45
- 青山秀夫(1992)「象徴後の一部の派生接尾辞について」『朝鮮学報』145

- 野間秀樹(1993)「現代韓国語의接統形<-다가>에 대하여--aspect・taxis・用言分類」『朝鮮學報』, 149
- 石井博(1994)「蝸牛相当語に見る日本語と朝鮮語の近縁關係」『人文社会科学研究』34
- 石井博(1995)「日本語と朝鮮語-続-墓」『人文社会科学研究』35
- 深見兼孝(1995)「日本語の「したがう」と朝鮮語の“t t a l u t a”」『吉川守先生御退官記念論文集編集委員会／編 言語学論文集：吉川守先生御退官記念』
- LEEKyungSoo. (1996)A Contrastive Study of Compound Verbs with -dasu in Japanese and -naya in Korean--Focusing on the Relationship with the Independent Verbs. 日本語教育, 89
- 韓有錫(1996)「自他動詞の対立と派生に関する研究 -日本語と韓国語の両言語対照を中心に」名古屋大学大学院博士論文
- 吳美善(1996)「「～きる」とそれに対応する韓国語の表現」『ことば』, 17
- 許仁順(1997)「確信を表す程度副詞の数量化に関する考察：韓国語と日本語の比較分析」『日本教育工学雑誌』21, 1
- 李鍾徹・藤井茂利(1997)「韓国語の語彙論の基礎的研究(1)教材開発のための語彙論史」『福岡大学人文論叢』, 29, 3
- 丸田孝志・林憲燦(1997)「「漢語+になる」の用法と特徴--韓国語との対応關係を中心に」『朝鮮學報』163
- 梅田博之(1988)「漢語の導入と親族名称の変化」『日本文化研究所研究報告』
- 李鍾徹・藤井茂利(1998)「韓国語の語彙論の基礎的研究(2)教材開発のための語彙論史」『福岡大学人文論叢』29, 4
- 李鍾徹・藤井茂利(1998)「韓国語の語彙論の基礎的研究(3)教材開発のための語彙論史」『福岡大学人文論叢』30, 1
- 入谷敏男(1998)「もののカテゴリー化に関する比較文化的研究(その3)：助数詞がきめるもののカテゴリー化に関する研究：日本語, 中国語, 韓国語を中心に」『東海大学紀要』69
- 李殷娥(1998)「日本語と韓国語のオノマトペに関して：反復形式を中心に」『国際開発研究フォーラム』10
- 姜奉植(1998)「現代韓国語の属格助詞-uy(-?)と主格助詞-i(-?)/-ka(-?)が交替できる統語的環境について：日本語の属格助詞「-の」との類似性を通して」『山形大学日本語教育論集』1
- 張允僖(1999)「日本語・韓国語の身体語による表現：その慣用句を中心とする対照研究」『龍谷大学大学院研究紀要人文科学』21
- 石井博(1999)「日本語キと朝鮮語 namk(木)」『人文社会科学研究』39
- 崔貞伊(2000)「日本語と韓国語における基本色彩語の色カテゴリー及び色名の色彩学的研究」女子美術大学大学院博士論文
- 張元哉(2000)「日韓異形・異義漢語から同形・同義漢語への変化-近代以降の日本製漢語を中心に-」『日本語研究』20
- 辻星児(2000)「「二中歴」「世俗字類抄」所引の朝鮮語数詞について」『岡山大学言語学論叢』8
- 白岩美穂(2000)「韓国語に受容された日本語語彙」『日本語・日本文化研究』7

- 韓先熙(2000)「日本語と韓国語の漢語動詞について--日本語教育の立場から」『ことば』21
- 河京植(2000)「日韓両言語における形容詞性接尾辞の対照：「らしい」との対応関係について」『同志社国文学』52
- 張元哉(2000)「19世紀末の韓国語における日本製漢語--日韓同形漢語の視点から」『日本語科学』8
- 鄭惠先・鄭惠先(2000)「日本語と韓国語の人称詞に関する対照研究」『人間文化科学研究集録』10
- 崔貞伊(2001)「日本語と韓国語の基本色彩語及び色カテゴリーに関する色彩学的研究--NCS(Natural Color SyStem)による調査実験」『女子美術大学研究紀要』31
- 權寧成(2001)「川端康成『雪国』における「赤」の色彩表現--韓国語翻訳版との対照」『広島大学日本語教育研究』11
- 李殷娥(2001)「日本語と韓国語のオノマトベに関する対照研究」名古屋大学大学院博士論文
- 林炫情(2001)「日本語と韓国語における呼称の対照研究序論」『国際協力研究誌』7
- 李仁淳・大橋敦夫(2001)「韓国語における「的」について：日本語「的」との対照を通して」『学海』17
- 谷守正寛・林田(2001)「日本語のテモラウの韓国語辞典における取り扱いについて」『鳥取大学教育地域科学部紀要. 教育・人文科学』2,2
- 河京植(2001)「日韓両言語の基本形容詞について：両言語の国語辞典を資料として」『同志社国文学』54
- 宋有宰(2001)「日韓両言語の呼称表現について：親族呼称の拡大使用を中心に」『社会環境研究』6
- 松尾勇(2001)『接辞-적(的)について』『朝鮮学報』181
- 金容澤(2001)「韓国語と日本語における前・後を表す空間表現の文法化」『日本認知言語学会論文集』1
- 申天洪(2002)「現代韓国語の語彙の形成過程における日本製漢語の影響--開化期の朝鮮国語教科書に見られる学校用語を中心に(特集 東アジアの文教事情)」『アジア文化研究』9
- 李晶(2002)「日本語と中国語の韓国語に与える影響--二字「漢語」を中心に」『留学生教育』7
- 孫京鎬(2002)「韓国語における感覚形容詞の分類：日本語との対照を中心に」『社会環境研究』7
- 鄭惠先(2002)「日本語と韓国語の人称詞の使用頻度：対訳資料から見た頻度差とその要因」『日本語教育』114
- 鄭惠先(2002)「日本語と韓国語における人称詞の使用実態--アンケート調査の分析結果から見る頻度差と用法の相違」『計量国語学』23,7
- 林炫情(2002)「日本語と韓国語における呼称選択の適切性」『日本語科学』11
- 菅田正昭(2002)「シマ・スマ・ショムとその周辺の言葉たち--日本語・アイヌ語・韓国語のシマを意味する語」『しま』47,3
- 朴寶根(2002)「日本語と韓国語とアイヌ語--基礎語彙の対照を中心にして」『立正大学国語国文』41

- 林八竜(2002)『日・韓国語の慣用的表現の対照研究-身体語彙慣用句を中心として』明治書院
- 朴大王(2002)「日本語における外来語の受容度に関して-韓国語の hada 用言との関連を中心
に-」『研究紀要』40
- 泉文明(2002)「明治期の日韓両言語における漢語：二つの辞典の比較から」『龍谷大学国際セ
ンター研究年報』11
- 李漢燮(2003)「近代における日韓両語の接触と受容について」『國語學』54
- 徐民靜(2003)「動詞「引く」のプロトタイプの意味分析：韓国語との対照研究の観点から」
『日本語文化研究』5
- 權寧成(2003)「日・韓国語の色彩語「クロ:■■」の語彙分化」『広島大学大学院教育学研究科
紀要. 第二部, 文化教育開発関連領域』51
- 權寧成(2003)「日・韓国語の色彩語に関する対照言語学的研究」広島大学大学院博士論文
- 朴賢正(2003)「日本語と韓国語との数量表現の一考察--量を表す数量副詞を中心に」『人間文化
論叢』6
- 松本隆(2003)「英語系借用語の日韓音韻比較 語末の音節量調整を中心として」『アメリカ・カ
ナダ大学連合日本研究センター-紀要』26
- 宋有宰(2003)「日本語と韓国語の呼称表現の対照研究」金沢大学大学院博士論文
- 朴大王(2003)「日韓比較語彙研究-語幹の結合形式から見た「体言型」と「用言型」」『田島毓堂
編,ことばのつどい 日本語論究』7
- 林炫情(2003)「非親族への呼称使用に関する日韓対照研究」『社会言語科学』5, 2
- 黄〔テイ〕煖(2003)「資料 入門期の韓国語教材における語彙調査(上)動詞・形容詞を中心に」
『韓国言語文化研究』4
- 黄〔テイ〕煖(2003)「入門期の韓国語教材における語彙調査(中)名詞(■■から■■まで)を中心に」
『韓国言語文化研究』d5
- HwangJungnan(2004)『韓国語教育における教育語彙の選定に関する一考察--「名詞」「動詞」
「形容詞」の語彙調査を中心に』『ポリグロシア』9
- HwangJungnan(2004)『入門期の韓国語教材における語彙調査(下)名詞(■■から■■まで)を中心
に』『韓国言語文化研究』6, 49-93
- 波田野節子・高明均(2004)「林巨正『ことわざ・慣用句用例一覧』」『平成 15(2003)年度科学研究
費基盤研究(C)2 補助研究』
- 米田幸代(2004)『現代朝鮮語・他動詞分類の試み：語彙-形態論的な特徴にもとづいて』『比較
社会文化研究』16
- 田島毓堂編(2004)『比較語彙研究の試み』語彙研究会
- 朴賢正(2004)『日本語の数量名詞の「全部・すべて・みんな」と韓国語の「전부(chonbu)・
모두(modu)・다(da)」との対照考察』『人間文化論叢』7
- 郭旻恵(2005)『味覚における共感覚表現：日本語、韓国語の両言語の比較(第30回日本語
文化学会) -- (発表要旨)』『言語文化と日本語教育』30
- 李明玉(2005)『日本語と韓国語の慣用的表現の特徴と使用効果』『学習院大学大学院日本語日本

文学』1

李ルダ(2005)『日本語と韓国語の決まり文句』『信大日本語教育研究』5

笠島裕史・安木伸明・佐々木整・竹谷誠(2005)『意味構造分析を用いた副詞語の日韓米比較の一検討(ヒューマンインタフェース技術の教育への利用/一般)』『電子情報通信学会技術研究報告. ET, 教育工学』104, 643

梁有廷(2005)『日・韓身体語彙慣用表現の構成要素から見た意味分類対照』社会言語科学会事務局 編 『社会言語科学会第16回大会発表論文集』

鄭惠先(2005)『日本語と韓国語の役割語の対照--対訳作品から見る翻訳上の問題を中心に』『社会言語科学』8, 1

松本隆(2005)『韓国の英語系借用語にみる日本語の音韻的な影響--二重語の実態と最適性理論からの分析』『アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター-紀要』28

孫京鎬(2005)『韓日両言語における感覚語場の対照研究：韓国語の感覚形容詞を中心として』金沢大学大学院博士論文

金花(2005)『日本語、中国語、朝鮮語における呼称の対照研究--非親族への呼格的用法をめぐって』『日本語教育と異文化理解』4

金恩愛(2006)『日本語の「-さ」派生名詞は韓国語でいかに現れるか--翻訳テキストを用いた表現様相の研究』『日本語教育』129

李[ヒョン]浄(2006)『日本語・中国語・韓国語における慣用表現の特徴の一考察：「死」を表す間接表現及び程度を示す比喩表現を中心に』『日本語・日本文化研究』12

南潤珍(2006)『日本語と韓国語の連語構造の対照分析に基づいた韓国語教材の開発に関する研究』平成16年度～平成17年度科学研究費補助金基盤研究

申鉉竣(2006)『韓国語の「あがる/おりる」 / 韓国語の「いい/わるい」/韓国語の「濃い/薄い」』長嶋善郎 編 『語彙的意味関係の対照研究：日本語・韓国語・英語・ギリシャ語・アラビア語の対照』

安垠姫(2006)『統辞論的観点から見た韓国語の形容詞多さと日本語の形容詞多い—形容詞の述語用法と連体修飾用法に着目して—』『言語情報学研究報告』9

崔善花(2006)『日本語・中国語・韓国語の基準語彙の近似度』『北海道大学大学院文学研究科研究論集』6

林炫情(2006)『代名詞的用法の対称詞使用に関する日韓対照研究』『人間環境学研究』5, 1

賈惠京・吉田則夫(2006)『身体語を含む慣用句についての日韓対照研究--「目」の場合』『岡山大学教育学部研究集録』132

梁敏鎬(2007)『外来語をめぐる意識に関する日韓対照研究』『国語学研究』46

伊東真美(2007)『日本語と韓国語のオノマトペの音韻的・形態的比較--その動詞化形の比較を中心に』『東アジア日本語教育・日本文化研究』10

油谷幸利(2007)『同形異語をめぐって』『韓国語教育論講座』1

李明玉(2007)『日本語と韓国語の慣用表現の差異：比較言語文化学の立場から』笠間書院

梁今實(2007)『動物名と心的イメージ：日本語と韓国語の対照研究』『国際文化学』17

- 関由眞(2007)『韓国語の配置動詞の多義性と文法化に関する一考察』『帝京国際文化』20
- 宋善花(2007)『日本語,朝鮮語,中国語の親族内の人称詞に関する対照研究』『東北大学高等教育開発推進センター紀要』2
- 李澤熊(2007)『韓国語副詞급히, 빨리, 서둘러の意味分析--日本語の「急に」/「急いで」との対照の観点から』『言語文化論集』28, 2
- 李澤熊(2007)『韓国語の副詞的成分이따가「ittaga」と나중에「nazunge」の意味分析--日本語の「あとで」/「のちほど」との対照の観点から』『言語文化論集』29, 1
- 呉秀賢(2007)『親族間の呼びかけ表現に関する日・韓比較』『外国語学会誌』37
- 伊東真美(2008)『活用するオノマトペ--日本語と韓国語の対照研究』『東アジア日本語教育・日本文化研究』11
- 若生正和(2008)『日本語と韓国語の漢字表記語の対照研究--漢語動名詞を中心に』『大阪教育大学紀要 1 人文科学』56, 2
- 崔紅女(2008)『日常生活における韓国漢字語--中国朝鮮語、文化語との比較を中心として』『愛知県立大学大学院国際文化研究科論集』9
- 金泰虎(2008)『日韓社会の人間関係における「兄」について : 呼称と名称を中心とした特徴の比較』『言語と文化』12, 0
- 鄭惠先(2008)『日本語役割語に対する韓国人日本語学習者の意識』『長崎外大論叢』12
- 鄭惠先(2008)『方言意識の日韓対照--役割語翻訳の観点から』『日本語科学』23
- 尹貞姫(2008)『近現代の中国語と韓国・朝鮮語における和製漢語の需要』『語彙研究』6
- 油谷幸利(2008)『朝鮮語 Web 辞典の設計』『朝鮮学報』206
- 李澤熊(2008)『韓国語の副詞的成分일찍と빨리의意味分析--日本語の「早(速)く」との対照の観点から』『言語文化論集』29, 2
- 深見兼孝(2008)『日本語のオソロシイ/コワイと朝鮮語の tuly[Open O]pta/mus[Open O]pta について』『ニダバ』37
- 延鎮淑(2008)『韓国語身体語彙慣用句の研究(1)韓国語教育・日韓比較文化論のために』『信州大学人文社会科学研究』2
- 崔善花(2008)『日本語・中国語・韓国語の共通語彙』『北海道大学大学院文学研究科研究論集』8
- 尹貞姫(2008)『日朝両言語における形容詞語彙の分類』『ことばの科学』21
- 李大年(2009)『日本語と韓国語における擬態語の対照研究 : 日本及び韓国の少女マンガにおける感情を表す擬態語を中心に』九州大学大学院博士論文
- 若生正和(2009)『日韓漢字動名詞の対照研究 : 日本語能力試験 3・4 級語彙を中心に』油谷幸利先生還暦記念論文集『朝鮮半島のことばと社会』
- 宋善花(2009)『日本語、朝鮮語、中国語における人称詞の対照研究』東北大学大学院博士論文
- 深見兼孝(2009)『日本語のウレシイ/タノシイと朝鮮語の kippmta/cmlkopta について』『ニダバ』38
- 朴福美(2009)『カボチャと韓国語のホバツ』『高崎経済大学論集』52, 1

- 李善姫(2009)『日本語辞書・韓国語辞書における意味記述と用例の問題--移動動詞を中心に』『カルチュラル』3, 1
- 中村麻結(2009)『類義関係にある時間副詞について：「방금と금방」』油谷幸利先生還暦記念論文集『朝鮮半島のことばと社会』
- 油谷幸利(2009)『朝鮮語 Web 辞典について－用例辞典から学習辞典へ－』『朝鮮学報』211
- 竹原彩乃(2009)『朝鮮語現代ソウル方言における -jang-i・-jaeng-i の考察』『思言』5
- 延鎮淑(2009)『韓国語身体語彙慣用句の研究(2)韓国語教育・日韓比較文化論のために』『信州大学人文社会科学研究』3
- 金良宣(2009)『他動調的「VN する」の意味分布：韓国語との対照を中心に』『言語科学論集 = Papers in linguistic science』15
- 南潤珍(2010)「類義関係からみた日本語と韓国語の語彙の対応関係」『外国語と日本語との対照言語学的研究 第3研究会』
- 伊東真美(2010)『日本語と韓国語のオノマトペの音象徴の対照研究(口頭発表・午後の部, 日本語学会 2010 年度春季大会研究発表会発表要旨)』『日本語の研究』6,4
- 裴明文(2010)『日韓オノマトペの対照研究--オノマトペの述語省略表現について』『北海道大学大学院文学研究科研究論集』10
- 朴智娟(2010)『「笑い」に関する音声象徴語の 日韓の対照研究』『言語学論叢 オンライン版』
- 広瀬英史(2010)『比較語彙論的方法による語彙史研究の確立に向けて』田島毓堂 編『日本語史の新視点と現代日本語』
- 成明珍(2010)『韓国語の専門用語との比較研究--化学専門用語に用いられる漢字を中心に (特集 「専門用語」研究の今後)』『日本語学』29, 15
- 丹羽博之(2010)『日中韓国における漢語の意味と発音の変化：総角・愛人・知音の伝播と変容』『大手前大学論集』11
- 韓秀蘭(2010)『日中韓における人称詞比較』田島毓堂 編『日本語史の新視点と現代日本語』
- 申[ミン][チョル](2010)『『窓ぎわのトットちゃん』語彙から見た日本語と韓国語の語彙』田島毓堂 編『日本語史の新視点と現代日本語』
- 徐民靜(2010)『日本語と韓国語における複合動詞の語彙的対照研究』『日本言語文化研究』14
- 奥野浩子(2010)『日本語と韓国語の複合動詞と類像性』『人文社会論叢 人文科学篇』23
- 中川明夫(2010)『韓国語の連語に対する一考察(1) -外国語教育の観点より-』『尚絅学園研究紀要. A, 人文・社会科学編』4
- 小西正人(2010)『現代日本語「まだ」と現代韓国語「acik」の記述的分析』『北海道文教大学論集』11
- 油谷幸利(2010)「朝鮮語 Web 辞典の設計」『平成 19 年度～平成 21 年度科学研究費成果報告書』
- 安垠姫(2010)『韓国語形容詞{크다類}の連語的研究：日本語形容詞{大きい類}に照らして』『朝鮮語研究』4
- 徐銀希(2010)『日・韓両言語の「怒り」に関する慣用句研究：「目/눈」の表現を中心に』『日

- 本語教育方法研究会誌』17, 1
- 呉秀賢(2010)『日本語・韓国語の人称代名詞の比較』『立命館言語文化研究』22, 2
- 金直洙(2010)『日本新聞における分野別「キーワード語彙」の考察』田島毓堂 編『日本語史の新視点と現代日本語』
- 宋正植(2010)『『朝日新聞』「教育」分野に見られる語彙構造』田島毓堂 編『日本語史の新視点と現代日本語』
- 韓有錫(2010)『日本語学最前線 並列シソーラスにおける日韓語彙構造の分析』田島毓堂 編『日本語史の新視点と現代日本語』
- 森山新(2011)『日本語のスル動詞と韓国語の하다動詞から見た日韓両言語のナル性（「ナル表現」の諸相をめぐる認知言語学的研究）』『日本認知言語学会論文集』11
- 韓必南(2011)『日本語の「する」と韓国語の「hada」による属性・状態の叙述』『思言：東京外国語大学記述言語学論集』7
- 張元哉(2011)『近代対訳コーパスにおける日韓語彙の諸相－文体の異なる対訳コーパスの比較を通して－』『国立国語研究所プロジェクト近代語コーパス設計のための文献言語研究共同研究会発表会』
- 朴大王(2011)『複合名詞に関する一考察』『広島修大論集』52, 2
- 大舘大學(2012)『ユーラシアの諸言語におけるクロテンおよび関連種の呼称リスト』『北海道立北方民族博物館研究紀要』21
- 橋本喜代太・岡田真・竹内和広・廣川佐千男(2012)『日韓オノマトペの抽出とその感性評価利用』『電気学会研究会資料. IS』情報システム研究会, 1
- 李大年(2012)『日本語と韓国語における擬態語の対照研究：日本及び韓国の少女マンガにおける感情を表す擬態語を中心に』九州大学大学院博士論文
- 中川正之・楊虹・朴英珠(2012)『日中韓漢字語研究序説：「恋愛」・「生活」・「運命」をめぐる』『日中言語研究と日本語教育』5
- HokariTomohiro・KumagamiMai・AkimotoTakayuki(2012)『英語,中国語,韓国語母語話者による日本語の動詞-動詞複合語の産出：コーパス調査から』『Kyushu University Papers in Linguistics』33
- 金恩愛(2012)『日本語の「副詞類+する」は韓国語でいかに現れるか』『福岡県立大学人間社会学部紀要』21, 1
- チャンスキョン(2012)『「かわいい」に対応する韓国語の語彙』『宮城学院女子大学研究論文集』114
- 森山新(2012)『日韓両国の商売に対する考え方が動詞「買う / 売る」の意味構造に与える影響（第6回国際日本学コンソーシアム：International Workshop "Consumption and Consumerism in Japanese Culture"）』『比較日本学教育研究センター研究年報』8
- 夏海燕(2012)『日本語から考える外国語,韓国語「着点動作主動詞」の意味拡張』笹原健/野瀬昌彦 編『日本語とX語の対照：外国語の眼鏡をとおして見る日本語：対照言語学若手の会シンポジウム2011 発表論文集』2

- 安在京(2013)『固定を表す他動詞の空間的特徴に関する考察：日本語「はめる」と韓国語「KKIUDA」の比較を中心に」『日本認知言語学会論文集 Papers from the National Conference of the Japanese Cognitive Linguistics Association』13
- 高雅妃(2013)『心的距離による日本語・韓国語の代名詞対照(ブース発表,日本語学会 2013 年度春季大会研究発表会発表要旨)』『日本語の研究』9, 4
- 崔海倫(2013)『二字漢語動詞における日韓対照研究』『北海道大学大学院文学研究科研究論集』13
- 尹亭仁・車香春・車香春・ChaHyang-chun(2013)『韓国語と日本語の2字漢語動詞に関する一考察：韓日辞典に見られる異同を手がかりに』『神奈川大学言語研究』36
- 木下謙朗(2013)『産出方法の違いによる形容表現の使用状況：韓国語母語話者と日本語母語話者の比較』『朝日大学留学生別科紀要』10, 10
- 宋善花・山田綾乃(2013)『他称詞に関する日本語、朝鮮語、中国語の対照研究』『愛知工業大学研究報告』48
- 宣皎貞(2013)『Verb-Framed Language から見た日本語・韓国語の複合動詞の違い』『日本認知言語学会論文集 Papers from the National Conference of the Japanese Cognitive Linguistics Association』13
- 新井保裕(2013)『携帯メール言語特有表記に現れる表現的機能の日韓対照研究：大学生の謝罪場面を対象に』『朝鮮語研究』5
- 金祉諱(2013)『韓国語の使役移動動詞とその日本語訳に見られる語彙化のパターンと多義性』『言語科学論集』17
- 森貞美(2013)『韓国語における味覚を表す語彙と表現について (言語文化研究所 研究プロジェクト(A) 国際比較言語文化論 味覚を表す語彙と表現)』『聖徳大学言語文化研究所論叢』21
- 安智恵(2013)『韓国語の副詞 jeibeb の「程度性」と「陳述性」に関する考察(論文)』『言語・地域文化研究 (Language, area and culture studies)』19
- 森貞美・森勇俊(2014)『韓国語における身体語彙の慣用表現について：頭と顔を中心に(言語文化研究所 研究プロジェクト(A) 国際比較言語文化論 身体名詞とその用法)』『聖徳大学言語文化研究所論叢』22
- 鄭貞美(2014)『韓国語に見られる美化語の要素：「말씀 malssum」と「藥酒 yagjju」を中心に』『韓国文化研究』4
- 中村麻結(2014)『現代韓国語の時間副詞〈막〉について』『ことばの研究』3
- 門脇誠一(2014)『現代韓国語基礎語彙の意味分析について：主に辞書の記述をめぐって』『藤女子大学文学部紀要』51
- 尹亭仁(2014)『日韓両言語における漢語動詞の「負の転移」をめぐって：2字漢語動詞を中心に』『神奈川大学言語研究』37
- 韓成求(2014)『朝鮮語学習辞典の見出し語の類型について：学習者の利便性の向上を目指して』『朝鮮大学校学報 = 조선대학교학보 = Journal of Korea University』24
- 김창구・김국희(2014)『초급 한국어 교재에 제시된 어휘의 목록과 계량적 분석』『言語文化

研究』33-2, 165-188

伊藤達也(2014)『日本語と韓国語の遊離数量詞 (<人文系研究論文>)』『相模女子大学紀要』78

李賢正(2014)『日本語と韓国語における新語の対照研究：混種語における外来要素を中心に』
広島大学大学院博士論文

李大年(2014)『日中韓三言語における笑う様子を表す擬態語の比較対照研究：表情と笑い方を
中心に』『熊本学園大学文学・言語学論集 = KGU Journal of Language and Literature』21, 1

文慶喆(2014)『日本語と韓国語における擬態語・擬音語について (創造文化フォーラム)』『総
合政策論集 = Policy management studies: 東北文化学園大学総合政策学部紀要』13, 1

金泰虎(2015)『白と黒の色彩からみる日韓文化と社会：言語と観念の色を中心に』『言語と文
化』19

深見兼孝(2015)『「とても」が韓国語で程度副詞に翻訳されないとき』『広島大学国際センター
紀要』5

松島弘枝(2015)『日本語2字漢字単語における韓国語漢字との形態・音韻類似性調査』『広島大
学日本語教育研究』25

辻星児(2015)『中期朝鮮語における基礎語彙：身体語およびその関連語』『岡山大学大学院社
会文化科学研究科紀要』39

辻星児(2015)『中期朝鮮語における基礎語彙』『岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要』39,
pp.57-69

深見兼孝(2015)『日本語と朝鮮語における姿勢動詞の対照研究(1)』『Nidaba』44

張元哉(2016)『現代日本語と韓国語の語彙におけるカバー率について』『일본어학연구』48,
pp.65-83

Tsuji, S(2016)『中期朝鮮語における基礎語彙: 衣服を表す語およびその関連語』『文化共生学
研究』15, 95-105.

施建軍(2016)『中日韓三カ国の言語における漢字源語比較研究について』『한국일본어학회
학술발표회』31-32.

朴智娟(2019)『オノマトペの言語的統合性に関する日韓対照研究』名古屋大学大学院博士論文

伊藤英人(2019)『「高句麗地名」中の倭語と韓語』『専修人文論集』105, 365-421.

尹亭仁・ユン チョンイン(2019)『韓国語の漢語動詞の語彙調査 (2)-『李箱文学賞作品集 2006-
2015』の分析を中心に』『神奈川大学言語研究』41, 1-30.

高ミンソン(2019)『韓国語を母語とする日本語学習者の同形語と和語動詞の連語形式の習得に
関する一考察』

◆ 形態論

KONO, Rokuro(1950)On the Intensive Stem of Middle Korean 『言語研究』16

青山秀夫(1968)「現代朝鮮語形容詞の形成について」『朝鮮学報』49

田村宏(1984)「活用における語幹水平化の一様相—現代朝鮮語の r 語幹用言の場合—」『九大言
語学研究室報告』5

- 李光秀(1985)「日本語「スル」動詞と韓国語「hada」動詞の対照的研究」『日本語と日本文学』5
- 志部昭平(1986)「朝鮮語の動詞(日本語動詞のすべて<特集>) -- (諸言語の動詞と日本語の動詞)」『国文学解釈と鑑賞』51, 1
- 菅野裕臣(1988)「朝鮮語の構造について：その膠着的特徴と関連して(特集：膠着語とは何か)」『学習院大学言語共同研究所紀要』11
- 油谷幸利(1988)「形容詞のない言語」『言語』17,8
- 門脇誠一(1989)「日・朝語対照研究―「漢語+する」と「漢語+hada」について―」『北海道東海大学紀要 人文社会科学系』2
- 平川八尋・李徳泳(1990)「日・韓両言語の動詞についての一考察：「テイル」と/ko is'ta//eis'ta/における動詞分類を中心にして」『長岡技術科学大学言語・人文科学論集』4
- 菅野裕臣(1990)「朝鮮語と日本語」『講座日本語学』12
- 大林直樹(1991)「韓国語の繫辞についての小考」『ことばのアクセント』4
- 柴公也(1992)「『漢字語+시키다』について――再帰性・他動性・使役性・受動性との関わりをめぐって――」『朝鮮学報』144
- 塚本秀樹(1995)「膠着言語と複合構造-特に日本語と朝鮮語の場合-」仁田義雄編『複文の研究』
- 菅野裕臣(1996)「朝鮮語(品詞とはなにか<特集>) -- (諸言語の品詞--日本語との対照へとすすむ第一歩として)」『国文学解釈と鑑賞』, 61, 1
- 李暉洙(1997)「現代朝鮮語の複合動詞について--動詞の語尾(아)+「내다」をを中心に」『朝鮮学報』162
- 塚本秀樹(1997)「語形成と複合動詞--日本語と朝鮮語の対照研究--」『筑波大学「東西言語文化の類型論」特別プロジェクト研究報告書 平成9年度I』
- 塚本秀樹(1997)「語彙的な語形成と統語的な語形成-日本語と朝鮮語の対照研究-」『日本語と外国語との対照研究IV』
- 内山政春(1997)「現代朝鮮語における合成用言について-<用語第III語基+用言>;の分析-」『朝鮮学報』165
- 門脇誠一(1997)「朝鮮語の接頭辞내리について」『日本語と外国語との対照研究IV 日本語と朝鮮語(下巻)』国立国語研究所, くろしお出版
- 菅野裕臣(1997)「朝鮮語の語基について」『日本語と外国語との対照研究IV 日本語と朝鮮語(下巻)』国立国語研究所, くろしお出版
- 李暉洙(1997)「日・韓両語の複合動詞に関する対照研究」広島大学大学院博士学位論文
- 申[ミン][チョル](1997)「日本語と韓国語の語素コードについて」田島毓堂 編『語彙研究の可能性』
- 門脇誠一(1998)「現代朝鮮語における接頭辞내리について」『北海道大学文学部紀要』47
- 劉恩聖(1999)「日本語の「連用形名詞(を)+する」表現に関する一考察--韓国語との対照の観点から」『表現研究』69
- 門脇誠一(2000)「現代朝鮮語における接頭辞ㅅについて」『北海道大学文学部紀要』48

- 幸利先生還暦記念論文集『朝鮮半島のことばと社会』
- 辻野裕紀(2010)『現代韓国語における混成語形成の形態論』『日本語学研究』29
- 影山太郎(2010)『複合語のタイポロジーと日本語の特質：「日本語は特殊でない」というけれど』『国語研プロジェクトレビュー』1
- 影山太郎(2010)『複合語のタイポロジーと日本語の特質：「日本語は特殊でない」というけれど』『国語研プロジェクトレビュー』1
- 星野淳也(2010)『漢語名詞における用言(動詞・形容詞)への語形変化に関する研究--日本語・韓国語の活用タイプにおける対照』『東アジア日本語教育・日本文化研究』13
- 中西恭子(2011)『韓国語の文法教授法に対する一考察--伝統式と語基式』『人文論叢』59
- 塚本秀樹(2011)『韓国語との対照』益岡隆志(編)『はじめて学ぶ日本語学-ことばの奥深さを知る15章-』
- 和田学(2011)『二つの語彙的緊密性--韓国語(と日本語)の複合動詞』『山口大学文学会誌』61
- 小島大輝(2011)『한일 대역자료에서 본 일본어의 '-込む' 복합동사에 대응하는 한국어 표현의 출현 양상』『韓国言語文化研究』19
- 朴善嫻(2011)『日韓二字漢語の動詞化および形容詞化：語彙資料としての提案』『日本語教育方法研究会誌』18, 2
- 塚本秀樹(2012)『形態論と統語論の相互作用-日本語と朝鮮語の対照言語学的研究-』ひつじ書房
- 全敏杞(2012)『韓国語の語彙的複合動詞における補助動詞的 V2 について-「V-nata」「V-nayta」「V-tulta」の再考と意味解釈を中心に-』国立国語研究所影山班
- 朴善嫻・玉岡賀津雄・李在鎬(2013)『韓国語の2字漢字語の語彙性アスペクトによる動詞化および形容詞化の予測』『Studies in language sciences』12, pp.136-152
- 平香織(2013)『朝鮮語における話しことば形に関する予備調査(1)』『韓国語学年報』9
- 河野六郎(2013)『動詞形態論・動詞接辞要説(上)』『韓国語学年報』9
- 全敏杞(2013)『韓国語の語彙的複合動詞におけるアスペクト複合動詞について』『複合動詞研究の最先端-謎の解明に向けて』ひつじ書房
- 塚本秀樹(2013)『日本語と朝鮮語における複合動詞としての成立・不成立とその様相』『影山太郎 編 複合動詞研究の最先端 = New Explorations into the Mysteries of Compound Verbs : 謎の解明に向けて』
- 朴善嫻(2013)『日本語と韓国語の同形二字漢字語の形態統語的類似性と相違性に関するコーパス研究』『ことばの科学』26
- 井上優(2014)『書評論文 塚本秀樹著『形態論と統語論の相互作用：日本語と朝鮮語の対照言語学的研究』』『日本語文法』14, 1

- 朴善嫻(2014)『二字漢字語のデータベースによる動詞化と形容詞化の日韓対照研究』名古屋大学大学院博士論文
- 丁仁京(2014)『韓国語の連体修飾節名詞句の語彙化－日本語との比較－』『言語と文明 = Language & Civilization』12
- Chene Brent de(2014) Probability Matching versus Probability Maximization in Morphophonology: The Case of Korean Noun Inflection. Theoretical and applied linguistics at Kobe Shoin: トークス, 17
- 平香織(2014)『朝鮮語における話しことば形に関する予備調査(2)』『韓国語学年報』10
- 河野六郎(2014)「動詞形態論・動詞接辞要説(下)」『韓国語学年報』10
- 永谷直子(2015)『副詞「よく」と「잘/cal/」が表す意味について』日本語/日本語教育研究会 編『日本語/日本語教育研究 = Studies in Japanese language and Japanese language teaching』
- 辻野裕紀(2020)「名詞と動詞のあわい: 日韓対照言語学の視角から」『言語研究論究』45, 45-49
- 崔明玉(2020)『15世紀朝鮮語活用語幹の構造形態論と生成形態論—安秉禧(1959/1957)を中心に』『韓国語学年報』16, pp.71-100.
- 李忠奎(2021)『動詞結合の日韓対照研究における諸問題-主要用語を中心に』『일어일문학』90, pp.181-197
- 文彰鶴・野田高広(2021)『名詞+動詞型複合動詞に関する日韓対照研究』『한국일본문화학회』91, 225-243

◆ 音韻論

- 姜奉植(2012)『르어간 활용시의 음운탈락 현상의 규칙화』『韓国語教育研究』2
- 辻野裕紀(2016)『現代朝鮮語の漢字語<流音後濃音化> 浅析』『韓国朝鮮文化研究』15, pp.95-115
- 邊姫京(2016)『韓国語ソウル方言における語頭閉鎖音 VOT の年齢差と性差』『音声研究』20(2), 23-37.
- 菅野裕臣(2017)『古代朝鮮語の音韻についての一考察』『韓国語学年報』13) 169-189.
- 辻野裕紀(2017)『現代朝鮮語の形態音韻論的現象に見られる共時的変異について』『音声研究』21(2), 116-126.
- Kim, Y(2017)『韓国人日本語学習者による句末イントネーションの生成』『日本語/日本語教育研究』8
- 空佐知子(2017)『日本と韓国における「人名」の音相』『일어일문학』76, 71-90
- 宇都木昭(2017)『朝鮮語ソウル方言における進行中のトーン変化—トーン発生と語彙拡散の観点から—』『音声研究』21(2), 106-115.
- 吳永三(2018)『<各種報告> 現代韓国語における連子音と連母音の回避現象』『近畿大学教養・外国語教育センター紀要. 外国語編』9(2), 181-193.
- 新保朝子(2018)『音韻論の原理を基盤とした朝鮮語発音規則の教育方法』『関西大学外国語教育

フォーラム』17, 29-50.

酒井真弓(2019)『音声 音韻研究の現状と展望』『日本語学研究』59, 7-21.

中山めぐみ(2020)『17 世紀の日本語の母音オとオ段について—朝鮮の中国語学習書における
ㄴ (o) の音注を中心に—』『言語と文明』18(1), 18-34.

◆ 音声学

韓喜善(2021)『韓国語母語話者を対象とした日本語のプロソディー研究再考(1)』『言語文化共同研究プロジェクト』2020, pp.29-33

許仁寧(2021)『転写資料を活用した韓国語音韻史の研究-近世日韓の語学書を中心に』
『비교일본학』53, pp.21-40

◆ 談話

青山秀夫(1969)「現代朝鮮語の敬語と敬語意識(一)—京畿道驪州邑における実態調査報告—」
『朝鮮学報』51

青山秀夫(1969)「現代朝鮮語の敬語と敬語意識(二)—京畿道驪州邑における実態調査報告—」
『朝鮮学報』51

浜田敦(1969)「尊敬と謙讓」『国語国文』38, 11

浜田敦(1969)「敬語」『国語国文』38, 7

青山秀夫(1969)「現代朝鮮語の敬語法について」『天理大学学報』61

青山秀夫(1970)「現代朝鮮語の敬語と敬語意識(三)—京畿道驪州邑における実態調査報告—」
『朝鮮学報』57

油谷幸利(1974)「現代朝鮮語の敬語に関する一考察」『朝鮮学報』73

梅田博之(1977)「朝鮮語における敬語」『敬語』

梅田博之(1979)「朝鮮語の敬語」『言語』8, 6

渡辺吉鎔(1986)「敬語の世界<言葉と人間関係>」『言語』15, 11

梅田博之(1986)「朝鮮語の敬語」『基礎ハンゲル』2, 4

梅田博之(1987)「韓国の敬語」『言語』16, 8

森下喜一/池景来(1989)『日本語と韓国語の敬語』

荻野綱男・金東俊・梅田博之・羅聖淑・盧顕松・福田麻子(1989)「日本語と韓国語の第三者に
対する敬語用法の比較対照」『言語研究』95

荻野綱男・金東俊・梅田博之・羅聖淑・盧顕松・福田麻子(1989)「日本語と韓国語の敬語用法
の対照研究の諸問題」『言語研究』95

田窪行則(1990)「対話における知識管理について」『アジアの諸言語と一般言語学』

荻野綱男(1990)「日本語と韓国語の聞き手に対する敬語用法の比較対照」『朝鮮学報』136

荻野綱男・金東俊・梅田博之・羅聖淑・盧顕松(1991)「日本語と韓国語の敬語用法にみられる
男女差」『言語研究』99

荻野綱男(1991)「日本語と韓国語の第三者に対する敬語用法の比較対照」『朝鮮学報』141

- 田窪行則(1991)「日本語・朝鮮語と英語の統語論的・語用論的対照研究」『文部省科学研究費補助金研究成果報告書』
- 金英美(1992)「日-韓両国語におけるあいさつの比較：後傾性（過去言及）を中心に」『東北大学文学部日本語学科論集』2
- 朴正恩(1992)「韓国語と日本語における聞き手待遇法の対照研究：動詞の終結語尾を中心に」『大阪大学言語文化学』1
- 白同善(1993)「絶対敬語と相対敬語：日韓敬語法の比較」『世界の日本語教育 日本語教育論集』, 3
- 金秀芝(1993)「日・韓両言語における「あいづち」の対照研究：電話の会話を中心に」『大阪大学日本学報』12
- 柳父章・蔵田雅彦(1993)「日韓・言語表現と人間関係の対応の比較(第13回桃山学院大学・啓明大学国際学術セミナー)」『総合研究所紀要』, 18, 3
- CHUN SookMi(1995) A Contractive Study of Japanese-Korean Honorific Usage--Focusing on the Level of Politeness Regarding the Subject of Conversation. 日本語教育, 85
- 李殷娥(1995)「透明な言語・不透明な言語—韓日の婉曲表現と挨拶表現をめぐって」『朝鮮学報』, 157
- 姜錫祐(1996)「韓国の企業敬語における日本語の影響をめぐって」『世界の日本語教育. 日本語教育論集』, 6
- 兼本円(1996)「日韓コミュニケーション：相対敬語と絶対敬語の異文化コミュニケーション」『言語文化研究紀要：Scripsimus』, 5
- 白同善(1996)「日本語と韓国語の待遇表現に関する対照言語学的研究」名古屋大学大学院博士論文
- 申惠環(1996)「韓国語と日本語の待遇表現の社会言学的比較研究：呼称とスピーチレベルの使用法を中心に」上智大学大学院博士論文
- 生越直樹(1996)「朝鮮語との対照（日本語学の世界）--（日本語学と対照言語学）」『日本語学』, 15
- 金敬善(1998)「電話会話における終結部展開の韓日対照：-主要部と終結部のかかわりを中心に-」『紀要』 28
- 姜錫祐(1998)「人の呼び方 待遇行動としての韓国語における人称表現」『日本語学』17, 9
- 嚴廷美(1999)「丁寧さにおけるフェミニズム言語研究の再考--日本語と韓国語における敬語行動の男女差の比較を通じて」『ことば』20
- KIM JiSun. (2000) Categorization of Turns and Turn-Taking--A Contrastive Conversation Analysis of Korean and Japanese. 日本語教育, 105
- 朴承圓(2000)「「不満表明表現」使用に関する研究：日本語母語話者・韓国人日本語学習者・韓国語母語話者の比較」『言語科学論集』4
- 金慶珠(2001)「談話構成における母語話者と学習者の視点：日韓両言語における主語と動詞の使い方を中心に」『日本語教育』109

- 李善雅(2001)「議論の場におけるあいづち：日本語母語話者と韓国人学習者の相違」『世界の日本語教育 日本語教育論集』11
- 柳慧政(2001)「日本語話者と韓国人日本語学習者の依頼行動の比較研究：ポライトネスストラテジーの観点から」『学芸日本語教育』3
- 嚴廷美(2001)「日本語と韓国語の言いわけ表現の対照研究：依頼談話の場合」『言語文化研究』20, 2
- 林美善(2001)「電話会話の終結部に現れる日韓の相違に関する一考察：日韓の20代の親しい友人同士の電話会話から」『言語文化と日本語教育』22
- 泰秀美(2002)「日・韓における感謝の言語表現ストラテジーの一考察」『日本語教育』114
- 元智恩(2002)「日本語と韓国語の断り表現の構造：指導教官の依頼を断る場面を中心に」『言語学論叢』21
- 金珍娥(2002)「日本語と韓国語における談話ストラテジーとしてのスピーチレベルシフト」『朝鮮学報』183
- 林美善(2002)「電話会話における終結部研究の動向：日米・日韓を比較した研究を中心に(第4章 会話研究と日本語教育)」『言語文化と日本語教育. 増刊特集号, 第二言語習得・教育の研究最前線：あすの日本語教育への道しるべ』
- 嚴廷美(2002)「ポライトネスにおける言語と性差研究の再考：韓国語と日本語の対照研究から」『松山大学総合研究所所報』37
- 金庚芬(2002)「「ほめに対する返答」の日韓対照研究」『言語・地域文化研究』8
- 元智恩(2003)「断わる場面における「ノダ」文と「ㄱ ㄴ」(geos gata)文について：それらのつかない文との印象比較(<特集>コミュニケーションの社会言語科学)」『社会言語科学』6, 1, 153-162
- 植田和美(2003)「日本人学生と韓国人留学生における依頼の談話ストラテジー使い分けの分析--語用論的ポライトネスの側面から」『小出記念日本語教育研究会論文集』11
- 嚴廷美(2003)「英語・日本語・韓国語の he/man ことばについての一考察」『言語文化研究』22
- 金珍娥(2003)「"turn-taking システム"から"turn-exchanging システム"へ--韓国語と日本語における談話構造:初対面二者間の会話を中心に」『朝鮮学報』187
- 曹美庚(2003)「日本語と韓国語における敬語表現の比較」『人間環境学研究』2
- 任銜樹(2004)『日韓断り談話におけるポジティブ・ポライトネス・ストラテジー』『社会言語科学』6, 2
- 金珍娥(2004)「韓国語と日本語の turn の展開から見たあいづち発話」『朝鮮学報』191
- 金珍娥(2004)「朝鮮語と日本語の文,発話単位,turn--談話分析のための文字化システムによせて」『朝鮮語研究』2
- 上原聡(2004)『日本語と韓国語の対照.日韓語対照研究による敬語の文法化に関する一考察』『対照言語学の新展開』
- YimHyunSoo(2004)『日韓断り談話に見られる理由表現マーカー--ウチ・ソト・ヨソという観点から』『日本語科学』15

- 鄭賢貞(2004)『日本語と韓国語の談話におけるスピーチレベルシフト』『日本語教育と異文化理解』3
- 嚴廷美(2004)『日本語と朝鮮語における依頼の仕方の対照研究：発話機能の観点から』『言語と文化 = 語言与文化』7
- 安美蘭(2005)『日本語、中国語、朝鮮語における感謝表現の対照研究』『日本語教育と異文化理解』4
- 奥山洋子(2005)『話題導入における日韓のポライトネス・ストラテジー比較：日本と韓国の大学生初対面会話資料を中心に』『社会言語科学』8, 1
- 鄭賢熙(2005)「日韓両言語における「不満表明」に関する一考察：異文化による「もめごと」での行動および言語表現を中心として」『国際センター紀要』1
- 林明子・金潤淑(2005)『会話展開を示唆する「沈黙」と「理由」：日本語,ドイツ語,韓国語のロール・プレイに基づく事例研究』『東京学芸大学紀要. 第2部門, 人文科学』56
- 熊谷智子・石井恵理子(2005)『会話における話題の選択：若年層を中心とする日本人と韓国人への調査から』『社会言語科学』8, 1
- 金順任(2005)『日本語と韓国語の第三者敬語の対照研究』東京外国語大学大学院博士論文
- 任榮哲・生越直樹(2005)『日本語と韓国語・朝鮮語をめぐる』『社会言語科学』8, 1
- 鄭惠先(2005)『日本語と韓国語の複数形接尾辞の使用範囲--文学作品と意識調査の分析結果から』『日本語科学』17
- 松田勇一・金美姫・李周殷・朴銀南(2006)『韓国語の依頼場面における請誘形「～자」の使用に関する一考察：依頼行為に対する負担度との関係について』『宇都宮共和大学論叢』7
- 松本隆(2006)『日本語と韓国語の類似したオノマトペ--音と意味の有縁性と恣意性をめぐって』『アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター-紀要』29
- 金珍娥(2006)『日本語と韓国語の談話における文末の構造』東京外国語大学大学院博士論文
- 李善姫(2006)『日韓の「不満表明」に関する一考察：日本人学生と韓国語学生の比較を通して』『社会言語科学』8, 2
- 嚴廷美(2006)『日本語と韓国語の接続助詞「～て」と「～**ㅂ**」、「～**ㅂ**」についての意味論的考察--日本人学習者のための韓国語教育の観点から』『エクス』4
- 池貞姫(2006)『朝鮮語教科書に現れた対者待遇表現について』『人文学論叢』8
- 申媛善(2006)『情報のやりとりにおける受信者側の働き--日本語話者と韓国語話者の比較』『筑波応用言語学研究』13
- 池上真人(2006)『依頼場面での丁寧度決定に関する比較研究：日本・韓国・台湾の大学生を対象に(中国地区英語教育学会第36回研究発表)』『中国地区英語教育学会研究紀要』36
- 魚秀禎(2007)『日本語母語話者と韓国語を母語とする日本語学習者の敬語に関する社会言語学的研究』お茶の水女子大学大学院博士論文
- 金庚芬(2007)『日本語と韓国語の「ほめの談話」』『社会言語科学』10, 1
- 申媛善(2007)『日本語と韓国語における文末スタイル変化の仕組み--時間軸に沿った敬体使用率の変化に着目して』『日本語科学』22

松田勇一・金英姫・李周殷・朴銀南(2007)『韓国人日本語学習者にみられるプラグマティック・トランスファー：依頼場面における韓国語の請誘形「～㉓」の影響について」『茨城大学留学生センター紀要』5
黄永熙(2007)

◆ 概説

金沢庄三郎(1910)『日韓両国語同系論』三省堂書店
河野六郎(1955)「朝鮮語」市河三喜・服部四郎編『世界の言語』下巻
金沢庄三郎(1955)「日鮮語比較雑考」『朝鮮学報』8
河野六郎(1962)「中国語の朝鮮語に及ぼした影響(特集・漢文はどうなる)」『言語生活』129
梅田博之(1972)「日本語と朝鮮語(古代と現代を貫くもの(特集・日本人と朝鮮人・第1部))」『別冊経済評論』10
梅田博之(1973)「朝鮮語と日本語」『朝鮮学報』69
青山秀夫(1976)「朝鮮語の特徴」『朝鮮学報』79
梅田博之(1977)「朝鮮語はどんな言語か」『言語』6,1
梅田博之(1981)「朝鮮語」北村甫編『講座言語』6
梅田博之(1982)「韓国語と日本語--対照研究の問題点(国別の問題点-4-韓国における日本語教育<特集>)」『日本語教育』48
梅田博之(1982)「朝鮮語文法の輪郭」『アジア・アフリカ文法研究』10
梅田博之(1986)「朝鮮語はどんな言葉か?」『基礎ハングル』2,1
梅田博之(1989)「朝鮮語」『言語学大辞典 第2巻 世界言語編(中)』三省堂
木谷宝見(1993)『比較言語学：韓国語について』
大野晋(1994)「日本語とタミル語の関係-137-新しい展開--朝鮮語の参加-1-(日本語学)」『国文学：解釈と鑑賞』
大野晋(1994)「日本語とタミル語の関係-137-新しい展開--朝鮮語の参加-2-(日本語学)」『国文学：解釈と鑑賞』
大野晋(1994)「日本語学 日本語とタミル語の関係(139) 新しい展開--朝鮮語の参加(3)」『国文学：解釈と鑑賞』
大野晋(1994)「日本語学 日本語とタミル語の関係(140) 新しい展開--朝鮮語の参加(4)」『国文学：解釈と鑑賞』
金東俊(1995)「1995 年度夏季集中セミナー-第9回特別講座対照言語学研究 日本語と韓国語」『日本語教育研究』,30
熊谷明泰(1995)「朝鮮語に対する日本語の言語干渉に関する日・中・韓比較研究」『文部省科学研究費補助金研究成果報告書』
国立国語研究所(1997)『日本語と朝鮮語 上巻 回顧と展望編(日本語と外国語との対照研究IV)』くろしお出版
国立国語研究所(1997)『日本語と朝鮮語 下巻 研究論文編(日本語と外国語との対照研究IV)』

くろしお出版

井上優(2001)「日本語研究と対照研究(特集 日本語文法研究の諸相--これからの日本語文法研究のために)」『日本語文法』1

井上優・木村英樹・生越直樹(2002)「日本語／中国語／朝鮮語研究と「対照研究」」『国立国語研究所日本語と外国語との対照研究 X 対照研究と日本語教育』

堀江薫(2003)「日本語と韓国語の認知言語学的対照研究(特集 形式文法と機能文法)」『日本語学』22, 10

佐藤滋・堀江薫・中村渉(2004)『対照言語学の新展開』ひつじ書房

油谷幸利(2005)『日韓対照言語学入門』白帝社

高田祥司(2006)『日本語東北方言と韓国語の対照研究の可能性』『日本語文法』6, 2

堀江薫・塚本秀樹・沈力(2013)『日本語文法学界の展望:対照研究』『日本語文法』13, 1

沖森卓也・曹喜澈(2014)『韓国語と日本語』朝倉書店

◆ 研究史

門脇誠一(1997)「現代朝鮮語の研究(文法以外の分野)」『日本語と朝鮮語(上巻)(日本語と外国語との対照研究 IV)』くろしお出版

辻星児(2013)「河野六郎博士遺稿「動詞形態論・動詞接辞要説」について」『韓国語学年報』9

李秉根(2017)『現代国語学の開拓者 李崇寧 Yi Sungnyeong イ・スンニョン先生』『韓国語学年報』(13), 213-225.

◆ 日韓対照研究

石原六三(1950)「古代日本語の格助詞と稱せられる「イ」と朝鮮語の格助詞「ㅇ i」に就いて」『天理大学学報』2, 1,2, 天理大学人文学会

MARTIN, S.E. (1966) Lexical evidence relating Korean to Japanese. Language, 42

竹端瞭一(1967)「日本語の da と朝鮮語の ita」『国文学研究』35

申昌淳(1972)「現代韓国語の用言補助語幹"ㄷ"の意義と用法」『朝鮮学報』65

亀井孝(1973)「日本語のツルとイトとは朝鮮語の[ツルミ]と[シル]とにそれぞれ縁つづきか」『亀井孝論文集』

W.G.アストン(1973)「朝鮮語との初期の比較論」『論集日本文化の起源』

SHIBATANI, Masayoshi(1973) Lexical versus Periphrastic Causative in Korean. Journal of Linguistics, 9

浜田敦(1974)「日本語と朝鮮語(言語と言語(特集))」『言語生活』270

油谷幸利(1974)「現代朝鮮語の敬語に関する一考察」『朝鮮学報』73

玉城繁徳(1975)「現代朝鮮語の大過去について:その文法機能と日本語への訳出上の問題点」『言語研究』68

玉城繁徳(1975)「意味理論と朝鮮語の意味記述について—朝鮮語と日本語の意味論における対照言語学的考察—」『朝鮮学報』77

- 李文子(1977)「現代朝鮮語の受身表現について:日本語との対照」『言語研究』71
- 北嶋静江(1977)「日本語朝鮮語対照言語学の展望」『朝鮮学報』85
- 田村マリ子(1978)「指示詞--朝鮮語이・그・저系列と日本語コ・ソ・ア系列との対照」『待兼山論叢』12, 0
- 前田綱紀(1978)「朝鮮語の「nin(は)」と「ka(が)」--日本語朝鮮語対照言語学の基礎として」『待兼山論叢』12, 0
- 大村益夫(1979)「日本語・朝鮮語の表現について--受身と使役」『講座日本語教育』15
- 生越直樹(1979)「他動詞の再帰性と使役の関係--日本語と朝鮮語の対照を通して」『待兼山論叢』11
- 洪思満(1979)「日本語の副助詞と韓国語の特殊助詞との対照研究(II)」『朝鮮学報』90
- 李文子(1979)「朝鮮語の受身と日本語の受身-1-「もちぬしの受身」を中心に」『朝鮮学報』91
- 鄭秀賢(1980)「日本語と韓国語の受身表現--その対照研究」『語文』37
- 林八竜(1980)「日本語・韓国語の受給表現の対照研究」『日本語教育』40
- 水野義明(1981)「日本語と朝鮮語--その対応の実相」『明治大学教養論集』150
- 佐藤啓子・永保澄雄(1981)「こそあどの比較対照研究:中国語・韓国語・インドネシア語の場合について」『障害児教育研究紀要』3
- 深見兼孝(1981)「日本語と朝鮮語の指示詞について--その類似点と差異点」『Nidaba = ニダバ』10, 32
- 門脇誠一(1982)「日本語と朝鮮語の語彙(国別の問題点-4-韓国における日本語教育<特集>)」『日本語教育』48
- 前田綱紀(1982)「「…している, …してある」の日本語朝鮮語対照(国別の問題点-4-韓国における日本語教育<特集>)」『日本語教育』48
- 生越直樹(1982)「日本語漢語動詞における能動と受動--朝鮮語 hata 動詞との対照(国別の問題点-4-韓国における日本語教育<特集>)」『日本語教育』48
- 生越直樹(1982)「日本語漢語動詞における能動と受動--朝鮮語 하다 動詞との対照」『日本語教育』48, 53-65
- MAEDA Tunanori(1982)Animate/Inanimate expressions in Korean, with reference to Japanese. 日本学報, 1
- 生越まり子(1982)「朝鮮語の希望表現文--日本語と対照して(国別の問題点-4-韓国における日本語教育<特集>)」『日本語教育』48
- 梅田博之(1982)「韓国語と日本語--対照研究の問題点(国別の問題点-4-韓国における日本語教育<特集>)」『日本語教育』48
- 梅田博之(1984)「朝鮮語と日本語」『ユリイカ』16, 12
- 梅田博之(1984)「KOREAN-JAPANESE 対照意味論ノート(1)」『アジア・アフリカ文法研究』12
- 生越直樹(1984)「日本語複合動詞後項と朝鮮語副詞・副詞的な語句との関係--日本語副詞指導の問題点(副詞指導の問題点<特集>)」『日本語教育』52

- 深見兼孝(1984)「日本語のガとハ--韓国語の ka と nin との対照において」『広島大学教育学部紀要 第二部』33
- 李光秀(1985)「日本語「スル」動詞と韓国語「hada」動詞の対照的研究」『日本語と日本文学』5
- 呉美善(1986)「韓国語における補助動詞--日本語との対照をも添えて」『ことば：研究誌』7
- 鄭秀賢(1986)「現代日本語と韓国語の受身・使役表現」宮地裕 編『論集日本語研究』
- 塚本秀樹(1986)「数量詞の遊離について--日本語と朝鮮語の対照研究」『朝鮮学報』119, 120
- 梅田博之(1986)「朝鮮語と日本語」『朝鮮語大辞典(上)』
- 生越直樹(1987)「日本語の接続助詞「て」と朝鮮語の連結語尾<a><ko> (助詞指導の問題点<特集>)」『日本語教育』62
- 田原俊司・朴媛淑・伊藤武彦(1987)「韓国語単文理解における主題助詞と主格助詞の動作主性とその発達:日本語の助詞ハとガとの比較」『教育心理学研究』35, 3
- 渡辺吉鎔(1987)「韓日語文法対照研究の諸問題」『日本語学』6, 10
- 梅田博之(1988)「対照研究の問題点—日本語と朝鮮語の場合—」『日本文化研究所研究報告』
- 石井博(1988)Japanese Etymological Studies Re-examined through the Korean Language. 人文社会科学研究, 28
- 菅野裕臣(1988)「朝鮮語の構造について：その膠着的特徴と関連して(特集：膠着語とは何か)」『学習院大学言語共同研究所紀要』11
- 森下喜一・池景来(1989)『日本語と韓国語の敬語』白帝社
- 安秉杰(1989)「日・韓両語の対照研究--日本語「する」,韓国語「hada」動詞について」『教育学研究紀要』34, 2
- 門脇誠一(1989)「日・朝語対照研究—「漢語+する」と「漢語+hada」について—」『北海道東海大学紀要 人文社会科学系』2
- 荻野綱男・金東俊・梅田博之・羅聖淑・盧顕松・福田麻子(1989)「日本語と韓国語の第三者に対する敬語用法の比較対照」『言語研究』95
- 荻野綱男・金東俊・梅田博之・羅聖淑・盧顕松・福田麻子(1989)「日本語と韓国語の敬語用法の対照研究の諸問題」『言語研究』95
- 深見兼孝(1989)「日本語の「ていく・ている」と韓国語の a/ gada・a/ oda」『広島大学教育学部紀要. 第二部』38
- 張起福(1989)「に格の名詞と動詞の組合せ—日本語と韓国語の対照研究にむけて—」『東京外国語大学日本語学科年報』11
- 任尚彬(1989)「ニ格の名詞の存在する文(日本語を韓国語と対比させて)」『研究報告会』10, 50-72
- 多和田眞一郎(1989)「沖縄語と日本語と朝鮮語の対照--形態・統語上の三、四の問題」『沖縄文化 = The Okinawa bunka』沖縄文化協会創設 40 周年記念誌
- 多和田眞一郎(1989)「日本語と朝鮮語との対照：変格活用」『静大國文』34
- SUZUKIYoji(1989) A Comparative Study of the Korean Language and the Japanese Language in

Reflexive Pronouns. 朝鮮学報, 130

志部昭平(1990)「朝鮮語と日本語--その構造の類似性と差異性について(日本語の特徴--諸言語からみた<特集>) --(タイポロジ-と対照研究)」『国文学解釈と鑑賞』55, 1

油谷幸利(1990)「日本語と朝鮮語の語彙の対照」『講座日本語と日本語教育』7

中松竹雄(1990)「対照言語学序説--日本語・韓国語の後置詞の比較対照」『琉球大学教育学部紀要 第一部・第二部』37

深見兼孝(1990)「日本語と韓国語の受身」『広島大学教育学部紀要 第二部』39

門脇誠一(1990)「再び朝鮮語・日本語と周辺の言語における名詞修飾構造について: 主に南方語との関係を巡って」『北海道東海大学紀要 人文社会科学系』3

菅野裕臣(1990)「アスペクト--朝鮮語と日本語(日本語の特徴--諸言語からみた<特集>) --(文法面からみた日本語-2-品詞・形態論)」『国文学解釈と鑑賞』55, 1

塚本秀樹(1990)「名詞による名詞修飾について--日本語と朝鮮語の対照研究」『愛媛大学法文学部論集 文学科編』23

石井博(1990)「朝鮮語 pedil(柳)と日本語 yanagi(柳)の形態素比較」『早稲田大学語学教育研究所紀要』41

車美愛(1990)「韓国語の色彩表現-日本語との比較の観点から-」『名古屋大学言語学論集』6

平川八尋・李徳泳(1990)「日・韓両言語の動詞についての一考察: 「テイル」と/ko is'ta//eis'ta/における動詞分類を中心にして」『長岡技術科学大学言語・人文科学論集』4

菅野裕臣(1990)「朝鮮語と日本語」『講座日本語学』12

荻野綱男(1990)「日本語と韓国語の聞き手に対する敬語用法の比較対照」『朝鮮学報』136

UMEDA Hiroyuki(1990)The Structure of Verb Phrases of Japanese and Korean. 日本語教育, 72

梅田博之(1990)「朝鮮語と日本語の述語構造の枠組(日本語教育のための対照研究<特集>)」『日本語教育』72

LEEDuckYoung(1990)A Contrastive Study on Aspects in Japanese and Korean. 日本語教育, 72

石井博(1991)「日本語と朝鮮語--オモチ(本家)とイモチ(分家)」『人文社会科学研究』31

多和田真一郎(1991)「日本語と沖縄語と朝鮮語の対照-する-大島一郎教授退官記念論集刊行会編」『日本語論考』

中里弘子(1991)「日本語と韓国語の諺対照比較研究」『秋田大学教育学部教育研究所報』28

多和田真一郎(1991)「日本語・朝鮮語対照研究の課題(日本語研究とその周辺<特集>) --(日本語と対照研究)」『国文学解釈と鑑賞』56, 1

曹喜澈(1991)「日韓同形漢語の語義・用法の相違」『日本近代語研究』1

荻野綱男・金東俊・梅田博之・羅聖淑・盧顕松(1991)「日本語と韓国語の敬語用法にみられる男女差」『言語研究』99

荻野綱男(1991)「日本語と韓国語の第三者に対する敬語用法の比較対照」『朝鮮学報』141

田窪行則(1991)「日本語・朝鮮語と英語の統語論的・語用論的対照研究」『文部省科学研究費補助金研究成果報告書』

SONGMan-Eek(1991)A Contrastive Study of Demonstrative in Japanese and Korean for

- Japanese Language Education--Focus on Usage of (ko-so-a) and (i-gu-cu) 日本語教育, 75
- 朴正恩(1992)「韓国語と日本語における聞き手待遇法の対照研究：動詞の終結語尾を中心に」『大阪大学言語文化学』1
- 田村宏(1992)「日本語と朝鮮語の単漢字語用言比較」『九州大学留学生教育センター紀要』4
- 油谷幸利(1992)「朝鮮語から見た日本語の文末表現－丁寧・否定・過去の語順について－」『言語』21, 3
- 李美淑(1992)「現代日本語のAspect「～しかける」の研究：韓国語との対照研究」『横浜国大言語研究』10
- 石井博(1992)「日本語アメ(雨)と朝鮮語 pi(雨)」『人文社会科学研究』32
- 石井博(1992)「対馬方言ムジケ(虹)と朝鮮語 mucikae(虹)」『早稲田大学語学教育研究所紀要』45
- 李鍾徹・藤井茂利(1993)「日韓両国の表記法の比較研究-3-韓国語語彙習得上での誤謬-2-(資料)」『福岡大学人文論叢』, 25, 2, 571-592
- 白同善(1993)「絶対敬語と相対敬語：日韓敬語法の比較」『世界の日本語教育 日本語教育論集』, 3
- 金秀芝(1993)「日・韓両言語における「あいづち」の対照研究：電話の会話を中心に」『大阪大学日本学報』12
- 石井博(1993)「日本語ユメと朝鮮語 kkum (夢)」『講座日本語教育』28
- 崔鐘勳(1993)「韓国語と日本語とにおける意味の重なりとずれについて--「キブンが悪い」を中心に」『語文』, 85
- 辛碩基(1993)「日本語と韓国語の漢語動詞：受動の形態を中心として」『日本語と日本文学』18
- 李暲洙(1993)「いわゆる完遂を表す複合動詞についての研究：韓国語との対照を中心に」『広島大学教育学部紀要 第二部』, 42
- 塚本秀樹(1993)「複合動詞と格支配-日本語と朝鮮語の対照研究-」『仁田義雄編日本語の格をめぐって』
- 柳普明(1993)「日・韓両言語におけるAspectの対照研究」『大阪大学言語文化学』, 2
- 伊藤武彦[ほか](1993)『文の理解にはたす助詞の働き：日本語と韓国語を中心に』風間書房
- 金善姫(1993)「韓国語の属格助詞「ui」の意味機能-日本語の「の」との対照研究」『対照研究-属格について』
- 林憲燦(1993)「韓国語における受動文の特徴：日本語の能動文との比較の観点から」『広島大学教育学部紀要 第二部』, 42
- 斎藤美智子(1993)「日本語・韓国語の受身表現対照--語彙形を中心として」『岡山大学留学生センター 岡山大学留学生センター紀要』, 1
- 柳父章・蔵田雅彦(1993)「日韓・言語表現と人間関係の対応の比較(第13回桃山学院大学・啓明大学国際学術セミナー)」『総合研究所紀要』, 18, 3
- 塚本秀樹・鄭相哲(1994)「韓国語における漢語動詞の受身文について」『朝鮮学報』153

- 鄭寅玉(1994)「日本語教育における日・韓国語対象研究--受身文を中心に」『日本語教育研究』, 28
- 塚本秀樹(1994)「韓国語における漢語動詞の受身文について」『朝鮮学報』, 153
- 朴在權(1994)「現代日本語・韓国語の格助詞の対照研究」中央大学博士論文
- 石井博(1994)「蝸牛相当語に見る日本語と朝鮮語の近縁関係」『人文社会科学研究』34
- 時崎久夫(1994)「韓国語と日本語における句切りについて」『文化と言語：札幌大学外国語学部紀要』, 12, 7
- 李美淑(1994)「「してしまう」の意味…韓国語との対照研究…」『研究会報告』, 15
- 全成龍(1994)「移動表現についての日本語と韓国語」『研究会報告』, 15
- 林憲燦(1994)「日本語における使役文の特徴：韓国語の非使役文と対応している場合を手掛りに」『広島大学教育学部紀要. 第二部』, 43
- 林憲燦(1994)「日韓両語における受動文の能動文への変換について - 「有情者が有情物ニ V サレル」文型の場合-」『広島大学日本語教育学科紀要』, 4
- 李殷娥(1995)「透明な言語・不透明な言語—韓日の婉曲表現と挨拶表現をめぐって」『朝鮮学報』, 157
- 石井博(1995)「日本語と朝鮮語--畳・宴・祝を中心に」『人文社会科学研究』, 35
- 林憲燦(1995)「韓国語における使役文の特徴 -日本語の非使役文と対応している場合を手掛かりに-」『広島大学日本語教育学科紀要』, 5
- 林憲燦(1995)「「無情物が無情物ニ V サレル」文型の能動文への変換について--韓国語との対照研究の観点から」『Nidaba = ニダバ』
- 林八竜(1995)『日本語と韓国語における表現構造の対照考察-日本語の名詞表現と韓国語の動詞表現を中心として』
- 生越直樹(1995)「朝鮮語했다形, 해 있다形 (하고 있다) 形と日本語のシタ形、シテイル形」『国立国語研究所報告』, 110
- 石井博(1995)「日本語と朝鮮語-続-墓」『人文社会科学研究』, 35
- 深見兼孝(1995)「日本語の「したかう」と朝鮮語の“t t a l u t a”」『吉川守先生御退官記念論文集編集委員会／編 言語学論文集：吉川守先生御退官記念』
- 李暲洙(1995)「日韓両言語における複合動詞の格の対照考察」『Nidaba = ニダバ』
- 塚本秀樹(1995)「膠着言語と複合構造-特に日本語と朝鮮語の場合-」仁田義雄編『複文の研究』
- 深見兼孝(1995)「現代朝鮮語の“-ey tayhayse”と“-ey kwanhayse”について：日本語の「に対して」、「について」、「に関して」との対照：(2) 'X-ey tayhayse Y-(l)ul V'」『広島大学留学生センター紀要』, 5
- 佐藤滋(1995)「日本語・朝鮮語テキストにおける時空間認知に関する対照的研究」『文部省科学研究費補助金研究成果報告書』
- 金恩希(1995)「条件形式「-(어)야」をめぐって—日本語との対照—」『朝鮮学報』154
- 金恩希(1995)「聞き手存在発話形式に関する日・朝対照研究 —伝聞表現と目撃表現—」『吉川守先生御退官記念論文集編集委員会／編 言語学論文集：吉川守先生御退官記念』

- 熊谷明泰(1995)「朝鮮語に対する日本語の言語干渉に関する日・中・韓比較研究」『文部省科学研究費補助金研究成果報告書』
- CHUN SookMi(1995) A Contractive Study of Japanese-Korean Honorific Usage--Focusing on the Level of Politeness Regarding the Subject of Conversation. 日本語教育, 85
- 兼本円(1996)「日韓コミュニケーション：相対敬語と絶対敬語の異文化コミュニケーション」『言語文化研究紀要：Scripsimus』, 5
- 白同善(1996)「日本語と韓国語の待遇表現に関する対照言語学的研究」名古屋大学大学院博士論文
- 高橋太郎(1996)「対照研究による、言語の移行過程へのアプローチ」『国文学：解釈と鑑賞』, 61, 7
- 鄭秀賢(1996)「「気」の語句をめぐる表現の日・韓対照研究」『日本語学』, 7月号
- 羅聖榮(1996)「日本語と韓国語のモダリティの対照研究」筑波大学大学院博士論文
- 全成龍(1996)「現代日本語動詞の肯定・否定の中止形--韓国語との対照研究を土台として(特集 対照研究と日本語文法--東アジアの言語と日本語)--(対照研究からみた日本語文法)」『国文学解釈と鑑賞』 61
- 崔吉時(1996)「韓国語の助詞<의>と日本語の助詞<ノ>の比較対照研究」大阪大学大学院博士論文
- 林憲燦(1996)「日・韓両語における使役文--使役文を構成する要素の相関関係を手掛かりにして」『朝鮮学報』 158
- 申惠環(1996)「韓国語と日本語の待遇表現の社会言学的比較研究: 呼称とスピーチレベルの使用法を中心に」上智大学大学院博士論文
- 生越直樹(1996)「朝鮮語との対照(日本語学の世界)--(日本語学と対照言語学)」『日本語学』, 15
- 韓有錫(1996)「自他動詞の対立と派生に関する研究 -日本語と韓国語の両言語対照を中心に」名古屋大学大学院博士論文
- 薛根洙(1996)「連語における日韓対照研究 行く先の結び付きを話題にして」『国文学：解釈と鑑賞』, 61
- 呉美善(1996)「「～きる」とそれに対応する韓国語の表現」『ことば』, 17
- 姜鎮文(1996)「韓日両国語の否定について 名詞述語文を中心として」『国文学：解釈と鑑賞』, 61
- 深見兼孝(1996)「現代朝鮮語の'-ey tayhayse'と'-ey kwanhayse'について：日本語の「に対して」、「について」、「に関して」との対照：(3) '-ey tayhayse'と「に対して」、「について」」『広島大学留学生センター紀要』, 6
- 黄順花(1996)「日本語のシテヤル・シテクレル--日本語と韓国語(特集 対照研究と日本語文法--東アジアの言語と日本語)--(対照研究からみた日本語文法)」『国文学解釈と鑑賞』, 61
- 李美淑(1996)「現代日本語動詞のアスペクト研究：韓国語との対照を通じて」『国文学解釈と鑑賞』, 61

- LEEKyungSoo(1996)A Contrastive Study of Compound Verbs with -dasu in Japanese and -naya in Korean--Focusing on the Relationship with the Independent Verbs. 日本語教育, 89
- 国立国語研究所(1997)「日本語と朝鮮語 上巻 回顧と展望編」『日本語と外国語との対照研究 IV』
- 国立国語研究所(1997)「日本語と朝鮮語 下巻 研究論文編」『日本語と外国語との対照研究 IV』
- 呉美善(1997)「日本語動詞の文法化に関する考察-韓国語との対照の観点から-」お茶の水女子大学博士学位論文
- 姜奉植(1997)「日本語と韓国語の身体語彙及びその関連語彙における類似性について」『秋田論叢』13
- 全成龍(1997)「現代日本語の動詞のなかどめの構文論的な研究 -韓国語との対照研究をふまえて」大東文化大学大学院博士論文
- 朴垠貞(1997)「「～を小さくなっていく」について--日本語と韓国語の場所表現の相違」『Nidaba』26
- 朴在權(1997)『現代日本語・韓国語の格助詞の比較研究』勉誠出版
- 趙愛淑(1997)「述語の取り立てについて--「だけ」と {man}, {ppwun} を中心に」『筑波応用言語学研究』, 4
- 金榮敏(1997)「日韓両言語のいわゆる対格助詞「ヲ」と「ul/lul(을/를)」について」『筑波応用言語学研究』, 4
- 千昊載(1997)「韓国語の中間構文について--日本語との対照」『東北大学言語学論集』6
- 林憲燦(1997)「日韓両語における使役文の非使役文への転換について」『広島大学日本語教育学科紀要』7
- 深見兼孝(1997)「日本語と朝鮮語の「非意図的他動文」について」『日本語と外国語との対照研究 IV 日本語と朝鮮語(下巻)』
- 塚本秀樹(1997)「語形成と複合動詞--日本語と朝鮮語の対照研究--」『筑波大学「東西言語文化の類型論」特別プロジェクト研究報告書 平成9年度 I』
- 宋承姫(1997)「韓国語の「이다(ida)」と日本語の「だ」について」『教育学研究紀要』43, 2
- 深見兼孝(1997)「日本語の「によって」と朝鮮語の'-ey uyhayse', '-lo inhayse', '-lo malmiama'(1)」『広島大学留学生センター紀要』7
- 呉[ケン]定(1997)「連体修飾表現に関する日韓対照研究：「の」に対応する韓国語の「ui」「in」」『現代日本語研究』4
- 野間秀樹(1997)「朝鮮語と日本語の連体修飾節(冠形節)構造」『朝鮮文化研究』4
- 井上優・生越直樹(1997)「過去形の使用に関わる語用論的要因--日本語と朝鮮語の場合」『日本語科学』1, 1
- 鄭寅玉(1997)「日本語と韓国語の可能表現について--日本語の可能表現からみた韓国語の可能表現の形式と意味について」『日本語教育研究』34
- 申忠均(1997)「朝鮮資料における条件表現の一特性--朝鮮語対訳との関係から」『語文研究』83,

1-11

- 許仁順(1997)「確信を表す程度副詞の数量化に関する考察：韓国語と日本語の比較分析」『日本教育工学雑誌』21, 1
- 李暉洙(1997)「日・韓両語の複合動詞に関する対照研究」広島大学大学院博士学位論文
- 申[ミン][チョル](1997)「日本語と韓国語の語素コードについて」田島毓堂 編 『語彙研究の可能性』
- 丸田孝志・林憲燦(1997)『「漢語+になる」の用法と特徴--韓国語との対応関係を中心に』『朝鮮学報』163
- 塚本秀樹(1997)「語彙的な語形成と統語的な語形成-日本語と朝鮮語の対照研究-」『日本語と外国語との対照研究IV』
- 金敬善(1998)「電話会話における終結部展開の韓日対照：-主要部と終結部のかかわりを中心に-」『紀要』28
- 李殷娥(1998)「日本語と韓国語のオノマトペに関して：反復形式を中心に」『国際開発研究フォーラム』10
- 趙愛淑(1998)「韓国語の限定詞について：日本語との対照」『筑波応用言語学研究』5
- 孫京鎬(1998)「図解を通してみた日本語と韓国語の文の構造：生花型構造言語圏の模索の試み」『金沢大学国語国文』23
- 深見兼孝(1998)「日本語の「によって」と朝鮮語の'-ey uyhayse', '-lo inhayse', '-lo malmiama' (2)」『広島大学留学生センター紀要』8
- 劉恩聖(1998)「日本語の「(～を)～にする」表現に関する考察--韓国語の「(～(l)ul)～(u)lo ha-ta」との対照を中心に」『広島大学教育学部紀要 第二部』47
- 黄順花(1998)「現代日本語の寄与態の研究 -韓国語との対照研究を加味して」大東文化大学大学院博士論文
- 姜奉植(1998)「現代韓国語の属格助詞-uy(-?)と主格助詞-i(-?)/-ka(-?)が交替できる統語的環境について：日本語の属格助詞「-の」との類似性を通して」『山形大学日本語教育論集』1
- 宋承姫(1998)「文末における韓国語の「geos」と日本語の「の」の対照研究--「geoshida」と「のだ」を中心に」『広島大学教育学部紀要 第二部』47
- 尹鎬淑(1998)「近代における翻訳小説の中の受身表現--韓国語との対照的考察」『表現研究』67
- 尹鎬淑(1998)「韓国語の翻訳文体における日本語の重訳的誤謬--近・現代の受身表現を中心に」『Nidaba』27
- 尹鎬淑(1998)「近代日・韓両語における受身表現の対照研究-新聞を中心として-」『朝鮮学報』168
- 笹川洋子(1999)「アジア社会における依頼のポライトネス(for you or for me)について：日本語・韓国語・中国語・タイ語・インドネシア語の比較」『親和国文』34
- 巖廷美(1999)「丁寧さにおけるフェミニズム言語研究の再考--日本語と韓国語における敬語行動の男女差の比較を通じて」『ことば』20
- 張允僖(1999)「日本語・韓国語の身体語による表現：その慣用句を中心とする対照研究」『龍

谷大学大学院研究紀要人文科学』21

安龍洙(1999)「韓国語学習者と中国人学習者の現場指示コソアの習得に関する一考察：相対的現場指示の対立型の場合」『言語科学論集』3

劉恩聖(1999)「日本語の「連用形名詞(を)+する」表現に関する一考察--韓国語との対照の観点から」『表現研究』69

劉恩聖(1999)「日本語の「(～を)～とする」と「(～を)～にする」表現に関する一考察--韓国語の「**ㅁㅁ**/hata/」との対照の観点より」『広島大学教育学部紀要 第二部』48

高民定(1999)「日本語と韓国語の受身--韓国人による日本語の受身の「言語管理」について」『桜美林国際学論集』4

上野義和・李潤玉(1999)「古英語と現代韓国語の受動構造」『南大阪大学紀要』1

尹鎬淑(1999)「近代日本語における受身表現の変遷：韓国語との比較考察」広島大学大学院博士學位論文

石井博(1999)「日本語キと朝鮮語 namk(木)」『人文社会科学研究』39

金玉英(1999)「日本語と韓国語の従属節および関係節のテンス・アスペクトの対照研究」筑波大学大学院博士論文

深見兼孝(1999)「現代朝鮮語における連続した2形容詞の語順について--現代日本語についての同様の研究結果と対照として」『広島大学留学生センター-紀要』10

郭珍京(1999)「日本語の「て」と韓国語の{a}{go}の従属性に関する一考察」『人間文化論叢』2

許明子(1999)「日本語と韓国語の受身文の実証的対照研究：両国のテレビドラマと新聞コラムにおける受身文の使用率の分析を通して」『世界の日本語教育. 日本語教育論集』9

尹鎬淑(1999)「近代日・韓両言語における受身表現の変遷：小説を中心に」『世界の日本語教育. 日本語教育論集』,9

許明子(1999)「日本語と韓国語の受身文の分類に関する試考」『比較社会文化研究』5

朴寶根(2000)「日本語と韓国語との対照--慶南方言と九州方言を中心に」『大学院年報』18

崔貞伊(2000)「日本語と韓国語における基本色彩語の色カテゴリー及び色名の色彩学的研究」女子美術大学大学院博士論文

白明学(2000)「日本語と韓国語の受動構文の対照」『名古屋大学言語学論集』16

鄭秀賢(2000)「現代日本語の表現についての研究：韓国語の表現と対照しながら」大阪大学大学院博士論文

朴承圓(2000)「「不満表明表現」使用に関する研究：日本語母語話者・韓国人日本語学習者・韓国語母語話者の比較」『言語科学論集』4

韓先熙(2000)「日本語と韓国語の漢語動詞について--日本語教育の立場から」『ことば』21

張元哉(2000)「19世紀末の韓国語における日本製漢語--日韓同形漢語の視点から」『日本語科学』8

鄭惠先・鄭惠先(2000)「日本語と韓国語の人称詞に関する対照研究」『人間文化学研究集録』10

林炫情(2000)「日本語と韓国語における呼称の対照研究--親族名称の視点移動を中心に」『Nidaba』29

- 河京植(2000)「日韓両言語における形容詞性接尾辞の対照：「らしい」との対応関係について」『同志社国文学』52
- 李琴嬉(2000)「名詞化接尾辞「さ」について：韓国語との対照を中心に」『言語科学論集』4
- 劉恩聖(2000)「日本語の「する」と韓国語の「[ハダ]/hata/」の語形成及び表現法に関する対照研究」広島大学大学院博士論文
- 日向茂男・郭珍京・笹目実(2000)「日本語と韓国語における基本文型の基礎的対照研究(1): 日本語の「です」形, 「ます」形とそれに対応する韓国語を中心に」『東京学芸大学紀要 第2部門 人文科学』51
- 村田直幸・中村裕昭(2000)「日本語と韓国語における多重主語構文及び関連構文の考察」『海保大研究報告 法文学系』46, 2
- 宋承姫(2000)「日本語の「もの(だ)」「こと(だ)」「の(だ)」と韓国語の「[コッ]([イダ])/geos(ida)」に関する対照研究：「文法化」の観点から」広島大学大学院博士論文
- 金昌男(2000)「授受動詞「～てもらう/いただく」とそれに対応する韓国語表現」『千葉大学社会文化科学研究』4
- 崔炳奎(2000)「現代日本語動詞の連体節の時間の研究：韓国語との対照を通して」大東文化大学大学院博士論文
- 安平鎬(2000)「「(アル/)イル」と「テイル」をめぐって：韓国語との対照という観点から」『國語學』51, 2
- 岡智之(2000)「存在型アスペクトとしての朝鮮語 $\equiv/\equiv \equiv$ (ko/eo issta) 構文--認知類型論と日朝対照の観点から」『えくす・おりえんて』3
- 鄭惠先・坂口昌子(2001)「誤用分析にもとづく「ながら」と「ミョンソ」の比較：始点の用法と述語の持続性を中心に」『世界の日本語教育 日本語教育論』11
- 中村嗣郎(2001)「日本語と韓国語の格助詞の比較--空間の「に」と e/ege をを中心に」『コミュニケーション科学』14
- 白明学(2001)「韓国語における持ち主の受身について：日本語との対照を中心に」『名古屋大学言語学論集』17
- 谷守正寛・林田(2001)「日本語と韓国語の持主の受身をめぐって」『鳥取大学教育地域科学部紀要. 教育・人文科学』3, 1
- 辛碩基(2001)「日本語受動表現の韓国語訳について--文学作品を中心として」『表現研究』74
- 井上優(2001)「日本語研究と対照研究 (特集 日本語文法研究の諸相--これからの日本語文法研究のために)」『日本語文法』1
- 金順任(2001)「日韓の大学生における待遇表現の対照研究：述語形式及び呼称との呼応関係を中心に」『言語・地域文化研究』7
- 金慶珠(2001)「談話構成における母語話者と学習者の視点：日韓両言語における主語と動詞の使い方を中心に」『日本語教育』109
- 李善雅(2001)「議論の場におけるあいづち：日本語母語話者と韓国人学習者の相違」『世界の日本語教育 日本語教育論集』11

- 柳慧政(2001)「日本語話者と韓国人日本語学習者の依頼行動の比較研究：ポライトネスストラテジーの観点から」『学芸日本語教育』3
- 嚴廷美(2001)「日本語と韓国語の言いわけ表現の対照研究：依頼談話の場合」『言語文化研究』20, 2
- 林美善(2001)「電話会話の終結部に現れる日韓の相違に関する一考察：日韓の20代の親しい友人同士の電話会話から」『言語文化と日本語教育』22
- 金容澤(2001)「韓国語と日本語における前・後を表す空間表現の文法化」『日本認知言語学会論文集』1
- 堀江薫(2001)「膠着語における文法化の特徴に関する認知言語学的考察--日本語と韓国語を対象に」『認知言語学論考』1
- 崔貞伊(2001)「日本語と韓国語の基本色彩語及び色カテゴリーに関する色彩学的研究--NCS(Natural Color SyStem)による調査実験」『女子美術大学研究紀要』31
- 權寧成(2001)「川端康成『雪国』における「赤」の色彩表現--韓国語翻訳版との対照」『広島大学日本語教育研究』11
- 朴賢正(2001)「日本語と韓国語の複数表現についての対照研究--日本語と韓国語の複数接尾辞による複数表現を中心に」『人間文化論叢』4
- 李殷娥(2001)「日本語と韓国語のオノマトペに関する対照研究」名古屋大学大学院博士論文
- 白海燕(2001)「「出る」「出 chu+場所目的語」「nagada/naoda」にみられる空間認知のずれについて」『国際文化学』4
- 河京植(2001)「日韓両言語の基本形容詞について：両言語の国語辞典を資料として」『同志社国文学』54
- 宋有宰(2001)「日韓両言語の呼称表現について：親族呼称の拡大使用を中心に」『社会環境研究』6
- 林炫情(2001)「日本語と韓国語における呼称の対照研究序論」『国際協力研究誌』7
- 李仁淳・大橋敦夫(2001)「韓国語における「的」について：日本語「的」との対照を通して」『学海』17
- 尹亭仁(2001)「移動動詞「行く」「来る」の格標示と名詞句の意味特徴：韓国語の「gada」「oda」との対照の観点から」『日本語教育』110
- 李貞旼(2001)「文章構造の日韓対照研究：新聞の社説における書き出しを対象として（三木紀人先生退官記念号）」『言語文化と日本語教育』21
- 朴宣映(2001)「近代韓国語の文章における日本語の影響：「後置詞」の「EY 依 haye」と「によって」を中心に」『國語學』52, 1
- 谷守正寛・林田(2001)「日本語のテモラウの韓国語辞典における取り扱いについて」『鳥取大学教育地域科学部紀要. 教育・人文科学』2, 2
- 金昌男(2001)「現代日本語における授受動詞について：韓国語との対照を通して」千葉大学大学院博士論文
- 張美仙(2001)「韓国語の「하고 있다(hago issta)」と「한다(handa)」について：日本語の「シ

- テイル」と対照して』『学校教育学研究論集』4
- NeancharoensukSuneerat(2001)「OPI データにおける「条件表現」の習得研究--中国語,韓国語,英語母語話者の自然発話から」『日本語教育』111
- 大野敏明(2002)『日本語と韓国語』文藝春秋
- 井上優・木村英樹・生越直樹(2002)「日本語／中国語／朝鮮語研究と「対照研究」」『国立国語研究所日本語と外国語との対照研究 X 対照研究と日本語教育』
- 生越直樹(2002)『シリーズ言語科学 4 対照言語学』東京大学出版会
- 泰秀美(2002)「日・韓における感謝の言語表現ストラテジーの一考察」『日本語教育』114
- 元智恩(2002)「日本語と韓国語の断り表現の構造 : 指導教官の依頼を断る場面を中心に」『言語学論叢』21
- 金順任(2002)「日韓両語における第三者敬語の対照研究 : 聞き手による使い分けを中心に」『言語・地域文化研究』8
- 李潤玉(2002)「韓国語助詞「ㄴ[ru]」と日本語助詞「に」の対立現象の認知的分析--特異な用法とされる韓国語「ㄴ[ru]」に見る日本語との概念的並行性」『えくす・おりえんて』,7
- 許明子(2002)「日本語と韓国語の受身文の実証的対照研究の試み」九州大学大学院博士論文
- 金珍娥(2002)「日本語と韓国語における談話ストラテジーとしてのスピーチレベルシフト」『朝鮮学報』183
- 嚴廷美(2002)「ポライトネスにおける言語と性差研究の再考 : 韓国語と日本語の対照研究から」『松山大学総合研究所所報』37
- 金庚芬(2002)「「ほめに対する返答」の日韓対照研究」『言語・地域文化研究』8
- 油谷幸利(2002)「誤訳に基づく日韓対照研究」『言語文化』5,1
- 菅田正昭(2002)「シマ・スマ・ショムとその周辺の言葉たち--日本語・アイヌ語・韓国語のシマを意味する語」『しま』47,3
- 朴寶根(2002)「日本語と韓国語とアイヌ語--基礎語彙の対照を中心にして」『立正大学国語国文』41
- 林八竜(2002)『日・韓両国語の慣用的表現の対照研究-身体語彙慣用句を中心として』明治書院
- 朴大王(2002)「日本語における外来語の受容度に関して-韓国語の hada 用言との関連を中心に-」『研究紀要』40
- 尹亭仁(2002)「日本語と韓国語の漢語動名詞の統語範疇をめぐって」『神奈川大学言語研究』25
- 泉文明(2002)「明治期の日韓両言語における漢語 : 二つの辞典の比較から」『龍谷大学国際センター研究年報』11
- 李晶(2002)「日本語と中国語の韓国語に与える影響--二字「漢語」を中心に」『留学生教育』7
- 孫京鎬(2002)「韓国語における感覚形容詞の分類 : 日本語との対照を中心に」『社会環境研究』7
- 鄭惠先(2002)「日本語と韓国語の人称詞の使用頻度 : 対訳資料から見た頻度差とその要因」『日本語教育』114
- 鄭惠先(2002)「日本語と韓国語における人称詞の使用実態--アンケート調査の分析結果から見

- る頻度差と用法の相違」『計量国語学』23, 7
- 林炫情(2002)「日本語と韓国語における呼称選択の適切性」『日本語科学』11
- 印省熙(2002)「地の文の日本語の「のだ」と韓国語の「-ㄴ것이다」について」『表現研究』76
- 金昌男(2002)「日本語と韓国語の授受動詞がとりうる名詞について」『千葉大学ユーラシア言語文化論集』5
- 金昌男(2002)「現代日本語の授受表現における人称と視点について--韓国語との対照を通して」『千葉大学社会文化科学研究』6
- 生越直樹(2002)「日本語・朝鮮語における連体修飾表現の使われ方」『シリーズ言語科学』
- 白海燕(2002)「アスペクト用法の「V+出す」、「V+ㄹnaeda」からみる日本語と朝鮮語の空間認知のずれについて」『日本認知言語学会論文集』2
- 澤田美恵子・朴鐘祐(2002)「日本語の「も」と韓国語の「도」(do)の対照研究」『神戸大学留学生センター紀要』8
- 曹美庚(2002)「日本語の格助詞「に」と韓国語の格助詞「=」の比較研究」『京都学園大学経営学部論集』11, 3
- 元智恩(2003)「断わる場面における「ノダ」文と「= =」(geos gata)文について：それらのつかない文との印象比較(<特集>コミュニケーションの社会言語科学)」『社会言語科学』6
- 植田和美(2003)「日本人学生と韓国人留学生における依頼の談話ストラテジー使い分けの分析--語用論的ポライトネスの側面から」『小出記念日本語教育研究会論文集』11
- 嚴廷美(2003)「英語・日本語・韓国語の he/man ことばについての一考察」『言語文化研究』22
- 金珍娥(2003)「"turn-taking システム"から"turn-exchanging システム"へ--韓国語と日本語における談話構造:初対面二者間の会話を中心に」『朝鮮学報』187
- 南得鉉(2003)「日韓両言語の存在表現に関する対照言語学的研究」広島大学博士学位論文
- 金恵鎮(2003)「日本語と韓国語の「使役構文」に関する対照研究」『北海道大学大学院文学研究科研究論集』3
- 高民定(2003)「日本語と韓国語の受身の類型論的な考察にむけて」『桜美林シナジーJ.V.ネウストプニー教授定年退職記念』1
- 金恩愛(2003)「日本語の名詞志向構造(nominal-oriented structure)と韓国語の動詞志向構造(verbally-oriented structure)」『朝鮮学報』188
- 曹美庚(2003)「日本語と韓国語における敬語表現の比較」『人間環境学研究』2
- 油谷幸利(2003)「誤訳に基づく日韓対照研究(2)」『言語文化』6
- 李漢燮(2003)「近代における日韓両語の接触と受容について」『國語學』54
- 徐民靜(2003)「動詞「引く」のプロトタイプの意味分析：韓国語との対照研究の観点から」『日本言語文化研究』5
- 權寧成(2003)「日・韓両語の色彩語「クロ: =」の語彙分化」『広島大学大学院教育学研究科紀要. 第二部, 文化教育開発関連領域』51
- 權寧成(2003)「日・韓両語の色彩語に関する対照言語学的研究」広島大学大学院博士論文
- 朴賢正(2003)「日本語と韓国語との数量表現の一考察--量を表す数量副詞を中心に」『人間文化

論叢』6

張元哉(2003)「現代日韓両国語における漢語の形成と語彙交流」『國語學』54, 3

林炫情(2003)「非親族への呼称使用に関する日韓対照研究」『社会言語科学』5, 2

宋有宰(2003)「日本語と韓国語の呼称表現の対照研究」金沢大学大学院博士論文

堀江薫.(2003)「日本語と韓国語の認知言語学的対照研究 (特集 形式文法と機能文法)」『日本語学』22, 10

朴大王(2003)「日韓比較語彙研究-語幹の結合形式から見た「体言型」と「用言型」」『田島毓堂編,ことばのつどい 日本語論究』7

印省熙(2003)「日本語の「のだ」と韓国語の「-ㄴ 것이다」の対照研究」お茶の水女子大学博士学位論文

金情浩(2003)「非対格動詞の出来事構造：韓日両言語の比較対照の観点から」『言語科学論集』7

曹美庚(2003)「メンタル・スペース理論と過去・完了形式：日本語と韓国語の対照」『広島修道大学研究叢書』

若生正和(2003)「韓国語のテンス・アスペクトの研究：日韓対照言語学の観点から」東北大学大学院博士論文

佐藤博(2003)「語順の研究--日本語,英語,独・仏・西・露・中・韓国語での比較」『東京経済大学人文自然科学論集』116

金龍(2003)「語順から見た日本語らしさ--朝鮮語との比較の視点から」『東アジア言語研究』6

李潤玉(2003)「「手段,場所,方向」概念と「近接」概念のつながり--日本語格助詞「で/へ」と韓国語格助詞「= [ro], = [eseo]」」『えくす・おりえんて』9

松本隆(2003)「英語系借用語の日韓音韻比較 語末の音節量調整を中心として」『アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター-紀要』26

鄭賢貞(2004)『日本語と韓国語の談話におけるスピーチレベルシフト』『日本語教育と異文化理解』3

魚秀禎(2004)『日韓の敬語用法の比較--「普段の言い方」と「正しいと思う言い方」の相違を中心に』『計量国語学』24, 6

嚴廷美(2004)『日本語と朝鮮語における依頼の仕方の対照研究：発話機能の観点から』『言語と文化 = 語言与文化』7

曹英南(2004)『字幕付き映画における韓日の言いさし表現の対応関係：「述部有り」の言いさし表現を中心として (村松賢一先生退官記念号)』『言語文化と日本語教育』27

李清梅(2004)『結果構文の意味範疇に関する中国語と日本語と韓国語の対照研究--「過分」と「意図」をめぐる』『東北大学留学生センター-紀要』8

金惠鎮(2004)『日本語と韓国語のヴォイスの対照研究：現代韓国語における「二重形」の位置付けを中心に』北海道大学大学院博士論文

魚秀禎(2004)『再掲載 日韓の敬語用法の比較--「普段の言い方」と「正しいと思う言い方」の相違を中心に』『計量国語学』24, 7

- 任街樹(2004)『日韓断り談話におけるポジティブ・ポライトネス・ストラテジー』『社会言語科学』6,2
- 金珍娥(2004)「韓国語と日本語の turn の展開から見たあいづち発話」『朝鮮学報』191
- 金珍娥(2004)「朝鮮語と日本語の文,発話単位,turn--談話分析のための文字化システムによせて」『朝鮮語研究』2
- 上原聡(2004)『日本語と韓国語の対照.日韓語対照研究による敬語の文法化に関する一考察』『対照言語学の新展開』
- 白海燕(2004)『空間からアスペクトへの文法化における視点問題：日本語・朝鮮語・中国語の対照を中心に』神戸大学大学院博士論文
- 朴賢正(2004)『日本語の数量名詞の「全部・すべて・みんな」と韓国語の「전부(chonbu)・모두(modu)・다(da)」との対照考察』『人間文化論叢』7
- 深見兼孝(2004)『日本語教育から見た日本語の指示詞表現(1)朝鮮語対訳から見た表現上の特徴』『広島大学留学生教育』8
- 金善美(2004)『現場指示と直示の象徴的用法の関係--日韓対照研究の観点から』『日本語文法』4,1
- 金善美(2004)『韓国語と日本語の指示詞の直示用法と非直示用法』京都大学大学院博士論文
- 宋恵仙(2004)『日本語のやりもらい構文の構造とヴォイス性：韓国語との対照を入れて』お茶の水女子大学大学院博士論文
- 許宰碩(2004)『現代日本語の過去テンスについて--韓国語との対照の観点から』『筑波日本語研究』9
- 申鉉竣(2004)『「～でもいい」に対応する韓国語の表現』『人文』3
- 金恵娟(2004)『因果関係における「ようだ」「らしい」「(し)そうだ」の日韓対照研究--「原因・結果推量」という観点から』『筑波応用言語学研究』11
- 郭珍京(2004)『日本語の「～し形」「～して形」と韓国語の「-[ハゴ]hago」「-[ヘソ]haeseo」の対照研究』
- 塚本秀樹(2004)『文法体系における動詞連用形の位置づけ：日本語と韓国語の対照研究』『佐藤滋・堀江薫・中村渉』
- 季潤玉(2004)『韓・日両言語の格助詞の考察』『近畿大学語学教育部紀要』4,2
- 金河守(2004)『韓国語における連体修飾語「(uy)」について-名詞化による「(m)」名詞と「(ki)」名詞を中心に-』『東京家政学院筑波女子大学紀要』8
- 武田暎子(2004)『英・日及び韓国語における WISH 構文の対照的研究』『名古屋女子大学紀要 人文・社会編』50
- 許明子(2004)『日本語と韓国語の受身文の対照研究』ひつじ書房
- 田島毓堂編(2004)『比較語彙研究の試み』語彙研究会
- 生越直樹(2005)『日韓対照研究のポイント 文法・表現(1)――日本語の視点から――』『日本語学』24,8
- 安美蘭(2005)『日本語、中国語、朝鮮語における感謝表現の対照研究』『日本語教育と異文化理

解』4

鄭賢熙(2005)『日韓両言語における「不満表明」に関する一考察：異文化による「もめごと」での行動および言語表現を中心として』『国際センター紀要』1

尾崎喜光(2005)『依頼行動と感謝行動の<関係>に関する日韓対照』『社会言語科学』8, 1

金順任(2005)『日本語と韓国語の第三者敬語の対照研究』東京外国語大学大学院博士論文

熊谷智子・石井恵理子(2005)『会話における話題の選択：若年層を中心とする日本人と韓国人への調査から』『社会言語科学』8, 1

安平鎬・福嶋健伸(2005)『中世末期日本語と現代韓国語のテンス・アスペクト体系：存在型アスペクト形式の文法化の度合い(<特集>日本語における文法化・機能語化)』『日本語の研究』1, 3

堀江薫(2005)『日本語と韓国語の文法化の対照：言語類型論の観点から(<特集>日本語における文法化・機能語化)』『日本語の研究』1, 3

任榮哲・生越直樹(2005)『日本語と韓国語・朝鮮語をめぐって』『社会言語科学』8, 1

郭旻恵(2005)『味覚における共感覚表現：日本語、韓国語の両言語の比較(第30回日本言語文化学会) -- (発表要旨)』『言語文化と日本語教育』30

瀧口恵子(2005)『日本語「する」動詞と韓国語「ha-da」動詞に関する考察：代動詞としての用法を中心に』『徳島大学国語国文学』18

李明玉(2005)『日本語と韓国語の慣用的表現の特徴と使用効果』『学習院大学大学院日本語日本文学』1

李ルダ(2005)『日本語と韓国語の決まり文句』『信大日本語教育研究』5

鄭惠先(2005)『日本語と韓国語の複数形接尾辞の使用範囲--文学作品と意識調査の分析結果から』『日本語科学』17

国立国語研究所『日本語科学』編集委員会／編集(2005)『日本語と韓国語の複数形接尾辞の使用範囲』『日本語科学』

梁有廷(2005)『日・韓身体語彙慣用表現の構成要素から見た意味分類対照』社会言語学会事務局 編『社会言語学会第16回大会発表論文集』

鄭惠先(2005)『日本語と韓国語の役割語の対照--対訳作品から見る翻訳上の問題を中心に』『社会言語科学』8, 1

松本隆(2005)『韓国の英語系借用語にみる日本語の音韻的な影響--二重語の実態と最適性理論からの分析』『アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター-紀要』28

孫京鎬(2005)『韓日両言語における感覚語場の対照研究：韓国語の感覚形容詞を中心として』金沢大学大学院博士論文

金花(2005)『日本語、中国語、朝鮮語における呼称の対照研究--非親族への呼格的用法をめぐって』『日本語教育と異文化理解』4

崔眞姬(2005)『日本語と朝鮮語の対照研究の動向：対照研究の現状(1980年~2004年)(第2部対照研究の動向)』『神戸市外国語大学外国学研究』61

武田暎子(2005)『日本語と韓国語における統語的共通性--日本語・韓国語・英語における進行

- 形の比較研究」『名古屋女子大学紀要 人文・社会編』51
- 許宰碩(2005)『状態化形式のテンスについて--韓国語との対照の観点から』『筑波日本語研究』10
- 金京淑(2005)『朝鮮語と日本語の可能表現の対照研究--価値の可能表現を中心に』『北海道大学大学院文学研究科研究論集』5
- 金龍(2005)『日本語と朝鮮語における語順の対照研究』広島大学大学院博士論文
- 孫景浩(2005)『テ形接続による付帯状況の表現に見られる動詞について：日本語と韓国語の比較から見えてくるもの』『国際センター紀要』1
- 崔明姫(2005)『日本語逆接助詞「ケド」と「ノニ」と朝鮮語接続語尾「**ㄴ**」・「**ㄴ**」の対照分析』『韓国言語文化研究』8
- 尹亭仁(2005)『韓国語と日本語のヴォイスに関する対照研究：動作主の格標示と構文の生産性を中心に』東京大学大学院博士学位論文
- 安平(2005)『日韓対照研究のポイント 文法・表現(2)――韓国語の視点から――』『日本語学』24, 8
- 笠島裕史・安木伸明・佐々木整・竹谷誠(2005)『意味構造分析を用いた副詞語の日韓米比較の一検討(ヒューマンインタフェース技術の教育への利用/一般)』『電子情報通信学会技術研究報告. ET, 教育工学』104, 643
- 油谷幸利(2005)『日韓対照言語学入門』白帝社
- 申媛善(2006)『情報のやりとりにおける受信者側の働き--日本語話者と韓国語話者の比較』『筑波応用言語学研究』13
- 塚本秀樹(2006)『日本語から見た韓国語--対照言語学からのアプローチと文法化(特集 日本語から見た外国語)』『日本語学』25, 3
- 高田祥司(2006)『日本語東北方言と韓国語の対照研究の可能性』『日本語文法』6, 2
- 安垠姫(2006)『統辞論的観点から見た韓国語の形容詞많다と日本語の形容詞多い-形容詞の述語用法と連体修飾用法に着目して-』『言語情報学研究報告』9
- 千英子・柏原卓(2006)『現代日本語の文学作品における受身文の研究：韓国語との対応関係分析を中心として』『和歌山大学教育学部紀要 人文科学』56
- 金恵鎮(2006)『日本語と韓国語の「使役受動態」に関する対照研究』『比較文化研究』37
- プラシャントパルデシ・李清梅・堀江薫(2006)『特別記事 主観性のタイポロジー--日・英・韓・中・マラーティー語における受動表現の対照を通して』『言語』35, 6
- 千英子(2006)『受身文の動作主マーカーに関する考察--韓国語との対照を中心として(形式の語用論)』『日本語用論学会大会研究発表論文集』2
- 金珍娥(2006)『日本語と韓国語の談話における文末の構造』東京外国語大学大学院博士論文
- 李善姫(2006)『日韓の「不満表明」に関する一考察：日本人学生と韓国人学生の比較を通して』『社会言語科学』8, 2
- 李[ヒョン]浄(2006)『日本語・中国語・韓国語における慣用表現の特徴の一考察：「死」を表す間接表現及び程度を示す比喩表現を中心に』『日本語・日本文化研究』12

- 崔善花(2006)『日本語・中国語・韓国語の基準語彙の近似度』『北海道大学大学院文学研究科研究論集』6
- 林炫情(2006)『代名詞的用法の対称詞使用に関する日韓対照研究』『人間環境学研究』5, 1
- 賈惠京・吉田則夫(2006)『身体語を含む慣用句についての日韓対照研究--「目」の場合』『岡山大学教育学部研究集録』132
- 松本隆(2006)『日本語と韓国語の類似したオノマトペ--音と意味の有縁性と恣意性をめぐって』『アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター-紀要』29
- 深見兼孝(2006)『日本語と朝鮮語の逆接の「接続語」について』『広島大学留学生センター-紀要』16
- 金善美(2006)『コ・ソ・アと i・ku・ce の感情的直示用法と間投詞的用法について』『言語文化』8, 4
- 金善美(2006)『韓国語と日本語の指示詞の直示用法と非直示用法』六一書房
- 金恩愛(2006)『日本語の「-さ」派生名詞は韓国語でいかに現れるか--翻訳テキストを用いた表現様相の研究』『日本語教育』129
- 金恒汨(2006)『日本語と韓国語の機能動詞に関する対照研究』北海道大学博士学位論文
- 曾雌崇弘, 崔珍賀(2006)『日本語と韓国語における名詞句の等位接続』鈴木右文/ 水野佳三/ 高見健一 編『言語科学の真髄を求めて : 中島平三教授還暦記念論文』
- 姜美善(2006)『「-テクル」「a/oe+oda」の日韓対照-本動詞からの意味拡張を中心に-』『早稲田大学日本語教育研究』8
- 印省熙(2006)『日本語の「のだ」と韓国語の「-ㄴ것이다」--会話文の平叙文の場合』『朝鮮語研究』3
- キムウンヨン(2006)『日韓両語の授受表現の比較分析 : 韓国語母語話者の「~てもらう」の習得過程の実態を中心に』『国際センター紀要』2
- 金京愛(2006)『現代韓国語のアスペクト形式 <-ko iss- > の意味分析--日本語の「-ている」との比較の観点から』『京都大学言語学研究』25
- 李貞勲, 堀江薫(2006)『日韓語の可能表現の意味的・談話的な特徴に関する対照言語学的研究』社会言語科学会事務局 編『社会言語科学会第18回大会発表論文集』
- 油谷幸利(2006)『接続形式における日朝対照研究--朝鮮語教育の観点から』『朝鮮学報』198
- 崔明姫(2006)『日本語逆説助詞「ケド」について--朝鮮語接続語尾「==」・「==」との対照分析』『地域文化研究』4
- 嚴廷美(2006)『日本語と韓国語の接続助詞「~て」と「~==」、「~==」についての意味論的考察--日本人学習者のための韓国語教育の観点から』『エクス』4
- 李潤玉(2006)『日・韓助詞の認知的分析 : 「に/= [e]」 v.s. 「で/= [ro]」. 近畿大学語学教育部紀要』6, 1
- 文智暎(2006)『韓国語の ul/lul 格連続現象について--日本語のヲ格連続現象との対照』『日本語と日本文学』43
- 塚本秀樹(2006)『日本語と朝鮮語における複合格助詞再考』藤田保幸/ 山崎誠 編『複合辞研

究の現在』

池上真人(2006)『依頼場面での丁寧度決定に関する比較研究：日本・韓国・台湾の大学生を対象に(中国地区英語教育学会第36回研究発表)』『中国地区英語教育学会研究紀要』36

WASHIORyuichi (2006) Unaccusativity and East Asian Languages: Issues and Prospects.中国語学, 253

申媛善(2007)『日本語と韓国語における文末スタイル変化の仕組み--時間軸に沿った敬体使用率の変化に着目して』『日本語科学』22

李明玉(2007)『日本語と韓国語の慣用表現の差異：比較言語文化学の立場から』笠間書院

梁今實(2007)『動物名と心的イメージ：日本語と韓国語の対照研究』『国際文化学』17

許仁順(2007)『「は」に対応する韓国語の表現：文末の疑問表現を中心に』『日本語・日本文化研究』13

都恩珍・黄情児(2007)『韓国語の「doeda」被動文の意味的特徴に関する一考察-日本語の「漢語+する」形に対応する場合を中心に-』『桜花学園大学人文学部研究紀要』9

金惠鎮(2007)『韓国語の自発表現に関する考察--日本語との対照言語学的観点から』『久留米大学外国語教育研究所紀要』14

円山拓子(2007)『自発と可能の対照研究--日本語ラレル,北海道方言ラサル,韓国語 cita』『日本語文法』7, 1

千英子(2007)『文学作品における使役文に関して--韓国語との対照研究を中心として』『摂大人文学』15

李恩我(2007)『受動表現の日韓対照研究--日本語の「-(ら)れる」形式に対応する韓国語の表現形式』『日本語・日本文化研究』17

白明学(2007)『韓国語における受身形式の機能的特徴--比較・対照の観点から』『名古屋言語研究』1

千英子(2007)『日本語と韓国語における視点について』『日本語用論学会大会研究発表論文集』3

千英子(2007)『日本語と韓国語のヴォイスに関する対照研究』神戸大学大学院博士論文

大塚真理子(2007)『膠着語における節の文法化に関する一考察--日本語・韓国語の理由を表す接続詞「だから」[「クロニカ」geureonikka]の意味形成過程について』『日本認知言語学会論文集』7

金庚芬(2007)『日本語と韓国語の「ほめの談話」』『社会言語科学』10, 1

魚秀禎(2007)『日本語母語話者と韓国語を母語とする日本語学習者の敬語に関する社会言語学的研究』お茶の水女子大学大学院博士論文

李澤熊(2007)『韓国語副詞급히, 빨리, 서둘러の意味分析--日本語の「急に」/「急いで」との対照の観点から』『言語文化論集』28, 2

李澤熊(2007)『韓国語の副詞的成分이따가「ittaga」と나중에「nazunge」の意味分析--日本語の「あとで」/「のちほど」との対照の観点から』『言語文化論集』29, 1

安垠姫(2007)『単語結合論的観点から見た韓国語の「타다」と日本語の「乗る」--対照語彙論の

- 構築のために」『朝鮮学報』203
- 梁敏鎬(2007)『外来語をめぐる意識に関する日韓対照研究』『国語学研究』46
- 伊東真美(2007)『日本語と韓国語のオノマトペの音韻的・形態的比較--その動詞化形の比較を中心に』『東アジア日本語教育・日本文化研究』10
- 金善美(2007)『指示詞が指し示す範疇について：現代韓国語と日本語の対照を中心に』『言語文化』9,4
- 宋善花(2007)『日本語,朝鮮語,中国語の親族内の人称詞に関する対照研究』『東北大学高等教育開発推進センター紀要』2
- 呉秀賢(2007)『親族間の呼びかけ表現に関する日・韓比較』『外国語学会誌』37
- 許宰碩(2007)『日本語の「しておく」について--韓国語の「hae nohda/duda」との対照の観点から』『筑波日本語研究』12
- 鄭世桓(2007)『日韓補助動詞の対照研究：日本語の補助動詞テシマウ形式の意味・用法とそれに対応する韓国語の補助動詞をめぐって』東北大学
- 金廷珉(2007)『日本語の「のだ」と韓国語の「KES-ITA」の意味に関する対照研究』『東北大学高等教育開発推進センター紀要』2
- 徐珉廷(2007)『「Vてもらう」は韓国語でいかに現れるか：その出現形式と要因』『昭和女子大学大学院言語教育・コミュニケーション研究』2
- 瀧口恵子(2007)『韓国語と日本語「～ようと」の対照考察』『徳島大学国語国文学』20
- 李美賢(2007)『推量表現の日韓対照研究：発話主体の視点の違いから』『韓国語學年報』3
- 李美賢(2007)『文中の位置による韓国語の対応関係と意味用法：「ようだ」「らしい」「(し)そうだ」を中心に』『日本語教育方法研究会誌』14,1
- 金京淑(2007)『可能表現の対照研究：日本語・中国語・朝鮮語の意味の対照を中心に』北海道大学大学院博士論文
- 金銀珠・伊藤友彦(2007)『聴覚障害児における助詞の誤りの特徴：日本語と韓国語の比較』『学校教育学研究論集』16
- 印省熙(2007)『日本語の「は」と韓国語の「가」についての一考察』『Lingua』18
- 秦秀美(2008)『日本語と韓国語における感謝・謝罪表現の研究』大阪大学大学院博士論文
- 林炫情・玉岡賀津雄・宮岡弥生(2008)『日本語と韓国語の第三者待遇表現-聞き手の違いが他称詞と述語待遇選択に及ぼす影響-』『山口県立大学学術情報』1
- 長嶺聖子(2008)『韓国語の「パンマル」と日本語の「ため口」の違いに関する一考察--待遇表現の指導方法と関連して』『留学生教育』5
- 林河運(2008)『日韓初対面会話の質問による話題導入の対照研究--ポライトネスの観点から』『現代社会文化研究』41
- 李恩美(2008)『日本語と韓国語の初対面二者間会話における対人配慮行動の対照研究：ディスコース・ポライトネス理論の観点から』東京外国語大学大学院博士論文
- 呉恵卿(2008)『説得場面におけるコミュニケーション・スタイルの日韓比較--セールス談話の分析から』『大阪大学言語文化学』17

- 尹秀美(2008)『呼びかけ表現を好む韓国人、呼びかけ表現を避ける日本人：コンテキスト化の合図という観点から』『韓国語學年報』4
- 堀江薫・金廷珉(2008)『「主観化・間主観化」の観点から見た日本語・韓国語の文法現象--Elizabeth C. Traugott 教授の文法化研究の新展開』『言語』37, 2
- 朴[ヨン]一(2008)『再構造化現象と統語構造：日本語と韓国語を中心に』筑波大学大学院博士論文
- 許宰碩(2008)『移動動詞の格表示とアスペクト形式との関係--韓国語との対照の観点から』『日本語と日本文学』47
- 松岡雄太(2008)『モンゴル語のアスペクトに関する研究：満洲語・朝鮮語との対照研究』九州大学大学院博士論文
- 高田祥司(2008)『日本語東北方言と韓国語の<過去>の表現について』『日本語の研究』4, 4
- 陸心芬(2008)『日本語の認識モダリティ形式の意味分析と韓国語の類似形式との対照研究』名古屋大学大学院博士論文
- 清水武雄・信澤博美・崔仁珠(2008)『間接話法での人称と時制の一致--英語・日本語・フランス語・ドイツ語・中国語・韓国語』『群馬大学教育実践研究』25
- 金善美(2008)『韓国語と日本語の主題標識「은/는(un/nun)」と「は」に関する対照研究』『言語文化』10, 4
- 金銀珠・伊藤友彦(2008)『日本と韓国の聴覚障害児における格助詞の誤用の比較：構造格と内在格を中心に』『特殊教育学研究』46, 1
- 金智賢(2008)『韓国語と日本語の談話における「無助詞」の対照研究--現場性と主題を手がかりに』『言語情報科学』6
- 印省熙(2008)『日本語の「は」と韓国語の「는」の相違--翻訳本の非対応の例を中心に』『Lingua』19
- KimAngelaA-Jeoung(2008)『日本語終助詞「よ」の伝達機能に関する考察：終助詞「よ」に相当する韓国語文末表現との対照研究』『慶應義塾外国語教育研究』5
- 梁今實(2008)『間接受動文と被害性：日本語と韓国語の対照研究』『鶴山論叢』8
- 白明学(2008)『日本語と韓国語の受身構文研究：比較・対照の観点から』名古屋大学大学院博士論文
- 濱田亮輔(2008)『母語話者の類似度評価に基いた韓国語助詞「eyse」の計量的意味分析』『今治明德短期大学研究紀要』32
- 金庚芬(2008)『日本語と韓国語の「ほめ」の表現--日韓大学生の会話データを用いて(特集 言語と教育)』『接続』8
- 金賢珍(2008)『日本語と韓国語の強意表現の形態的特徴--機能化された強意語を中心に』『愛知淑徳大学論集』8, 41-54
- 李澤熊(2008)『韓国語の副詞的成分일찍 と 빨리의 意味分析--日本語の「早(速)く」との対照の観点から』『言語文化論集』29, 2
- 深見兼孝(2008)『日本語のオソロシイ/コワイと朝鮮語の tuly[Open O]pta/mus[Open O]pta

について」『ニダバ』37

延鎮淑(2008)『韓国語身体語彙慣用句の研究(1)韓国語教育・日韓比較文化論のために』『信州大学人文社会科学研究』2

崔善花(2008)『日本語・中国語・韓国語の共通語彙』『北海道大学大学院文学研究科研究論集』8

尹貞姫(2008)『日朝両言語における形容詞語彙の分類』『ことばの科学』21

鄭惠先(2008)『日本語役割語に対する韓国人日本語学習者の意識』『長崎外大論叢』12

鄭惠先(2008)『方言意識の日韓対照--役割語翻訳の観点から』『日本語科学』23

伊東真美(2008)『活用するオノマトペ--日本語と韓国語の対照研究』『東アジア日本語教育・日本文化研究』11

金善美(2008)『現代韓国語と日本語における「[イ]/この+X」の範疇解釈を導く名詞と述語について』『朝鮮学報』207

若生正和(2008)『日本語と韓国語の漢字表記語の対照研究--漢語動名詞を中心に』『大阪教育大学紀要 1 人文科学』56,2

金泰虎(2008)『日韓社会の人間関係における「兄」について：呼称と名称を中心とした特徴の比較』『言語と文化』12,0

守屋哲治(2008)『法助動詞の発達の普遍性と個別性:英語・日本語・韓国語の対照に基づいて』『金沢大学教育学部紀要 人文科学・社会科学編』57

白以然(2008)『動詞「出す」と韓国語「[ナイダ]」(naida)の対照研究--認知意味論の観点から』『人間文化創成科学論叢』11

鄭世桓(2008)『韓国語の補助動詞 ko malta 形式の意味・用法--対照言語学的観点から』『総合政策論叢』14,

鄭世桓・上原聡(2008)『日本語の補助動詞「テシマウ」に対応する韓国語の a pelita と ko malta について--文法化の観点からの対照分析』『日本認知言語学会論文集』8

中野友理(2008)『日韓文末形式「ノダ」と「geos-ida」について』『北海道大学大学院文学研究科研究論集』8

韓京娥(2008)『日本語の「～てあげる・くれる」と韓国語の「-a/e cwuta」の意味機能』『日本語教育』136

徐珉廷(2008)『日韓両言語における事態把握：「V ていく/くる」と「Ve kata/ota」』『昭和女子大学大学院言語教育・コミュニケーション研究』3

都基禎(2008)『日・韓両言語における「ていく」・「てくる」と「-가다/ka-ta」・「-오다/o-ta」の対照研究』『佛敎大學大學院紀要』36

安祥希(2008)『無助詞使用状況の一考察：韓国人学習者を対象に』『日本語教育方法研究会誌』15,2

嚴廷美(2009)『ポライトネスと 3 人称代名詞の総称的使用--英語と韓国語についての考察[含韓国語文]』『言語と文化』12

金珍娥(2009)『日本語と韓国語の談話における文末の緩衝表現の出現様相--計量的な分析を中

- 心に」『カルチュラル』3,1
- 金珍娥(2009)『日本語と韓国語の文末における緩衝表現』『朝鮮学報』213
- 石塚ゆかり・成田育男(2009)『意見文における意見表明と反論提示：日中韓大学生の日本語作文を分析して』『日本語教育方法研究会誌』16,2
- 金賢珍(2009)『日本語と韓国語の強意語の修飾様相--形容詞との共起関係を中心に』『多元文化』9
- 深見兼孝(2009)『日本語のウレシイ/タノシイと朝鮮語の kippmta/cmlkopta について』『ニダバ』38
- 朴福美(2009)『カボチャと韓国語のホバツ』『高崎経済大学論集』52,1
- 印省熙(2009)『日本語の「は」と韓国語の「가」の対応様相：前接名詞が「ヒト」である場合』『韓国語學年報』5
- 金智賢(2009)『現代韓国語と日本語の談話における無助詞について：主語名詞句及び文頭名詞句を中心に』
- 秋田歩(2009)『日本語のガ・ヲ・ニと韓国語의 reul の対応について：他動性の観点から』東京大学大学院博士論文
- 塚本秀樹(2009)『日本語と朝鮮語における品詞と言語現象のかかわり：対照言語学からのアプローチ』由本陽子・岸本秀樹編 語彙の意味と文法
- 濱田亮輔(2009)『母語話者の類似度評価に基いた韓国語助詞「lo」の計量的意味分析』『今治明德短期大学研究紀要』33
- 延鎮淑(2009)『韓国語身体語彙慣用句の研究(2)韓国語教育・日韓比較文化論のために』『信州大学人文社会科学研究』3
- 李大年(2009)『日本語と韓国語における擬態語の対照研究：日本及び韓国の少女マンガにおける感情を表す擬態語を中心に』九州大学大学院博士論文
- 若生正和(2009)『日韓漢字動名詞の対照研究：日本語能力試験3・4級語彙を中心に』油谷幸利先生還暦記念論文集『朝鮮半島のことばと社会』
- 宋善花(2009)『日本語、朝鮮語、中国語における人称詞の対照研究』東北大学大学院博士論文
- 金恩愛(2009)『日本語の「名詞+の+名詞」は韓国語でいかに現れるか--第3の類型について』『カルチュラル』3,1
- 塚本秀樹(2009)『日本語と朝鮮語における複合動詞再考：対照言語学からのアプローチ』油谷幸利先生還暦記念論文集『朝鮮半島のことばと社会』
- 浅尾仁彦(2009)『動詞連続の文法的性質を捉え直す―日韓対照を通じて―』ワークショップ「複雑述語の形式・機能とダイナミズム」関西言語学会第34回大会
- 金良宣(2009)『他動調的「VNする」の意味分布：韓国語との対照を中心に』『言語科学論集 = Papers in linguistic science』15
- 金恩愛(2009)『日本語と韓国語における表現様相の研究』『朝鮮半島のことばと社会』
- 瀧口恵子(2009)『韓国語補助動詞の意味について：日本語との対照も添えて』『徳島大学国語国文学』22

- 朴江訓(2009)『日本語における否定一致現象に関する研究：韓国語との対照の観点から』筑波大学大学院博士論文
- 林世涓(2009)『日本語と韓国語の授受表現の対応関係について：補助動詞「～てもらう」のコーパス分析を通して』『日本語教育方法研究会誌』16, 2
- 徐珉廷(2009)『日本語話者と韓国語話者における主観的な<事態把握>の対照研究：「ていく/くる」と「e kata/ota」の補助動詞用法を中心に』昭和女子大学大学院博士論文
- 田窪行則・金善美(2009)『韓国語と日本語のモダリティ表現の対照』『朝鮮半島のことばと社会』
- 金善美(2009)『韓国語と日本語におけるムードと反語法について』『朝鮮半島のことばと社会』
- 崔明姫(2009)『現代韓国語の文中における接続語尾「[Nenunde]」について--日本語の逆説助詞「ケド」・「ノニ」との対照分析を中心に』『地域文化研究』7
- 金慶恵(2009)「日本語と韓国語の条件表現の対照研究」首都大学東京博士論文
- 金珍娥(2010)『日本語と韓国語の談話における間投詞の出現様相と機能』『カルチュラル』4, 1
- 全鍾美(2010)『初対面の相手に対する自己開示の日韓対照研究：内容の分類からみる自己開示の特徴』『社会言語科学』13, 1
- 呉珠熙(2010)『「どうせ」の共起関係と文類型について--韓国語の副詞「[どうせ][どうせ(なら)]」との対照を兼ねて』『九州国際大学教養研究』17, 1
- 金銀珠・伊藤友彦(2010)『日本と韓国の聴覚障害児の格助詞「に」に関する統語知識』『東京学芸大学紀要. 総合教育科学系』61, 1
- 韓必南(2010)『連体助詞「の」を含む名詞句の韓国語対応形について：日韓翻訳テキストの分析を通して』『言語・地域文化研究 (Language, area and culture studies)』16
- 印省熙(2010)『日本語の「は」と「が」と韓国語の「는」と「가」』須田淳一/ 新居田純野 編『日本語形態の諸問題：鈴木泰教授東京大学退職記念論文集』
- 李光輝(2010)『文末の「って」「んだって」と対応する韓国語について--元話者(情報源)が第三者の場合を中心に』『近畿大学教養・外国語教育センター紀要 外国語編』1, 1
- 鄭在喜(2010)『日韓の受動文における対照研究--「言う/話す/聞く(訊く)」を中心に』『言語文化と日本語教育』40
- 金珍娥(2010)『〈非述語文〉の現れ方と discourse syntax--日本語と韓国語の談話から』『朝鮮学報』217
- 許明子(2010)『日本語と韓国語の聞き手の私的領域に関する言語行動--韓国人日本語学習者と日本語母語話者の言語行動に関する調査を通して』『筑波大学地域研究』31
- 和田由里恵・堀江薫・吉本啓(2010)『依頼表現における日本語学習者の中間言語--中国語母語話者・韓国語母語話者の母語転移』『東北大学高等教育開発推進センター紀要』5
- 金庚芬(2010)『日本語と韓国語の「ほめ」における男女差--親しい友人同士の会話をデータとして』『明星大学研究紀要 人文学部』46
- 安垠姫(2010)『韓国語形容詞{크다類}の連語的研究：日本語形容詞{大きい類}に照らして』『朝鮮語研究』4
- 徐銀希(2010)『日・韓両言語の「怒り」に関する慣用句研究：「目/눈」の表現を中心に』『日

- 本語教育方法研究会誌』17, 1
- 吳秀賢(2010)『日本語・韓国語の人称代名詞の比較』『立命館言語文化研究』22, 2
- 金直洙(2010)『日本新聞における分野別「キーワード語彙」の考察』田島毓堂 編『日本語史の新視点と現代日本語』
- 韓有錫(2010)『日本語学最前線 並列シソーラスにおける日韓語彙構造の分析』田島毓堂 編『日本語史の新視点と現代日本語』
- 伊東真美(2010)『日本語と韓国語のオノマトペの音象徴の対照研究(口頭発表・午後の部, 日本語学会 2010 年度春季大会研究発表会発表要旨)』『日本語の研究』6,4
- 裴明文(2010)『日韓オノマトペの対照研究--オノマトペの述語省略表現について』『北海道大学大学院文学研究科研究論集』10
- 朴智娟(2010)『「笑い」に関する音声象徴語の 日韓の対照研究』『言語学論叢 オンライン版』
- 申[ミン][チョル](2010)『『窓ぎわのトットちゃん』語彙から見た日本語と韓国語の語彙』田島毓堂 編『日本語史の新視点と現代日本語』
- 徐民靜(2010)『日本語と韓国語における複合動詞の語彙的対照研究』『日本言語文化研究』14
- 奥野浩子(2010)『日本語と韓国語の複合動詞と類像性』『人文社会論叢 人文科学篇』23
- 星野淳也(2010)『漢語名詞における用言(動詞・形容詞)への語形変化に関する研究--日本語・韓国語の活用タイプにおける対照』『東アジア日本語教育・日本文化研究』13
- 徐珉廷(2010)『日本語話者の<好まれる言い回し>としての「ていく/くる」の補助動詞的な用法--対応する韓国語の「e kata/ota」との比較を通して』『日本認知言語学会論文』10
- 丹原邦博(2010)『日本語と朝鮮語の時制と相』『関西大学外国語教育フォーラム』9
- 高恩淑(2010)『韓国語における可能表現の意味特徴と用法：日本語の可能表現を手掛かりとして』『一橋大学国際教育センター紀要』1
- HoHyunSung(2010)『「だろう」の推量用法と韓国語形式の対照』『筑波応用言語学研究』17
- 金志姫・白川博之(2010)『確認要求表現「だろう」と「よね」について--韓国語の確認要求表現「[チ](ji)」との比較を通して』『広島大学日本語教育研究』20
- 鈴木義和・孫哲(2010)『日本語と韓国語の条件文の対照研究(特集 国際関係の中の日本語研究)』『国文論叢』43
- 京田功(2010)『日韓両国語の中止法についての一考察--『沈清伝』にみえる中止法』『拓殖大学日本語紀要』20
- 丹羽博之(2010)『日中韓国における漢語の意味と発音の変化：総角・愛人・知音の伝播と変容』『大手前大学論集』11
- 韓秀蘭(2010)『日中韓における人称詞比較』田島毓堂 編『日本語史の新視点と現代日本語』
- 吳先珠.(2011)『韓国語語尾-다의 연구：主に韓国語教育の観点から』『韓国言語文化研究』19
- 李澤熊(2011)『日本人韓国語学習者のための日韓対照言語研究』『愛知学院大学語研紀要』36, 1
- 清実咲(2011)『韓国語と日本語の類似点と相違点』『常葉英文』31
- 生越直樹(2011)『対照 日本語と朝鮮語は本当に似ているか』東京大学言語情報科学専攻 編『言

語科学の世界へ：ことばの不思議を体験する 45 題』

鄭賢兪・JungHyuna(2011)『謝罪行動とその反応に関する日韓対照研究—ポライトネス理論の観点から—』『言語・地域文化研究 (Language, area and culture studies)』17

林香淑(2011)『話し言葉における「なんとというか」類の使用について：中国語、韓国語母語話者を対象に』『日本語研究』31

塚本秀樹(2011)『韓国語との対照』益岡隆志(編)『はじめて学ぶ日本語学-ことばの奥深さを知る 15 章-』

金順任(2011)『日本語と韓国語の言語景観における禁止表現：場所による違いを中心に』『明海日本語』16

森山新(2011)『日本語のスル動詞と韓国語의하다動詞から見た日韓両言語のナル性（「ナル表現」の諸相をめぐる認知言語学的研究）』『日本認知言語学会論文集』11

韓必南(2011)『日本語の「する」と韓国語の「hada」による属性・状態の叙述』『思言：東京外国語大学記述言語学論集』7

張元哉(2011)『近代対訳コーパスにおける日韓語彙の諸相—文体の異なる対訳コーパスの比較を通して—』『国立国語研究所プロジェクト近代語コーパス設計のための文献言語研究共同研究会発表会』

金井勇人・金善花・PrawitaJosep(2011)『日本語と諸言語の指示語の対照について--インドネシア語・韓国語・中国語と』『国際交流センター紀要』5

朴善嫻(2011)『日韓二字漢語の動詞化および形容詞化：語彙資料としての提案』『日本語教育方法研究会誌』18, 2

白寅英(2011)『現代日本語と韓国語の場所格交替構文に関する対照言語学的研究』筑波大学大学院博士論文

文彰鶴(2011)『日本語と韓国語の文末形式に関する対照研究--「知覚表明」と「知識表明」の概念を中心として』『言語情報科学』9

尹秀美(2011)『発話理解における話し手責任の日韓比較：謝罪場面での発話量および表現形式を中心に』『韓国語學年報』7

小島大輝(2011)『한일 대역자료에서 본 일본어의 '-込む' 복합동사에 대응하는 한국어 표현의 출현 양상』『韓国言語文化研究』19

宮岸哲也(2011)『授与補助動詞構文の文法化について--日本語～てあげる/くれる・韓国語-a/e cwuta・シンハラ語-la denawa を例にして』『国語国文論集』41

井上優(2011)『日本語・韓国語・中国語の「動詞+授受動詞」(特集 やりもらいの日本語学)』『日本語学』30, 11

崔在雄・首藤佐智子・原田康也(2011)『日本語と韓国語における名詞句接続の対照研究』電子情報通信学会技術研究報告 TL『思考と言語』111, 320

崔松子(2011)『日本語の「は、が」、韓国語の「[ウン]/[ヌン]、[カ]/[イ]」と中国語--日本語教育と韓国語教育の観点から』『東アジア日本語教育・日本文化研究』14

- 安祥希(2011)『韓国語の与格助詞"ege"とその代用形態：意味機能及び生起条件について』『筑波応用言語学研究』0,0
- 全香蘭(2011)『日本語・中国語・朝鮮語における依頼に対する受諾表現の比較研究』筑波大学大学院博士論文
- 金庚芬・関崎博紀・塔娜・陳臻渝(2011)『第26回研究大会ワークショップ：東アジアの言語使用からみた対人関係調整上の志向性-日・中・韓・モンゴルの「ほめ/けなし」場面を中心に-』『社会言語科学』14,1
- 吳珠熙(2011)『「せっかく」の持つ前提と共起制限の関わりについて：韓国語の副詞「mocheoreom, ilkkeott」との対照を兼ねて』『教養研究』18,2
- 朴大王(2011)『複合名詞に関する一考察』『広島修大論集』52,2
- 金アラン(2012)『映画に見る日韓語のスピーチレベルシフト』笹原健/野瀬昌彦編『日本語とX語の対照：外国語の眼鏡をとおして見る日本語：対照言語学若手の会シンポジウム2011発表論文集』2
- 高木丈也(2012)『日本語と韓国語の談話におけるいわゆる中途終了発話文』の出現とその機能』『社会言語科学 = The Japanese journal of language in society』15,1
- 田島弥生・石崎俊(2012)『日本語、韓国語、中国語の依頼談話における前置き表現の分析』『Studies in language sciences : journal of the Japanese Society for Language Sciences』11
- 小島大輝(2012)『한국어와 일본어의 조사 결합에 대하여 : 격조사와 보조사의 분포적 특성을 중심으로』『韓国研究センター年報』12,0
- 倉島礼子(2012)『日本語の助詞'の'との対照を通じた韓国語の助詞'의'の省略現象研究：口語資料を中心に』『韓国語教育研究』2
- 風間伸次郎(2012)『アルタイ型言語における準動詞と言いさしについて』『北方言語研究』2
- 文彰鶴(2012)『日本語と韓国語の文末形式に関する対照研究：「知覚表明」と「知識表明」の概念を中心に』東京大学大学院博士論文
- 李光輝(2012)『日本語と韓国語における引用構文由来の文末表現について』東京大学大学院博士論文
- 金惠鎮(2012)『韓国語における自発文の意味的用法：日本語との対照研究を通して』『韓国語教育研究』2
- 塚本秀樹(2012)『形態論と統語論の相互作用-日本語と朝鮮語の対照言語学的研究-』ひつじ書房
- 板橋義三(2012)『第4回国際日韓比較言語学会 基調講演 日本語と朝鮮語の格助詞の同源関係に関する再検討』『日韓比較言語文化研究：journal of the International Society for the Comparative Study of Korean and Japanese』3
- 高木裕子・宋善花(2012)『対称詞の待遇性による使用制限-日本語・朝鮮語・中国語の社会言語学的対照の観点から-』『実践女子大学人間社会学部紀要』8
- 金善美(2012)『現代韓国語と日本語の「遭遇系間投詞」に表れる話し手の事態評価について』『ありあけ：熊本大学言語学論集』11

- 森山新(2012)『日韓両国の商売に対する考え方が動詞「買う / 売る」の意味構造に与える影響 (第6回国際日本学コンソーシアム : International Workshop "Consumption and Consumerism in Japanese Culture)』『比較日本学教育研究センター研究年報』8
- 夏海燕(2012)『日本語から考える外国語・韓国語「着点動作主動詞」の意味拡張」笹原健/ 野瀬昌彦 編『日本語と X 語の対照 : 外国語の眼鏡をとおして見る日本語 : 対照言語学若手の会シンポジウム 2011 発表論文集』2
- 橋本喜代太・岡田真・竹内和広・廣川佐千男(2012)『日韓オノマトペの抽出とその感性評価利用』『電気学会研究会資料. IS』情報システム研究会, 1
- 李大年(2012)『日本語と韓国語における擬態語の対照研究 : 日本及び韓国の少女マンガにおける感情を表す擬態語を中心に』
- 中川正之・楊虹・朴英珠(2012)『日中韓漢字語研究序説 : 「恋愛」・「生活」・「運命」をめぐって』『日中言語研究と日本語教育』5
- 李潤玉(2012)『方向性メタファーと「敵対」概念との繋がり of 認知的分析 : 英語・日本語・韓国語を対象に』『文学・芸術・文化 = Bulletin of the School of Literature, Arts and Cultural Studies, Kinki University : 近畿大学文芸学部論集』24, 1
- Hokari Tomohiro・Kumagami Mai・Akimoto Takayuki(2012)『英語, 中国語, 韓国語母語話者による日本語の動詞-動詞複合語の産出 : コーパス調査から』『Kyushu University Papers in Linguistics』33
- 金恩愛(2012)『日本語の「副詞類+する」は韓国語でいかに現れるか』『福岡県立大学人間社会学部紀要』21, 1
- 佐藤直人(2012)『韓国語の助動詞選択について』笹原健/ 野瀬昌彦 編『日本語と X 語の対照 : 外国語の眼鏡をとおして見る日本語 : 対照言語学若手の会シンポジウム 2011 発表論文集』2
- 清水孝司(2012)『日本語の「のだ」と韓国語の「것이다」の対照研究 : 状況との関連づけの有無がもたらす表現の差』『言語文化学研究』7
- 深見兼孝(2012)『日本語の「~ニスル」と朝鮮語の'-lo hata」について』『広島大学国際センター紀要』2
- 韓京娥(2012)『移動方向動詞と結合している「ていく/くる」と「ekata/ota」 : 一人称の移動を対象に』『言語文化論究』28
- 都築鉄平(2012)『日・中・韓国語における変化表現と結果状態表現の使い分けについて : 認知語用論的アプローチによる分析』『日本認知言語学会論文集』12
- 權城(2012)『推量用法の「だろう」と「はずだ」に関する研究 : 韓国語との対照を中心に』『Nidaba』41
- 高恩淑(2012)『日本語と韓国語における可能表現の意味・用法 : 可能形式を述語とする可能文を中心に』一橋大学博士論文
- 權城(2012)『認識モダリティ表現に関する日本語と韓国語の対照研究 : 韓国人日本語学習者のための教材作りの基礎として』
- 金庚芬(2012)『日本語と韓国語の「ほめ」に関する対照研究』ひつじ書房

- 張雪梅(2013)『日本語と延辺朝鮮語における「依頼一拒絶一再依頼」の展開について：談話構造とストラテジーの考察を中心に』『国際協力研究誌』19, 3
- 金珍娥(2013)『談話論と文法論：日本語と韓国語を照らす』くろしお出版
- 安智恵(2013)『韓国語の副詞 jeibeb の「程度性」と「陳述性」に関する考察(論文)』『言語・地域文化研究 (Language, area and culture studies)』19
- 八野友香(2013)『シテ形接続の因果用法と韓国語の-어서의比較考察：韓国人日本語学習者の誤用例分析を中心に』『比較文化研究』106, 131-141
- 高木丈也(2013)『日本語と朝鮮語の自然談話における「情報要求」を表す「中途終了発話文」』『朝鮮語研究』5
- 高木丈也(2013)『日本語と韓国語の自然談話に現れる「くり返し発話」』『待遇コミュニケーション研究』10
- 楊吟(2013)『申し出表現の形式：日本語・中国語・英語・韓国語の対照研究』『国文論叢』46
- 新井保裕(2013)『決定木分析を用いた身体接触の日韓対照研究：「空間の公私性」という仮説』『韓国語学年報』9
- 安在京(2013)『固定を表す他動詞の空間的特徴に関する考察：日本語「はめる」と韓国語「KKIUDA」の比較を中心に』『日本認知言語学会論文集 Papers from the National Conference of the Japanese Cognitive Linguistics Association』13
- 高雅妃(2013)『心的距離による日本語・韓国語の代名詞対照(ブース発表,日本語学会 2013 年度春季大会研究発表会発表要旨)』『日本語の研究』9, 4
- 小島大輝(2013)『韓国語ジェンダー表現の模索：対訳資料にみる日本語のジェンダー表現とそれに対応する韓国語の表現』『韓国言語文化研究』20
- 小野正樹・朱ヒョンジュ・許允瑄.(2013)『〈研究論文〉5 言語の"丁寧"の意味・用法と WEB 上のコロケーション分析：日本語・韓国語・中国語・シンハラ語・ドイツ語の分析』『筑波大学留学生センター日本語教育論集』28
- 崔海倫(2013)『二字漢語動詞における日韓対照研究』『北海道大学大学院文学研究科研究論集』13
- 尹亭仁・車香春・車香春・ChaHyang-chun(2013)『韓国語と日本語の2字漢語動詞に関する一考察：韓日辞典に見られる異同を手がかりに』『神奈川大学言語研究』36
- 朴善嫻(2013)『日本語と韓国語の同形二字漢字語の形態統語的類似性と相違性に関するコーパス研究』『ことばの科学』26
- 木下謙朗(2013)『産出方法の違いによる形容表現の使用状況：韓国語母語話者と日本語母語話者の比較』『朝日大学留学生別科紀要』10, 10
- 宋善花・山田綾乃(2013)『他称詞に関する日本語、朝鮮語、中国語の対照研究』『愛知工業大学研究報告』48
- 堀江薫・塚本秀樹・沈力(2013)『日本語文法学界の展望:対照研究』『日本語文法』13, 1
- 宣皎貞(2013)『Verb-Framed Language から見た日本語・韓国語の複合動詞の違い』『日本認知

言語学会論文集 Papers from the National Conference of the Japanese Cognitive Linguistics Association』13

塚本秀樹(2013)『日本語と朝鮮語における複合動詞としての成立・不成立とその様相』『影山太郎 編 複合動詞研究の最先端 = New Explorations into the Mysteries of Compound Verbs : 謎の解明に向けて』

穆欣(2013)『日本語、韓国語、中国語の主題の省略について : 川端康成『伊豆の踊子』の原文と翻訳文を検討材料として』『異文化研究』7

李英蘭(2013)『現代韓国語の「-n kes-ita」文の使用条件と文法化について : 日本語の「ノダ」文との比較を中心に』『韓国語学年報』9

金美仙(2013)『日本語の〈シテイル・シテイタ〉に表される「出来事の継続」と「動作パーフェクト」に対応する韓国語のアスペクト的表現』『朝鮮語研究』5

李炫淨(2013)『韓国語と日本語の過去時制の比較分析 (その1)--「状態性」を表す「-있-」について』『文学・芸術・文化 : 近畿大学文芸学部論集』25, 1

高恩淑(2013)『韓国語と日本語の述語における可能形式のズレ : 《実現可能》における可能形式のズレを中心に』『朝鮮語研究』5

羅聖淑(2013)『日本語動詞の連用形-日韓対照研究-』『日本大学歯学部紀要』41

塚本秀樹(2013)『文法体系における複合格助詞と単一格助詞の位置づけ-日本語の複合格助詞〜にとって』とそれに対応する朝鮮語の表現をめぐって-』藤田保幸(編)

池玖京(2013)『文末表現による共通認識領域の構築 : 日本語の「じゃないか」と韓国語の「-잖아」を中心に』『韓国語学年報』9

金祉諤(2013)『韓国語の使役移動動詞とその日本語訳に見られる語彙化のパターンと多義性』『言語科学論集』17

李潤玉(2013)『韓国語の漢字表記と日本語の漢字表記の対照・比較 : 韓国語教材の作成に向けて(その1)』『文学・芸術・文化 = Bulletin of the School of Literature, Arts and Cultural Studies, Kinki University : 近畿大学文芸学部論集』25, 1

金珍娥(2014)『〈話されたことば〉のコーパスと韓国語教育 : 日韓対照言語学と談話論研究から』『外国語教育研究』17, 188-197

新井保裕(2014)『「だけ」と「만」に見られる用法変化の日韓対照研究 : 記述研究』『韓国語学年報』10

鄭貞美(2014)『韓国語と日本語の敬語助詞 : 主体(主語)助詞を中心に』『東アジア研究』62

韓必南(2014)『現代韓国語の〈있다〉構文について : 日本語の「ある/いる」構文との対照言語学的考察』『朝鮮学報』233

小野彩花(2014)『日本語と韓国語の共通点と相違点 : 日本に影響を与える新たな世界』『常葉英文』34

佐藤恵理(2014)『人格保持のスピーチレベルについて : 韓国語との対照から』『待遇コミュニケーション研究』11

高木文也(2014)『日本語と韓国語の談話における発話文生成メカニズム : 「質問」を表す「中途

- 終了発話文」を中心に」『待遇コミュニケーション研究』11
- 金善美(2014)『現代韓国語と日本語の反語法文を成立させる語用論的条件について』『朝鮮学報』233
- 井上優(2014)『書評論文 塚本秀樹著『形態論と統語論の相互作用：日本語と朝鮮語の対照言語学的研究』』『日本語文法』14, 1
- 金玉英(2014)『初・中級テキストから見る日本語と韓国語の対照をめぐって：動詞を中心に』『京都産業大学日本文化研究所紀要』19
- 伊藤達也(2014)『日本語と韓国語の遊離数量詞 (<人文系研究論文>)』『相模女子大学紀要』78
- 李賢正(2014)『日本語と韓国語における新語の対照研究：混種語における外来要素を中心に』広島大学大学院博士論文
- 李大年(2014)『日中韓三言語における笑う様子を表す擬態語の比較対照研究：表情と笑い方を中心に』『熊本学園大学文学・言語学論集 = KGU Journal of Language and Literature』21, 1
- 文慶喆(2014)『日本語と韓国語における擬態語・擬音語について (創造文化フォーラム)』『総合政策論集 = Policy management studies：東北文化学園大学総合政策学部紀要』13, 1
- 高雅妃(2014)『日本語・韓国語指示詞の時制対照研究(口頭発表・午前の部,日本語学会 2013 年度秋季大会研究発表会発表要旨)』『日本語の研究』10, 2
- NGUYENTHIHATHUY(2014)『ベトナム語指示詞について：日本語・韓国語の指示詞との対照を基に』『京都大学言語学研究』33
- 尹亭仁(2014)『日韓両言語における漢語動詞の「負の転移」をめぐって：2 字漢語動詞を中心に』『神奈川大学言語研究』37
- 朴善嫻(2014)『二字漢字語のデータベースによる動詞化と形容詞化の日韓対照研究』名古屋大学大学院博士論文
- 堀江薫(2014)『文末名詞化構文の相互行為機能-韓国語の自然発話データの対照を通じて-』『井出祥子・藤井洋子編『解放的語用論への挑戦-文化・インターアクション・言語』
- 穆欣(2014)『日本語・韓国語・中国語・英語の無主格文について：川端康成『伊豆の踊子』『雪国』の原文と翻訳文を検討材料として』『山口国文』37
- 穆欣(2014)『日本語・中国語・韓国語・英語の一語文に関して：川端康成『伊豆の踊子』の原文と翻訳文を検討材料として』『異文化研究』8
- 金恩愛(2014)『日本語と韓国語における主語の現れ方について』『福岡県立大学人間社会学部紀要』22, 2
- 丁仁京(2014)『韓国語の連体修飾節名詞句の語彙化－日本語との比較－』『言語と文明 = Language & Civilization』12
- 石田美智代(2014)『「テアル」と韓国語との対応：格表示と動作主の存在を中心に』『慶應義塾外国語教育研究』11
- 金慶恵(2014)『日本語と韓国語の条件表現の対照研究』小林賢次/ 小林千草 編『日本語史の新視点と現代日本語』

- 朴珍希(2014)『目的を表す表現の日韓対照研究：韓国語の「-러 leo」と日本語の「~に」を中心に」『文化共生学研究』13
- 沖森卓也・曹喜澈(2014)『韓国語と日本語』朝倉書店
- 高木丈也(2015)『日本語話者と韓国語話者の「質問」発話生成に対する意識：談話データとの比較から』『待遇コミュニケーション研究』12
- 深見兼孝(2015)『「とても」が韓国語で程度副詞に翻訳されないとき』『広島大学国際センター紀要』5
- 永谷直子(2015)『副詞「よく」と「잘/cal/」が表す意味について』日本語/日本語教育研究会 編『日本語/日本語教育研究 = Studies in Japanese language and Japanese language teaching』
- 金泰虎(2015)『白と黒の色彩からみる日韓文化と社会：言語と観念の色を中心に』『言語と文化』19
- 深見兼孝(2015)『日本語と朝鮮語における姿勢動詞の対照研究(1)』『Nidaba』44
- 高恩淑(2015)『日本語と韓国語における可能表現：可能形式を文末熟語とする表現を中心に』ココ出版
- 尹亭仁(2015)『疑問詞疑問文に見られる助詞ハと「는/은」の非対応をめぐって -用例分析から見えてきた傾向を中心に-』『神奈川大学言語研究』37
- 林仙雅(2015)『日本語の連体格助詞「の」と韓国語の冠形格助詞「의(ui)」の対照研究』広島大学博士論文
- 全相律(2015)『日本語の使役構文における意味と構文の関わり：韓国語の使役構文との対照を通して』『言語情報科学』13
- 鄭聖汝(2015)『使役構文の形成と結合価再考：日本語と韓国語の証拠から』『大阪大学大学院文学研究科紀要』55
- 平木孝典(2015)『日韓対照言語表現研究：日本語の体言的表現と韓国語の用言的表現』『千葉科学大学紀要』8
- 禹[タイ]穎(2015)『東アジア諸語の発想と表現：「スル」的言語と「ナル」的言語をめぐって』『人文』13
- 和田学(2016)「日本語と韓国語の複雑述語のタクソノミー」九州大学博士論文
- 施建軍(2016)『中日韓三カ国の言語における漢字源語比較研究について』『한국일본어학회 학술발표회』31-32.
- 吳先珠(2016)「日・韓両国語の伝聞表現のモダリティ：話者の表現意図を中心に」九州大学博士論文
- 金恩愛(2016)『日本語と韓国語の名詞についての研究ノート』『福岡県立大学人間社会学部紀要』25(1), 43-49.
- 林完守(2016)『日本語と韓国語のアスペクト体系の対照：日本語の [-テイ-] と韓国語の [-ko iss-] の拡張的用法を中心に』『동북아시아문화학회 국제학술대회 발표자료집』266-271.
- 成昊炫(2016)「日韓推量モダリティ形式の対照研究」筑波大学博士論文
- 文彰鶴(2016)『文の類型に関する日韓対照研究-形態論的レベルを中心に』『일본언어문화』37,

137-152.

文彰鶴(2016)『文の類型に関する日韓対照研究-形態論的レベルを中心に』『일본언어문화』 37, 137-152.

張元哉(2016)『現代日本語と韓国語の語彙におけるカバー率について』『일본어학연구』 48, 65-83.

文彰鶴(2017)『意志表現に関する日韓対照研究-文法形式と文法化形式を中心に』『일본언어문화』 41, 152-171.

金アラン(2017)『非丁寧体の会話におけるアップシフトに関する日韓対照研究』『한국일본문화학회』 72, 87-112

空佐知子(2017)『日本と韓国における「人名」の音相』『일어일문학』 76, 71-90

野間秀樹(2018)『言語の対照研究, その原理論へ向けて一言語存在論を問う』『社会言語科学』 21(1), 35-51.

裴明文(2018)「日韓語の副詞終了文に関する対照研究」北海道大学博士論文

文彰鶴(2018)『意志表現の疑問文に関する日韓対照研究-文法形式の対応関係を中心に』『일본언어문화』 44, 27-48.

金廷珉(2018)『[けど] と [는데] の使用実態に関する日韓対照研究: 共起形式の種類と頻度を中心に』『일본문화학보』 8, 397-413.

朴智娟(2019)『オノマトペの言語的統合性に関する日韓対照研究 (Doctoral dissertation, 名古屋大学)』

張允娥(2019)『日韓語の友人同士の自由会話における不同意表明の仕方: 不同意マーカーと文末の緩和表現を中心に』『阪大社会言語学研究ノート』 16, 142-158.

高ミンソン(2019)『韓国語を母語とする日本語学習者の同形語と和語動詞の連語形式の習得に関する一考察』

辻野裕紀(2020)「名詞と動詞のあわい: 日韓対照言語学の視角から」『言語文化論究』 45, 45-49

朴鍾厚(2020)『韓国語の「의 (ui)」名詞句と日本語の「の」名詞句の対応様相についてのコーパス分析』『情報学研究』 9, 14-21.

金廷珉(2020)『[主観]を表す文末名詞文の日韓対照研究—小説と新聞の用例に基づいて—』『일본문화학보』 87, 209-224.

梶原雄(2020)『国語に関する世論調査の日韓比較-敬語に対するイメージを中心に』『일본문화학보』 85, 173-192.

金廷珉(2020)『文末の[는데]に対応する日本語の形式分析—韓国ドラマの日本語吹き替え版を用いて—』『일본문화학보』 84, 221-236.

韓京娥(2020)『[~てくれる] と [-어 주다 (~テクレル)] の[恩恵] と[皮肉]』『일어일문학』 87, 169-185.

清水孝司(2020)『韓国語の「는/은」「가/이」とそれに対応する日本語について 提題表現「って」を参考として』『朝鮮語教育: 理論と実践』 15, 29-52.

澤田信恵(2020)『韓国文学の日本語翻訳テキストにおける c 見る e の意味領域に関する考察』

『日本語教育』94, 51-61

李忠奎(2021)『動詞結合の日韓対照研究における諸問題-主要用語を中心に』『일어일문학』90, 181-197.

辻野裕紀(2021)『韓国語から見た対照言語学の可能性: 日韓対照言語学的思考の系譜と展望』『東アジア日本語・日本文化研究: 新機軸の日本語・日本語教育研究』29, 1-9.

金廷珉(2021)『リメイクドラマに見る日韓の [名詞表現] と [中断節] の 使用様相-[ドラゴン桜] と [공부의 신] を対象に』『일본어학연구』70, 21-37.

韓京娥(2021)『韓国語と日本語の文脈指示に関する研究 -韓国新聞のコラム欄とその日本語訳を中心に-』『일어일문학』91, 173-190.

韓喜善(2021)『韓国語母語話者を対象とした日本語のプロソディー研究再考 (1)』『言語文化共同研究プロジェクト』2020, 29-33.

文彰鶴・野田高広(2021)『名詞+ 動詞型複合動詞に関する日韓対照研究』『한국일본문화학회』91, 225-243

韓昶濤(2021)『< 経典釋文 > の音義に基づく 16 世紀朝・日の < 詩経 > 翻譯比較-< 詩経 諺解 > (1583~ 1593 成立) と清原宣賢の < 毛詩鄭箋 > 訓點本 (1521) に表れた声母相違による意味派生の反映 (1)-』『동아인문학』55, 29-67.

◆ その他

浜田敦(1970)『朝鮮資料による日本語研究』岩波書店

玉城繁徳(1975)「意味理論と朝鮮語の意味記述について—朝鮮語と日本語の意味論における対照言語学的考察—」『朝鮮学報』77

浜田敦(1983)『朝鮮資料による日本語研究(続)』臨川書店

松尾勇(1985)「朝鮮開化期の文章体に関する一考察—新小説「血의 涙」を資料として—」『天理大学学報』144

梁昊淵(1986)「敬語教授法の問題点について--韓国語対者敬語法の場合を中心に」『外国語教育: 理論と実践』1-7

志部昭平(1987)「朝鮮語の言文一致・不一致 (はなしことばとその周辺<特集>)--(諸言語の言文一致・不一致)」『国文学解釈と鑑賞』52, 7

鷲尾龍一(1991)「データとパラダイム: 朝鮮語の場合」『筑波英学展望』10

李鍾徹・藤井茂利(1993)「日韓両国の表記法の比較研究-3-韓国語語彙習得上での誤謬-1--(資料)」『福岡大学人文論叢』, 25, 1, pp.167-185

梅田博之(1993)「言語研修報告—朝鮮語研修について—」『通信』79

藤井幸之助(1993)「日本語母語話者のための朝鮮語学習用教材・関連図書目録」『阪南論集 人文・自然科学編』29, 1

曾我祐典(1995)「外国語教育と待遇表現: 朝鮮語・フランス語(コミュニケーション能力を養成する教授プログラムの研究 朝鮮語・フランス語)」『総研論集』, 15

林部英雄・菱沼あい・李美静・前川眞一・内田照久(1997)「韓国語語彙能力テストの開発」『横

- 浜国立大学教育紀要』37, pp.189-199
- 油谷幸利(1999)「辞書検索の指導法について－文末形の場合－」『朝鮮学報』173
- 油谷幸利(1999)「朝鮮語の辞書検索支援ソフトについて」『言語文化』2
- 池貞姫(2000)「文法力を養う朝鮮語教育」『人文学論叢』2
- 油谷幸利(2002)「誤訳に基づく日韓対照研究」『言語文化』5, 1
- 油谷幸利(2003)「誤訳に基づく日韓対照研究(2)」『言語文化』6
- 泉文明(2004)『第2言語習得における漢語語彙の調査(1)：韓国語能力試験における漢語語彙の分析』『国際文化研究』8
- 嚴敞俊(2004)『日本語話者にコリア語の用言活用をいかに教えるか』『立命館高等教育研究』2
- 李熙卿(2004)『韓国語の「-a/eoseo」についての教授方案』『言語文化研究』23, 2
- 孫禎慧(2005)『日本語を母語とする韓国語学習者の誤用分析－하고形と해서形を中心に－』『朝鮮学報』195
- 国際文化フォーラム(2006)「高等学校における中国語と韓国朝鮮語の目標・内容・方法に関する研究」『学力向上拠点形成事業(わかる授業実現のための教員の教科指導力向上プログラム)』
- 齊藤信浩(2006)『韓国語習得における主語と目的語をマークする助詞と項の省略の非対称性について：統語的な操作から機能的な操作への発達過程の検証』『ことばの科学』19
- 金惠鎮(2006)『韓国語の検定試験について：「ハングル能力検定試験5級」筆記問題の分析』『久留米大学外国語教育研究所紀要』13, pp.55-70
- 油谷幸利(2007)『朝鮮語母語話者による朝鮮語教育』『韓国語教育論講座』1
- 高明均・金昶寧(2007)『言語遊戯を活用した教授学習の方案：外国語として朝鮮語教育を中心に』『関西大学外国語教育研究』14, pp.13-29
- 南潤珍.(2007)『韓国語教育におけるコロケーション情報の活用』『韓国語教育論講座』1
- 金秀晶(2007)『日本語話者における韓国語の用言活用指導に関する一考察』『松山大学論集』19, 4
- 齊藤信浩(2007)『L2としての韓国語習得における主格と対格の非対称性について-インストラクションによる普遍性の検証-』『朝鮮語教育－理論と実践－』2
- 伊藤英(2007)『『翻訳老乞大』の「了」の朝鮮語訳をめぐって』『語学研究所論集』12
- 福森雅史(2008)『異言語研究と実践語彙教育：「容器メタファー」に見る認知言語学導入の研究意義--スペイン語・英語・韓国語・日本語を通して』『語学教育部ジャーナル』4
- 齊藤信浩(2008)『因果関係を表さない接続助詞カラの習得－英語・中国語・韓国語母語話者のデータ比較を通して－』『ことばの科学』21
- 酒井彩加・SakaiAyaka(2008)『『共感覚的比喩』の一方方向性仮説』における反例の検証と課題--7つの言語を対象とした「視覚を表す語」に関する予備調査の結果から』『留学生教育』5
- 南潤珍(2009)『表現能力に重点をおいた韓国語学習における対照語彙情報の活用』『朝鮮半島のことばと社会』
- 齊藤信浩(2010)『第二言語としての韓国語習得における省略機能の習得－統語的操作と機能的操作の発達』『朝鮮語研究』4

- 齊藤信浩(2010)『接続語尾 nikka の契機用法の習得』『朝鮮語教育—理論と実践—』5, pp.6-21
- 宣憲洋(2011)『漢字語を活用する韓国語基礎語彙教育』『言語センター-広報 language studies』19
- 石鍋浩・武田湖太郎・谷口敬道(2011)『韓国語新規学習者による動詞活用課題遂行中の脳活動』『日本教育工学会研究報告集』3
- 柳朱燕(2011)『第二言語として韓国語の未完了アスペクトの習得過程と教授方法：日本人母語話者を中心に』『韓国語教育研究』1
- 金河守(2013)『韓国語基礎教育の指導と教育効果：目白大学の韓国語学科1年次の教育事例』『目白大学高等教育研究』19, 41-48
- 黄聖媛(2013)『話せる韓国語教育についての取り組みと現状：福岡国際大学の韓国語教育について』『福岡国際大学紀要』30, 67-74
- 朴南圭・田島ますみ(2013)『コミュニケーション能力向上のための韓国語教育』『中央学院大学人間・自然論叢』36, pp.15-30
- 金蘭美(2013)『韓国語教材における文法記述の問題点：日本人学習者のための文法記述の提案』『横浜国大韓国語研究』31, 51
- 入佐信宏(2013)『韓国語教育における名詞および動詞・形容詞の分類について：日韓の韓国語教材の調査結果より』『研究紀要』34, 1
- 牧野美希(2013)『初級日本語母語学習者における韓国漢字語彙教育：漢字語彙を利用した教材の提案』『Polyglossia』24
- 都恩珍(2013)『韓国語教育に関する研究(1)韓国語学習者調査を通して』『Journal of the School of Liberal Arts』5, pp.55-72
- 李潤玉(2013)『韓国語の漢字表記と日本語の漢字表記の対照・比較：韓国語教材の作成に向けて(その1)』『文学・芸術・文化 = Bulletin of the School of Literature, Arts and Cultural Studies, Kinki University：近畿大学文芸学部論集』25, 1
- 梁正善(2013)『韓国語の時間表現を教育するために』『長崎外大論叢』17
- 權容環(2013)『한국어 상급 교재에서의 '-느-' 결합 구성에 대하여』『韓国語学年報』9
- 任銜樹(2014)『韓国語学習者に見る依頼表現の学習プロセス及びその特徴：日韓発行の中級韓国語教材を中心に』『帝塚山學院大学研究論集 リベラルアーツ学部』49
- 李善愛・山下藍(2014)『ゲーミフィケーションが韓国語授業に与える影響-新たな韓国語教材の開発を目指して-』『宮崎公立大学人文学部紀要』21-1, pp.19-34
- 林河運(2014)『韓国語学習者の意欲向上を目的とする学習法の試みとその検討：グループによる学習に注目して』『島根大学外国語教育センタージャーナル』9, pp.119-133
- 木村春菜(2014)『定時制高等学校における第二外国語としての韓国語会話教育：スキットとチャックを利用した教育方案に関する考察』『韓国語学年報』10, pp.163-175
- 中川正臣(2014)『韓国語表現指導におけるパフォーマンス評価の開発』『目白大学高等教育研究』20, 29-39
- 金菊熙(2014)『初習言語教育における相互文化理解の授業の在り方を考える：松山大学の初習言語「ハングル」における授業例を中心に』『松山大学論集』26-1, pp.131-171

- 趙廷敏(2014)『現代韓国語の漢字表記に関する研究－新聞記事に見られる漢字表記の派生接辞について－』『言語と文明』12
- 辛大基(2015)『韓国語教育におけるテキストとしての韓国小説とその表現(其の2)』『千葉大学人文社会科学研究』30, pp.92-104
- 高槿旭(2015)『韓国語能力試験(TOPIK)初級における語彙使用の問題点』『Lingua』25, pp.89-104
- 姜英淑(2016)『訓蒙字会諸異本における固有語の傍点(Ⅱ)』『言語文化研究』35(2), pp.217-306
- 李侑珍(2016)『植民地時代の二重言語使用の様相について』『埼玉女子短期大学研究紀要』34, pp.147-159
- 齊藤信浩, 小島大輝(2018)『韓国語学習者の初級韓国語助詞の習熟度について』『朝鮮語教育: 理論と実践』13, pp.77-90
- 小島大輝・齊藤信浩・大和祐子(2018)「反応時間測定による韓国語助詞の文法現象に関する研究: 母語話者と学習者の認識検証」『科学研究費助成事業研究成果報告書』pp.1-4
- KONO, Rokuro. (1969)The Chinese Writing and its Influences on the Scripts of the neighbouring Peoples. Memoires of the research department of Toyo Bunko, 27
- 時崎久夫(1994)「韓国語と日本語における句切りについて」『文化と言語: 札幌大学外国語学部紀要』, 12, 7
- 齊藤信浩, 玉岡賀津雄(2014)『日本語母語話者による韓国語習得における語彙能力と読解の因果関係』『ことばの科学』28
- 姜奉植(2016)『日本人韓国語学習者の為の韓国語発音変化の諸規則』『リベラル・アーツ,』10, pp.35-54
- 齊藤信浩・金美仙・小島大輝(2017)『多肢選択式テストにおける体言末終声の有無と助詞のヒントによる解答可能性』『朝鮮語教育: 理論と実践,』12, pp.4-21
- 白寅英・山田佳子・宋美玲・印省熙(2017)『韓国語中級学習者の作文における誤用分析: 非専攻者の場合』『マテシス・ユニヴェルサリス』18(2), pp.73-97
- 金菊熙, & 金昌九(2018)『松山大学 1 年次向け初習韓国語カリキュラムに沿った共通教材開発のための基礎研究』『松山大学論集, 29(6)』 pp.281-302
- 渡邊香織(2018)『ドキュメンタリー映画から見る在日朝鮮語の特徴』『千葉大学大学院人文公共学府研究プロジェクト報告書= Chiba University Graduate School of Humanities and Study of Public Affairs Research Project Reports』327, pp.42-57
- 植田晃次(2018)『中国朝鮮語の規範化方針の転換の軌跡とその可能性: 『朝鮮語規範集』(2016年)での修正を手掛かりに』『言語文化共同研究プロジェクト』2017, pp.31-42
- 南潤珍(2019)『語彙情報に基づいた日本語話者のための韓国語教育用語彙目録の開発』『朝鮮語教育: 理論と実践』14, pp.25-44
- 金文姬(2019)『近世期日朝対訳資料の研究－「隣語大方」を中心に－』
- 黄雲(2019)『韓国開化期の日本語学習書における母音注記に関する考察』『일본문화학보』81, pp.133-147

- 上保敏(2019)『朝鮮語漢文訓読の 2 つの系統論. 富山大学人文学部紀要』71, pp.61-71
- 朴鍾厚(2020)『日本における韓国語教育の現状と教員の再教育問題に関する一考察』『マテシス・ユニヴェルサリス』22(1), pp.97-119
- 李舜炯・李賢貞(2020)『言語接触からみた日韓隣接地域の言語景観』『일본어학연구』66, pp.117-134
- 都恩珍(2020)『韓国語教育に関する研究 (2) -文字学習段階における初級学習者の誤用分析-』『桜花学園大学学芸学部研究紀要』13, pp.79-87
- 朴恩珠(2021)『日本人学習者の会話の停滞について-韓国語の会話事例を題材に-』『大阪女学院大学紀要』35-53
- 韓炘濤(2021)『< 経典釋文 > の音義に基づく 16 世紀朝・日の< 詩經 > 翻譯比較-< 詩經 諺解 > (1583~ 1593 成立) と清原宣賢の< 毛詩鄭箋 > 訓點本 (1521) に表れた声母相違による意味派生の反映 (1)-』『동아인문학』55, pp.29-67
- 黒柳子生(2021)『韓国語話者による音韻変化を伴う終声のカタカナ表記に関する考察』『일본근대학연구』74, pp.69-91
- 鄭鍾熙(2021)『ICT を活用した韓国語教育に関する研究の動向-韓国語 CALL と MALL 研究の軌跡と展望-』『APU 言語研究論叢』6, 42
- 千田俊太郎(2021)『書評論文: 金鍾徳著 『韓国語を教えるための韓国語の発音システム』(中村麻結訳)東京: ひつじ書房 2021』『ありあけ: 熊本大学言語学論集』20, pp.1-20
- 白寅英・印省熙・山田佳子・宋美玲(2022)『韓国語学習者における誤用防止のための指導法とドリルの試案』『マテシス・ユニヴェルサリス』23(2), pp.119-139
- 植田晃次(2022)『朝鮮語テキストの言語呼称小攷: 歴史と変化のはざまの風景』『言語文化共同研究プロジェクト』2021, pp.44-55